



Kofax Analytics for TotalAgility

製品機能ガイド

バージョン: 1.5.0

日付: 2025-01-13

KOFAX

© 2024 Tungsten Automation. All rights reserved.

Tungsten and Tungsten Automation are trademarks of Tungsten Automation Corporation, registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Tungsten Automation.

目次

序文.....	5
対象となる読者.....	5
Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメント.....	5
トレーニング.....	6
Kofax 製品のヘルプの入手.....	6
第 1 章：前書き.....	7
Kofax Analytics for TotalAgility.....	7
第 2 章：ビューア.....	8
言語の選択.....	10
Excel にエクスポート.....	10
第 3 章：ダッシュボード ビュー.....	12
オペレータ.....	12
概要.....	12
ブレークダウン.....	16
保留時間.....	21
システムの概要.....	22
ジョブ.....	22
アクティビティ.....	30
リソース.....	32
ドキュメント.....	37
処理.....	37
分類.....	53
抽出.....	59
管理.....	63
データ保持.....	63
フィルタ フィールド.....	64
第 4 章：レコードの定義.....	66
アクティビティ レコード.....	66
ジョブ レコード.....	69
ドキュメント レコード.....	72
Field Fact レコード.....	76
リソース グループ レコード.....	77
キュー レコード.....	77

セッション レコード.....	79
第 5 章：ダッシュボード ビューの設定.....	81
Kofax TotalAgility のインストール.....	81
キャプチャ スタート パックのインポート.....	81
テキスト用エクスポート コネクタのインストール.....	83
Kofax エクスポート コネクタ設定の構成.....	83
ドキュメントのスキャン.....	85
CaptureStarterPack_Scan フォームの使用.....	85
MFP エミュレータの使用.....	85
MFP エミュレータのダウンロードと TotalAgility マシンへの接続.....	85
削除済みのドキュメントとページ.....	86
ジョブを作成および監視するための TotalAgility Workspace へのアクセス.....	87
ダッシュボード ビューでのデータの取得.....	88
概要.....	89
ジョブ.....	90
ダッシュボード ビューへのソース別のデータの表示.....	92
ブレークダウン.....	92
マスクされたフィールド値によるダッシュボード ビューへのデータの表示.....	93

序文

このガイドでは、Kofax Analytics for TotalAgility ダッシュボードの概要について説明します。このガイドをお読みいただくことで、製品の機能を理解することができます。この情報は、直面しているビジネス上の課題に対してどの機能が重要であり、どの機能が会社のニーズに最も適しているかを決定するために役立ちます。

対象となる読者

このガイドは、リアルタイムのインタラクティブなダッシュボードで Kofax TotalAgility および Kofax Transformation Modules のビジネス データを分析する顧客および将来の顧客を対象としています。ユーザーには、請求書やその他のプロセスを担当する個人などのビジネス プロセスの所有者が含まれます。

Kofax TotalAgility および Kofax Transformation Modules モジュールの実装を計画しているビジネス所有者については、ワークフローの有効性と組織の健全性を決定するうえでこのガイドが特に役立ちます。

Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメント

オンラインで完全なドキュメント セットにアクセスするには、「[Kofax Analytics for TotalAgility ドキュメント](#)」ページを参照してください。

インストールされているバージョンの製品の製品機能を利用開始するには、アプリケーションのヘルプアイコン  をクリックしてください。

ドキュメントの完全な Kofax Analytics for TotalAgility セットには、次の項目が含まれています。

ガイド/ヘルプ	説明
管理者ガイド	Kofax Analytics for TotalAgility の標準的なインストール/アップグレードについて説明しています。また、製品の操作開始に必要な構成手順についても説明しています。
リリース ノート	Kofax Analytics for TotalAgility の他のドキュメントには含まれていない可能性がある最新の情報が含まれています。
技術仕様	1.5.0 に Kofax Analytics for TotalAgility 固有の技術仕様が記載されています。
Kofax Insight のドキュメント	Kofax Insight 6.5.0 の製品ドキュメントはオンラインで管理されています。

トレーニング

Kofax は、お客様に製品を最大限に活用していただくことを目指して、教室でのトレーニングとオンラインのトレーニングを提供しています。トレーニング コースとスケジュールの詳細については、Kofax Web サイトの [Kofax Education Portal](#) (Kofax エデュケーション ポータル) にアクセスしてください。

Kofax 製品のヘルプの入手

[[Kofax Knowledge Portal](#) (Kofax ナレッジ ポータル)] リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Portal で情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Portal] にアクセスするには、<https://knowledge.kofax.com> にアクセスしてください。

i [Kofax Knowledge Portal] は Google Chrome、Mozilla Firefox、または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Portal] は以下の内容を提供します。

- ・ 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。
- ・ [**Search (検索)**] ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- ・ 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。

記事を見つけるには、Knowledge Portal のホームページにアクセスし、製品に該当するソリューション ファミリを選択するか、[View All Products (すべての製品を表示)] ボタンをクリックします。

Knowledge Portal のホームページからは、次の操作を実行できます。

- ・ Kofax Community (Kofax コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。
[Resources (リソース)] メニューで、[Community (コミュニティ)] リンクをクリックします。
- ・ Kofax Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。
[Support Portal Information (サポート ポータル情報)] ページに移動し、[Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)] をクリックします。
- ・ Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。
[Support Portal Information (サポート ポータル情報)] ページに移動し、[Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)] をクリックします。
- ・ Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。
[Support Details (サポートの詳細)] ページに移動し、適切な記事を選択します。

第 1 章

前書き

このガイドでは、Kofax Analytics for TotalAgility のインストールに含まれるダッシュボード ビューの概要を記載しています。このダッシュボードは、ワークフローを通じてデータを追跡し、プロセスとリソースの有効性を分析して、ビジネス上の問題に対処するために役立ちます。このビューには、グラフ、グリッド、ピボット テーブル、およびレポートを使用したデータのさまざまな視覚的および分析的表現が含まれます。システム管理者、ビジネス プロセス管理者、およびその他の利害関係者は、このインターフェイスを使用して分析情報を可視化します。製品で提供される包括的なビュー タイプのセットから選択するか、Insight Studio を使用して、定義済みのコンポーネントに基づいてカスタム ビューを作成します。

Kofax Analytics for TotalAgility

Kofax Analytics for TotalAgility は Kofax TotalAgility の拡張機能であり、ワークフローを移動するときにデータを追跡し、収集したデータからビジネス インテリジェンス ダッシュボードを生成します。

TotalAgility でリンク済みサーバーを使用している場合、レポート (キャプチャ) 情報は、リンク済みの TotalAgility サーバーからメインの TotalAgility サーバーに送信されます。コア BPM データは分散サイトに依然として存在します。メイン サーバーからのレポート (キャプチャ) 情報を含め、リンク済みの各 Kofax TotalAgility サーバーからの BPM 情報を直接含めるために Kofax Analytics for TotalAgility を構成してください。

Kofax Analytics for TotalAgility には以下が含まれます。

- **ビューア:** Kofax Analytics for TotalAgility 使用データベース内に保存されているデータから生成された標準ビューまたはカスタム ビューにデータを表示するために使用します。
- **Insight Studio:** ビューの作成と編集に使用します。

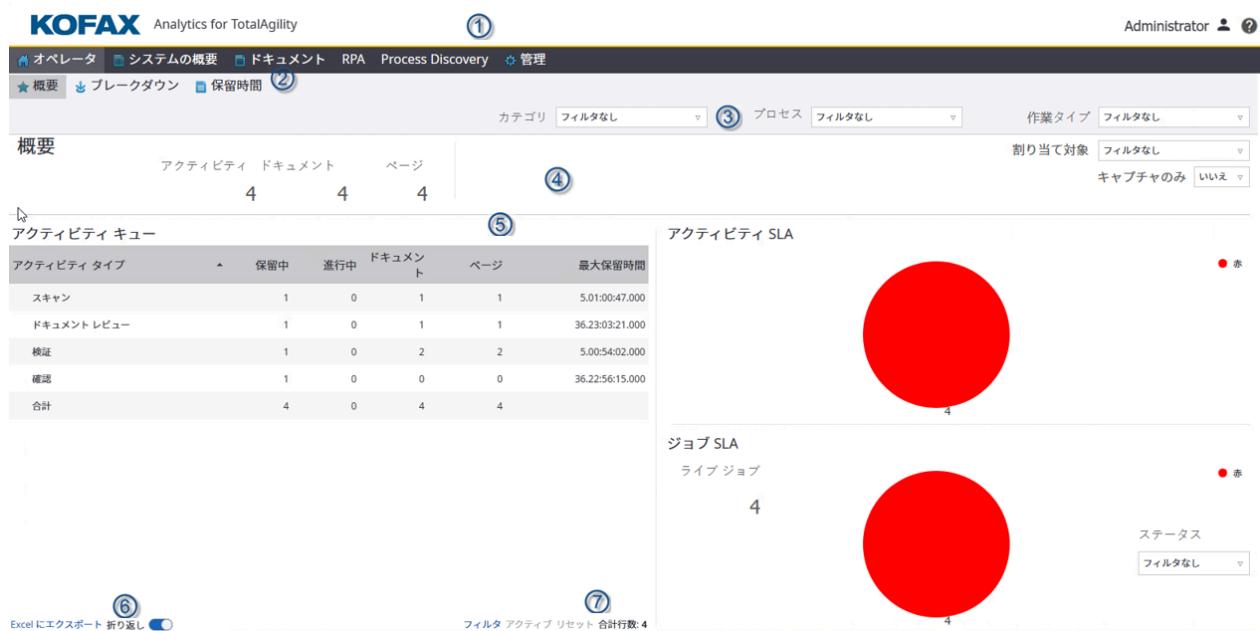
Kofax Analytics for TotalAgility のインストールの詳細は、『Kofax Analytics for TotalAgility 管理者ガイド』を参照してください。

第2章

ビューア

ビューアと呼ばれる Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードは、インタラクティブなビューとレポートで構成されています。これらのビューには、グラフ、グリッド、ピボット テーブル、およびレポートを使用したデータのさまざまな視覚的および分析的表現が含まれます。システム管理者、ビジネスプロセス管理者、およびその他の利害関係者は、このインターフェイスを使用して分析情報を可視化します。

ビューアの主な要素については、次の画像を参照してください。



The screenshot shows the Kofax Analytics for TotalAgility dashboard with the following numbered elements:

- ① Logo and title bar: KOFAX Analytics for TotalAgility.
- ② User navigation: メニューバー (オペレータ、システムの概要、ドキュメント、RPA、Process Discovery、管理) and ユーザー情報 (Administrator).
- ③ Filter buttons: カテゴリ (フィルタなし), プロセス (フィルタなし), 作業タイプ (フィルタなし), 割り当て対象 (フィルタなし), キャプチャのみ (いいえ).
- ④ Summary table: 概要 (アクティビティ、ドキュメント、ページ) showing values 4, 4, 4.
- ⑤ Activity Queue table: アクティビティ キュー (アクティビティ タイプ: スキャン, ドキュメント レビュー, 検証, 確認, 合計) with corresponding counts and maximum retention times.
- ⑥ Export and refresh buttons: Excel にエクスポート, 折り返し.
- ⑦ Filter and summary: フィルタ (アクティブ), リセット, 合計行数: 4.
- ⑧ Large red circles: SLA status indicators for Activity SLA (4) and Job SLA (4), both marked as 'Red' (赤).

1	タイトルバー	すべてのインターフェイス ウィンドウに表示され、次のものが含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーションのタイトル ・ ログインしているユーザーの名前 ・ 現在の日付 ・ ユーザー プロファイルをクリックしたときの追加のユーザー メニュー項目: <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語: ダッシュボードの表示を別の言語に切り替えます。 ・ ブックマーク: 頻繁に使用するビューをお気に入りとして追加し、公開、個人、または選択したロールのブックマークの表示を設定します。 ・ バージョン情報: 現在インストールされている Kofax Analytics for TotalAgility のバージョンを表示します。 ・ ログアウト: 現在のユーザーでアプリケーションからログアウトします。
2	ダッシュボード ビュー	メニューを使用して、次のビューにアクセスします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オペレータ ・ システムの概要 ・ ドキュメント ・ 管理 ・ RPA ・ Process Discovery
3	グローバル フィルタ	グローバル フィルタを使用して、ダッシュボードに表示されるデータを管理します。各ダッシュボードには異なるフィルタがあります。たとえば、カテゴリ、プロセス、および作業タイプのフィルタは概要ダッシュボードで使用でき、日付フィルタは履歴データを表示するレポートにのみ表示されます。
4	ダッシュボード ビューア	選択したダッシュボード ビューを表示します。
5	コンテキストメニューとグラフオプション	グラフまたはグリッドを右クリックして、必要に応じて、リセット、ピボット、拡大、表示、メトリック グリッド形式などのオプションにアクセスします。オプションは、グラフ タイプまたは右クリックした領域に応じて異なります。 内訳を変更するには、グラフをダブルクリックします。たとえば、円グラフのデータ ビューをバッヂ クラスから曜日またはモジュール名に変更します。オプションは、グラフ タイプに応じて異なります。
6	Excel にエクスポート	ダッシュボード ビューのコンテンツをエクスポート形式にエクスポートする場合のオプションが含まれます。
7	チャートとグリッドのフッター	一部のグラフおよびグリッドのフッターでは、追加機能を利用できます。この追加機能には、Excel にエクスポート、テキストの折り返し設定、フィルタ、リセットなどがあります。また、フッターには、行の総数などのグラフ固有またはグリッド固有の概要データが含まれます。

Kofax Analytics for TotalAgility 使用データベース内に保存されているデータから生成された標準ビューまたはカスタム ビューにデータを表示できます。Kofax TotalAgility データベースから情報を抽出できます。

Insight を使用して新しいビューを作成できます。詳細については、Kofax Insight の製品ドキュメントを参照してください。Kofax Analytics for TotalAgility インストールで提供されるビューをコピーして、変更する新しい名前で保存することもできます。

デフォルトでは、ビューアはオペレーティング システムの地域と言語の設定で選択された言語で示されます。別の言語を選択するには[言語の選択](#)を参照してください。

言語の選択

Kofax Analytics for TotalAgility をインストールすると、ダッシュボード ビューがブラウザ設定で指定された言語で表示されます。ヘッダーのユーザー プロファイル オプションにある言語セレクタを使用して、次のサポートされている言語のいずれかに切り替えます。

- 英語
- スペイン語
- フランス語
- イタリア語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- ドイツ語
- 日本語

Excel にエクスポート

[Excel にエクスポート] 機能を備えたグリッドでは、グリッドを Microsoft Excel にエクスポートするときにコンテンツとフォーマットに適用される設定を選択できます。

1. [Excel にエクスポート] が有効なグリッドで、[Excel にエクスポート] をクリックします。
[Excel にエクスポート] ページが表示されます。
2. 次の [コンテンツをエクスポート:] オプションを選択します。
 - [現在のページおよびトップ ドリルダウン]
 - [グリッドのすべてのページ、トップ ドリルダウン レベル。少し時間がかかります。]
 - [グリッドのすべてのページ、すべてのドリルダウン レベル。さらに時間がかかります。]
 - [現在の状態をエクスポートします。]
3. 次の [エクスポート形式] オプションを選択します。
 - [未フォーマットの XML ファイル、Excel で読み込み可]
 - [フォーマットされた Excel ファイル]
 - [未フォーマットの CSV ファイル]
 - [未フォーマットの TSV ファイル]

4. 必要に応じて、[有効になりました] を選択して、フラット エクスポートを使用します。これにより、ドリルダウンまたは拡張可能なデータの詳細が保持されます。
5. [OK] をクリックし、プロンプトが表示されたら、.xml ファイルを保存するか、または開きます。

第3章

ダッシュボード ビュー

この章では、Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードの操作方法について説明します。ダッシュボードは、ビジネス データを有意義な方法で確認するのに役立つインタラクティブなビューとレポートで構成されています。これらのビューには、チャート、グリッド、およびピボットのテーブルが含まれます。

次のメニューを使用して、Kofax TotalAgility のダッシュボード ビューにアクセスします。

- [オペレータ](#)
- [システムの概要](#)
- [ドキュメント](#)
- [管理](#)

オペレータ

[オペレータ] ビューには、ライブ (現在の) アクティビティ、ジョブ、ドキュメント、ページの分析に使用されるライブ データが表示されます。このダッシュボードに表示されるデータは、ほぼリアルタイムの情報を提供する、分単位の実行計画で更新されます。

オペレータ メニューには、次のビューが含まれます。

- [概要](#)
 - [アクティビティ キュー](#)
 - [アクティビティ SLA](#)
 - [ジョブ SLA](#)
 - [ブレークダウン](#)
 - [ライブ ジョブ](#)
 - [ライブ ドキュメント](#)
 - [ライブ ページ](#)
 - [保留時間](#)

概要

これは、Kofax Analytics for TotalAgility を起動したときに表示されるデフォルトのビューです。

概要には、すべてのライブ アクティビティに基づくデータが表示されます。

- ・[カテゴリ]、[プロセス]、[作業タイプ] のグローバル フィルタ
- ・[割り当て先]、および [キャプチャのみ] のページ フィルタ
- ・アクティビティ、ドキュメント、ページの総数
- ・アクティビティ キュー
- ・アクティビティ SLA
- ・ジョブ SLA

ビューの上部には、現在 TotalAgility に表示されているライブ アクティビティ、ドキュメント、およびページ数が表示されます。このビューを使用して、アクティビティ キュー、ジョブ SLA、およびアクティビティ SLA を分析します。

アクティビティ キュー

保留中および進行中のライブ アクティビティの数、保留中のドキュメントとページの数、および最も長く保留されているアクティビティの時間など、各アクティビティ タイプの情報を表示するテキストチャート。

アクティビティ タイプ	保留中	進行中	ドキュメント	ページ	最大保留時間
スキャン	1	0	1	1	5.00:40:46.000
ドキュメント レビュー	1	0	1	1	36.22:43:20.000
検証	1	0	2	2	5.00:34:01.000
確認	1	0	0	0	36.22:36:14.000
合計	4	0	4	4	

[アクティビティ キュー] グリッドでアクティビティ タイプを選択すると、[アクティビティの詳細] ポップアップにそのアクティビティ タイプの詳細(プロセス名、アクティビティ、優先度、ステータス、期限、リソース、アクティビティ SLA、ドキュメント、およびページ)が表示されます。[アクティビティの

ステータス フィルタを使用して、[アクティブ] (進行中) や [保留中] などのステータスごとにプロセスを表示します。

プロセス名	アクティビティ	優先度	ステータス	期限	リソース	アクティビティのステータス フィルタなし		ページ
						アクティビティ SLA	ドキュメント	
Capture Starter Pack	Verification	1	保留中	2024/03/11 2:13:51.920	Everyone	●	0	0

プロセス名	バージョン	アクティビティ	ステータス	リソース	時間	経過時間	ドキュメント	ページ
Capture Starter Pack	14	Validation	実行済み	Administrator	2024/03/11 2:13:51.877	0:00:00:01.000	0	0
Capture Starter Pack	14	Validation	キャンセル済み	Administrator	2024/03/11 2:07:39.460	0:00:00:14.000	0	0
Capture Starter Pack	14	Extraction	実行済み	TotalAgility	2024/03/11 2:06:46.527	0:00:00:02.000	1	1
Capture Starter Pack	14	Document Review	実行済み	Administrator	2024/03/11 2:06:23.490	0:00:00:01.000	1	1
Capture Starter Pack	14	Classification	実行済み	TotalAgility	2024/03/11 1:58:16.503	0:00:00:20.000	1	1

アクティビティの詳細グリッドで行を選択して、ジョブ履歴の詳細を表示します。

アクティビティが進行中の場合、リソース列には、アクティビティを実行したリソースが表示されます。アクティビティが進行中でない場合、リソース列には、アクティビティに割り当てられているリソースまたはグループが表示されます。

アクティビティ キューは、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティの期限最大保留時間: 各キャプチャ アクティビティ タイプが保留されている最大時間。

アクティビティ SLA

SLA (緑、オレンジ、赤、および追加された追加レベル) 別にグループ化されたアクティビティの概要を示すグラフィカル レポート (円グラフ)。

それぞれのアクティビティは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、割り当て先、キャプチャのみでフィルタリングすることができます。

Activity SLA

アクティビティ タイプ	保留中	進行中	ドキュメント	ページ	最大保留時間
スキャン	1	0	1	1	5:00:40:46.000
ドキュメント レビュー	1	0	1	1	36:22:43:20.000
検証	1	0	2	2	5:00:34:01.000
確認	1	0	0	0	36:22:36:14.000
合計	4	0	4	4	

アクティビティ SLA グラフをクリックして、アクティビティ名、プロセス名、ジョブ ID、期限、優先度、割り当て先、SLA、ジョブ SLA、ジョブの優先度、ケース参照、ドキュメント数、ページ数などのアクティビティに関する詳細を示すテキスト レポートを表示します。

ジョブ SLA

SLA (緑、オレンジ、赤、および追加された追加レベル) 別にグループ化されたジョブの概要を示すグラフィカル レポート (円グラフ)。

それぞれのジョブは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、割り当て先、キャプチャのみ、およびアクティビティや完了待ちなどのステータスでフィルタリングすることができます。

ジョブ SLA

アクティビティ タイプ	保留中	進行中	ドキュメント	ページ	最大保留時間
スキャン	1	0	1	1	5:00:40:46.000
ドキュメント レビュー	1	0	1	1	36:22:43:20.000
検証	1	0	2	2	5:00:34:01.000
確認	1	0	0	0	36:22:36:14.000
合計	4	0	4	4	

ジョブ SLA チャートをクリックして、プロセス、ジョブ ID、SLA、所有者、優先度、期限、状態、ステータス、ケース参照、作成者、およびバージョンを含むジョブの詳細を示すテキスト レポートを表示します。

ブレークダウン

[ブレークダウン] ビューを使用して、条件の範囲に基づいて概要のライブ データの詳細な分析を実行します。

ライブ データに基づいて、次のような内訳を表示できます。

- [ジョブ](#)
- [ドキュメント](#)
- [ページ](#)

内訳を表示するには、[オペレータ] > [ブレークダウン] に移動します。

ライブ ジョブ

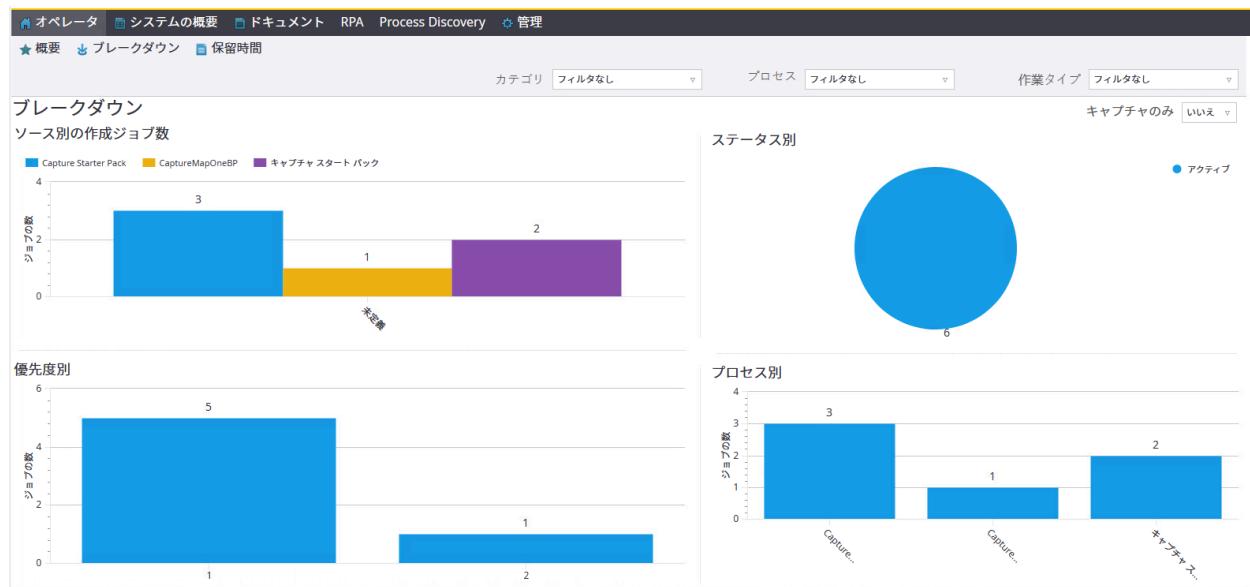
[ライブ ジョブ] ビューを使用して、ライブ ジョブの内訳を表示します。

[完了したジョブ](#) の内訳を個別に表示できます。

ライブ ジョブの内訳を表示するには、[オペレータ] > [ブレークダウン]>[ライブ ジョブ] に移動します。

[ライブ ジョブ] ビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスというジョブの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。棒グラフをクリックすると、データをさらにドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



ソースによって作成されたジョブ

「ソースによって作成されたジョブ」グラフは、作成されたジョブの内訳とそのソースをグラフィカルな棒グラフで表示します。この情報は、ライブ データに基づいています。積み上げ棒グラフが表示され、作成されたジョブ数とジョブ ソースが示されます。ジョブ ソースを更新するには、JobService で UpdateJobSource() SDK API を呼び出します。

! ビジネス プロセスの最初のステップとして、ジョブ ソースを更新することをお勧めします。

ステータス別ジョブ

「ステータス別ジョブ」グラフには、すべてのライブ ジョブがステータス別の円グラフで表示されます。

円グラフをクリックして、プロセス別またはソース別にドリルダウンします。すべてのジョブをドリルダウンすることや、ドリルダウンするジョブ数を制限するように指定することができます。たとえば、制限を 20 に設定すると、上位 20 または下位 20 のジョブをドリルダウンするように選択できます。

以下に基づいて、円グラフの領域を選択してドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: ステータス別にグループ化されたプロセス名ごとに各ジョブの数を円グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: ステータス別にグループ化されたソース名ごとに各ジョブの数を円グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

優先度別ジョブ

「優先度別ジョブ」グラフは、作成されたジョブの内訳と優先度をグラフィカルな棒グラフで表示します。

棒グラフには、ジョブの優先度に対するすべてのジョブの数が表示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: 優先度別にグループ化された各ジョブ (プロセス名ごと) の数を棒グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: 優先度別にグループ化された各ジョブ (ソースごと) の数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

プロセス別ジョブ

「プロセス別ジョブ」グラフには、プロセス別に作成されたジョブの詳細が棒グラフで表示されます。棒グラフが表示され、プロセス タイプ別にすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフのエリアを選択して、以下に基づいてデータをさらにドリルダウンします。

- ・ **[ソース]**: プロセス別にグループ化されたソースごとの各ジョブ数を棒グラフで表示します。
- ・ **[優先度]**: プロセス別にグループ化された優先度ごとに各ジョブの数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

ライブ ドキュメント

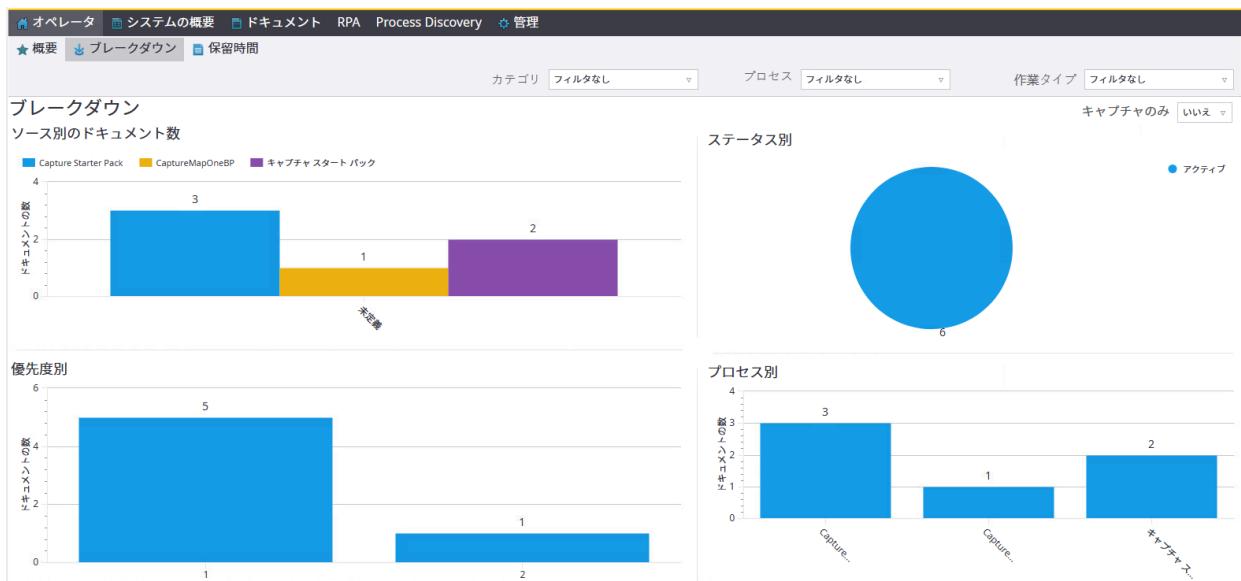
[ライブ ドキュメント] ビューを使用して、ライブ ドキュメントの内訳を表示します。

完了したドキュメントの内訳を個別に表示できます。

ライブ ドキュメントの内訳を表示するには、[オペレータ]>[ブレークダウン]>[ライブ ドキュメント] に移動します。

[ライブ ドキュメント] ビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスというドキュメントの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。棒グラフをクリックすると、データをさらにドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



ソース別のドキュメント数

ソース別のドキュメント数のグラフには、作成されたジョブの内訳とそのソースがグラフィカルな棒グラフで表示されます。この情報は、ライブ データに基づいています。積み上げ棒グラフには、作成されたドキュメント数とドキュメント ソースが示されます。ドキュメント ソースを更新するには、DocumentService で UpdateDocumentSource() SDK API を呼び出します。

重要 ビジネス プロセスの最初のステップとして、ドキュメント ソースを更新することをお勧めします。

ステータス別ドキュメント

ステータス別ドキュメントのグラフには、すべてのライブ ドキュメントがステータス別の円グラフで表示されます。

円グラフをクリックして、プロセス別またはソース別にドリルダウンします。ドキュメントについては、すべてをドリルダウンしたり、ドリルダウンするドキュメントの数を指定してドリルダウンしたりすることができます。たとえば、制限を 20 に設定すると、上位 20 件または下位 20 件のドキュメントをドリルダウンするように選択できます。

以下に基づいて、円グラフの領域を選択してドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: ステータス別にグループ化されたプロセス名ごとに各ドキュメントの数を円グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: ステータス別にグループ化されたソース名ごとに各ドキュメントの数を円グラフで表示します。

優先度別ドキュメント

優先度別ドキュメントのグラフには、作成されたジョブの内訳と優先度がグラフィカルな棒グラフで表示されます。この情報は、ライブ データに基づいています。

棒グラフには、ドキュメントの優先度に対するすべてのドキュメントの数が表示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: 優先度別にグループ化された各ドキュメント (プロセス名ごと) の数を棒グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: 優先度別にグループ化された各ドキュメント (ソースごと) の数を棒グラフで表示します。

プロセス別ドキュメント

プロセス別プロセスのグラフには、プロセス別に作成されたプロセスの詳細が棒グラフで表示されます。この情報は、ライブ データにのみに基づいています。棒グラフが表示され、プロセス タイプ別にすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフのエリアを選択して、以下に基づいてデータをさらにドリルダウンします。

- ・ **[ソース]**: プロセス別にグループ化されたソースごとの各ドキュメントの数を棒グラフで表示します。
- ・ **[優先度]**: プロセス別にグループ化された優先度ごとに各ドキュメントの数を棒グラフで表示します。

ライブ ページ

[ライブ ページ] ビューを使用して、ライブ データに基づいてライブ ページの内訳を表示します。

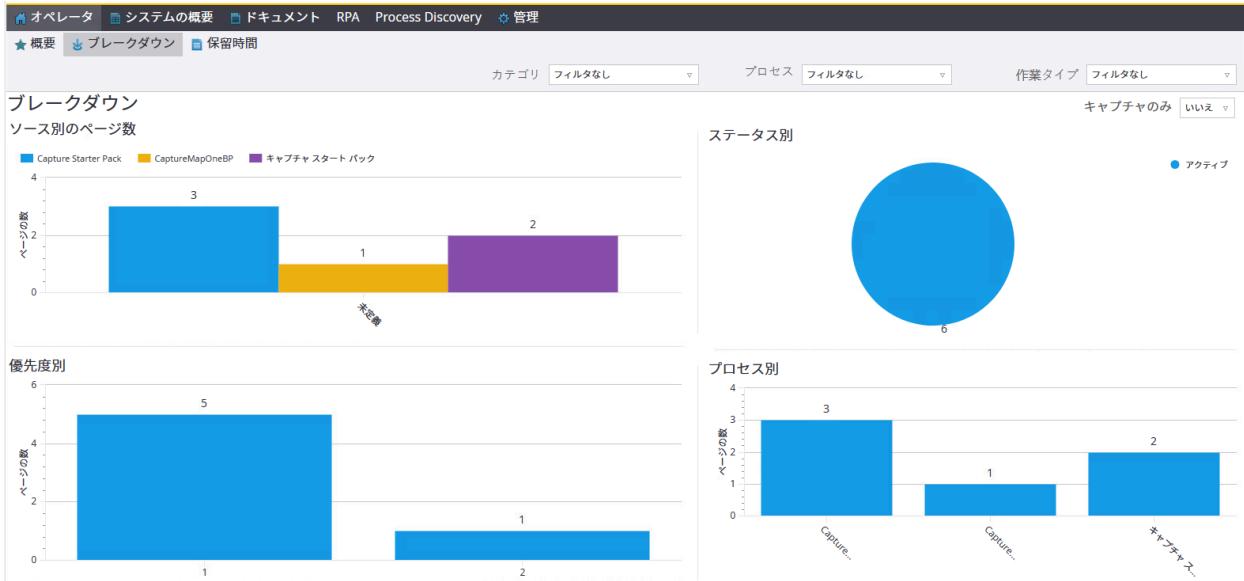
完了したページの内訳を個別に表示できます。

ライブ ページの内訳を表示するには、[オペレータ] > [ブレークダウン] > [ライブ ページ] に移動します。

[ライブ ページ] ビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスというドキュメントの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。棒グラフをクリックすると、データをさらに

ドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



ソース別のページ数

ソースによって作成されたページの数のグラフには、ライブデータに基づいて、作成されたページの内訳とそのソースがグラフィカルな棒グラフで表示されます。作成されたドキュメントの数とページのソースを示す積み上げ棒グラフが表示されます。ページソースを更新するには、PageService で UpdatePagesSource() SDK API を呼び出します。

（i） ビジネスプロセスの最初のステップとして、ページソースを更新することをお勧めします。

ステータス別ページ

ステータス別ページのグラフには、すべてのライブページがステータス別の円グラフで表示されます。

円グラフをクリックして、プロセス別またはソース別にドリルダウンします。ページについては、すべてをドリルダウンしたり、ドリルダウンするページの数を指定してドリルダウンしたりすることができます。たとえば、制限を 20 に設定すると、上位 20 件または下位 20 件のページをドリルダウンするように選択できます。

以下に基づいて、円グラフの領域を選択してドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]:** ステータス別にグループ化されたプロセス名ごとに各ページの数を円グラフで表示します。
- ・ **[ソース]:** ステータス別にグループ化されたソース名ごとに各ページの数を円グラフで表示します。

優先度別ジョブ

優先度別ドキュメントのグラフには、作成されたジョブの内訳と優先度がグラフィカルな棒グラフで表示されます。

棒グラフには、ドキュメントの優先度に対するすべてのドキュメントの数が表示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: 優先度別にグループ化された各ドキュメント (プロセス名ごと) の数を棒グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: 優先度別にグループ化された各ドキュメント (ソースごと) の数を棒グラフで表示します。

プロセス別ページ

プロセス別ページのグラフには、プロセス別に作成されたジョブの詳細が棒グラフで表示されます。棒グラフには、プロセス タイプ別にすべてのページの数が示されます。

棒グラフのエリアを選択して、以下に基づいてデータをさらにドリルダウンします。

- ・ **[ソース]**: プロセス別にグループ化されたソースごとの各ページの数を棒グラフで表示します。
- ・ **[優先度]**: プロセス別にグループ化された優先度ごとに各ページの数を棒グラフで表示します。

保留時間

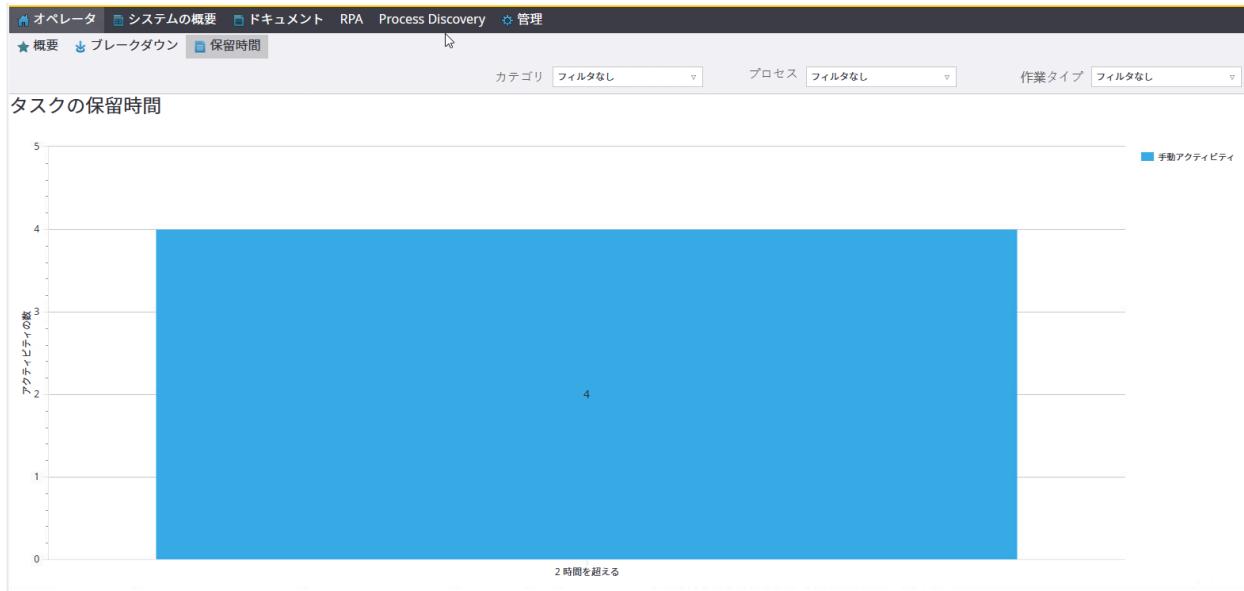
保留時間ビューを使用して、保留中の作業の量および比較的短い時間で完了する作業を確認します。これは、管理者がシステムの現在および過去のボトルネックを表示し、パフォーマンスの問題を特定するために役立ちます。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

保留時間を表示するには、**[オペレータ] > [保留時間]** に移動します。

グラフィカルな棒グラフは、タスクの保留時間の概要を示します。グラフには、すべてのタイプ (キャプチャ、非キャプチャ、手動、自動) の現在のアクティビティが、以下の保留時間別にグループ化されて表示されます。

- ・ 30 分以下
- ・ 30 分を超えるが 1 時間未満
- ・ 1 時間を超えるが 2 時間未満
- ・ 2 時間以上



グラフのエリアをクリックすると、[保留時間の詳細] ポップアップリストに、各アクティビティの詳細が表示されます。詳細には、アクティビティ名、プロセス名、ジョブ ID、期限、優先度、割り当て先、SLA、ドキュメント数、およびページ数が含まれます。

システムの概要

このメニューには、次のサブメニューが含まれます。

- [ジョブ](#)
 - [ジョブ](#)
 - [ブレークダウン](#)
 - [上申](#)
 - [傾向](#)
- [アクティビティ](#)
 - [セッション目標時間](#)
- [リソース](#)
 - [時間](#)
 - [コスト](#)
 - [リソース](#)

ジョブ

ジョブ サブメニューには、次のビューが含まれます。

- [ジョブ](#)

- [ブレークダウン](#)
- [上申](#)
- [傾向](#)

ジョブ

このビューには、システムで完了したすべてのジョブの要約が表示されます。

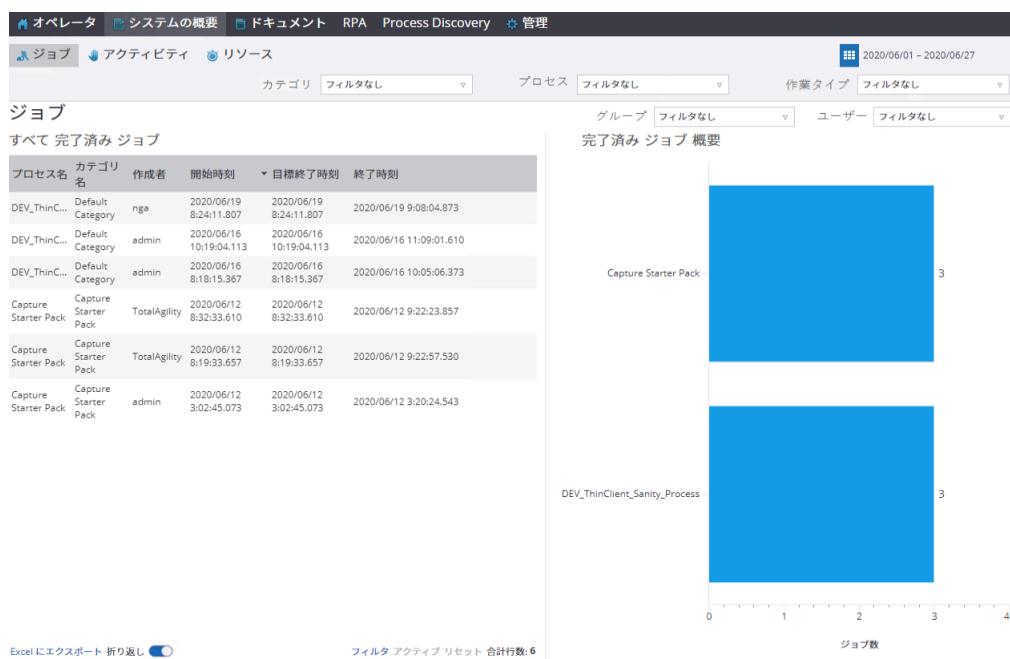
それぞれのデータは、グループとユーザーでフィルタリングすることができます。

すべての完了済みジョブは次のレコードを使用します。

完了済みジョブリソース: ジョブ作成者、ジョブ作成者のグループ、プロセス、開始時刻、終了予定期間、終了時刻、ジョブID、カテゴリ、および作業日数も記録する完了済みジョブのリスト。

このレコードは、ジョブとリソースグループのレコードを情報のソースとして使用します。

ジョブの概要を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ジョブ] に移動します。



ブレークダウン

このビューには、システムで完了したすべてのジョブ、ドキュメント、およびページの要約が表示されます。[ブレークダウン] ビューを使用して、条件の範囲に基づいて概要のデータの詳細な分析を実行します。

次の内訳を表示できます。

- [完了したジョブ](#)

- [完了したドキュメント](#)
- [完了したページ](#)

[ブレークダウン] ビューを表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ブレークダウン] をクリックします。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

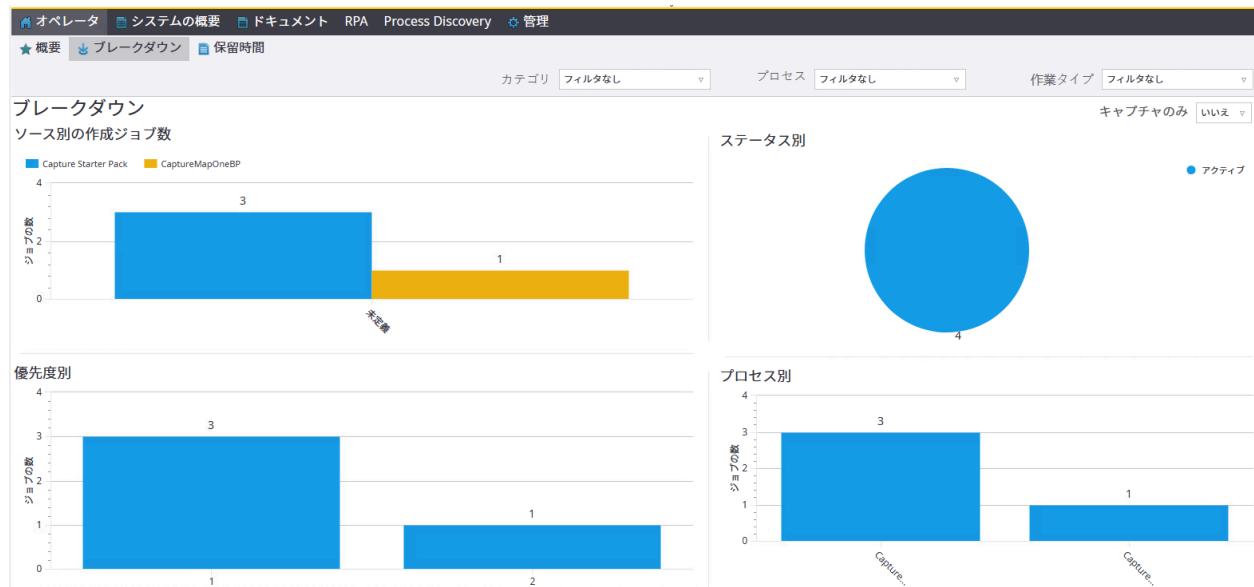
完了したジョブ

[完了したドキュメント ジョブ] ビューを使用して、完了したジョブの内訳を表示します。 [ライブ ジョブ](#) の内訳を個別に表示できます。

完了したジョブの内訳を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ブレークダウン] > [完了したジョブ] をクリックします。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

[ブレークダウン] ビューの各グラフには、ソース、優先度、およびプロセスという完了済みジョブの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。棒グラフをクリックすると、データをさらにドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。



ソース別の作成ジョブ数

ソース別の作成ジョブ数のグラフには、作成されたジョブの内訳とそのソースがグラフィカルな棒グラフで表示されます。

積み上げ棒グラフが表示され、作成されたジョブ数とジョブ ソースが示されます。ジョブ ソースを更新するには、JobService で UpdateJobSource() SDK API を呼び出します。

i ビジネス プロセスの最初のステップとして、ジョブ ソースを更新することをお勧めします。

優先度別ジョブ

優先度別ジョブ チャートには、完了済みジョブの内訳と優先度が棒グラフで表示されます。

棒グラフが表示され、ジョブの優先順位に対するすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ **[プロセス]**: 優先度別にグループ化された各ジョブ (プロセス名別) の数を棒グラフで表示します。
- ・ **[ソース]**: 優先度別にグループ化された各ジョブ (ソース別) の数を棒グラフで表示します。

プロセス別ジョブ

プロセス別ジョブ チャートは、プロセス別に完了済みジョブの内訳をグラフィカルな棒グラフで表示します。棒グラフが表示され、プロセス タイプ別にすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ **[ソース]**: プロセス別にグループ化されたソース別の各ジョブ数を棒グラフで表示します。
- ・ **[優先度]**: プロセス別にグループ化された優先度別の各ジョブの数を棒グラフで表示します。

完了したドキュメント

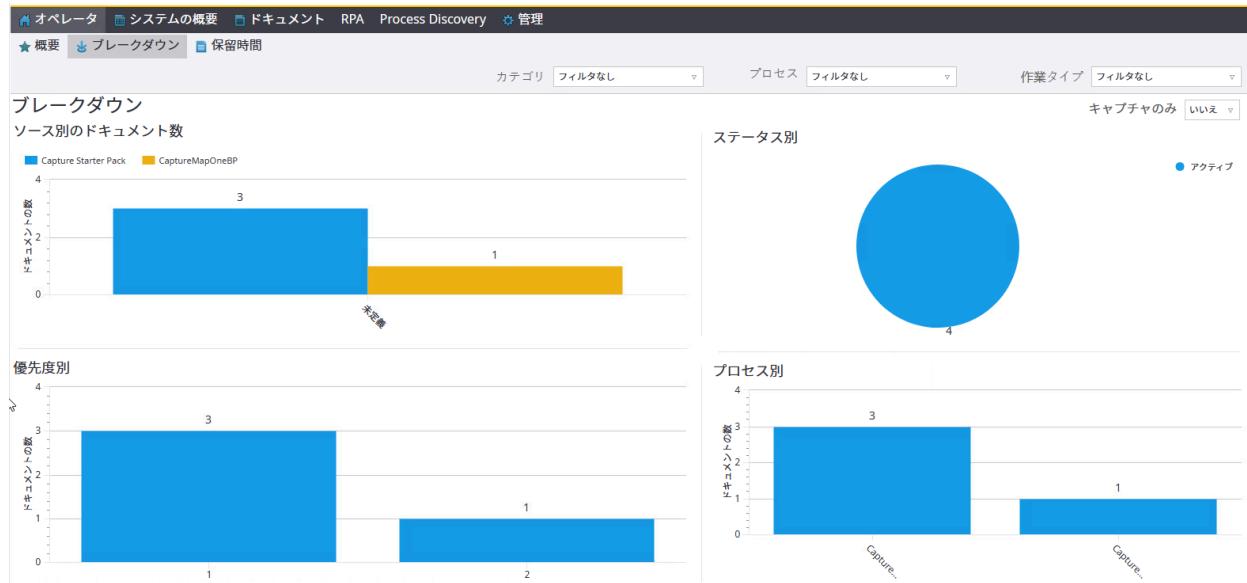
[完了したドキュメント] ビューを使用して、完了したドキュメントの内訳を表示します。

完了したドキュメントの内訳を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ブレークダウン] > [完了したドキュメント] をクリックします。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、および日付別にフィルタリングすることができます。

[完了したドキュメントのブレークダウン] ビューの各グラフには、ソース、優先度、およびプロセスという完了済みドキュメントの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。

棒グラフをクリックすると、データをさらにドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。



ソース別に作成されたドキュメント数

ソースによって作成されたドキュメントの数のグラフには、完了したドキュメントの内訳とそのソースがグラフィカルな棒グラフで表示されます。

積み上げ棒グラフには、作成されたドキュメント数とドキュメントソースが示されます。ドキュメントソースを更新するには、DocumentService で UpdateDocumentSource() SDK API を呼び出します。

優先度別ドキュメント

優先度別ドキュメントのグラフには、完了したドキュメントの内訳と優先度が棒グラフで表示されます。

棒グラフには、ドキュメントの優先度に対するすべてのドキュメントの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- **[プロセス]:** 優先度別にグループ化された完了済みの各ドキュメント (プロセス名ごと) の数を棒グラフで表示します。
- **[ソース]:** 優先度別にグループ化された完了済みの各ドキュメント (ソースごと) の数を棒グラフで表示します。

プロセス別ドキュメント

プロセス別ジョブのグラフには、プロセス別に完了したドキュメントの内訳がグラフィカルな棒グラフで表示されます。棒グラフには、プロセス タイプ別にすべてのドキュメントの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- **[ソース]:** プロセス別にグループ化されたソースごとの各ドキュメントの数を棒グラフで表示します。
- **[優先度]:** プロセス別にグループ化された優先度ごとに各ドキュメントの数を棒グラフで表示します。

完了したページ

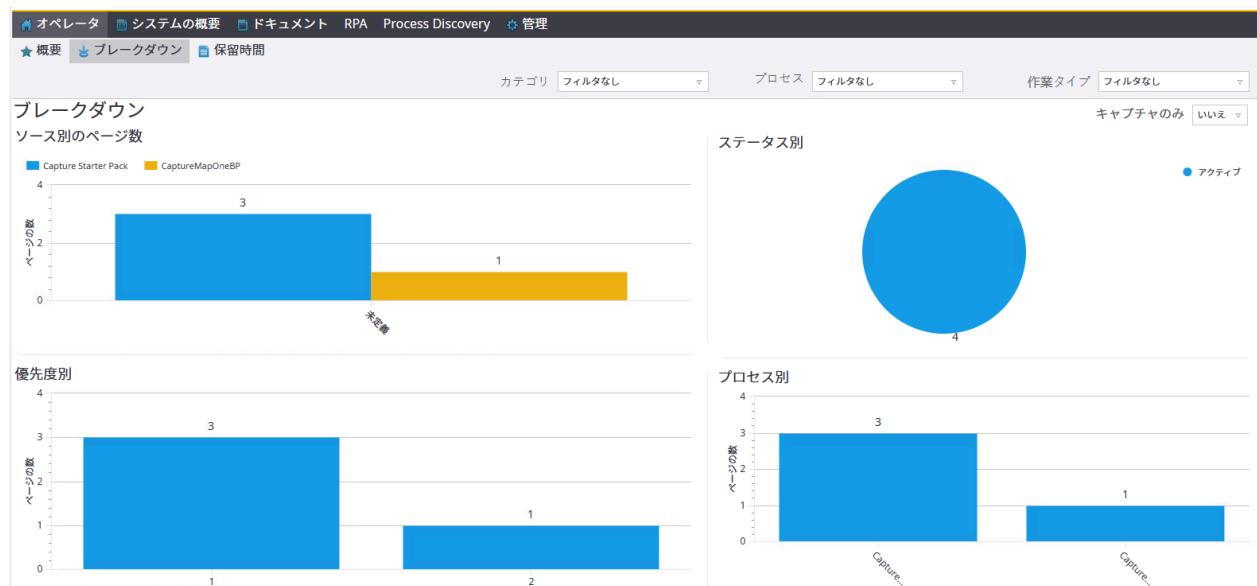
[完了したページ] ビューを使用して、完了したページの内訳を表示します。

完了したページの内訳を表示するには、[システムの概要] > [ブレークダウン] > [完了したページ] をクリックします。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

[完了したページ] ビューの各グラフには、ソース、優先度、およびプロセスという完了済みページの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。

棒グラフをクリックすると、データをさらにドリルダウンできます。元のグラフに戻るには、[ホーム] をクリックするか、グラフを右クリックしてから戻る矢印を選択します。



ソース別の完了したページ数

ソースによって作成されたページの数のグラフには、作成されたページの内訳とそのソースがグラフィカルな棒グラフで表示されます。

積み上げ棒グラフには、作成されたページ数とソースが示されます。ソースを更新するには、PageService で UpdatePagesSource() SDK API を呼び出します。

優先度別ページ

優先度別ジョブ チャートには、完了済みジョブの内訳と優先度が棒グラフで表示されます。

棒グラフには、優先度に対するすべてのページの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- [プロセス]: 優先度別にグループ化された各ページ (プロセス名別) の数を棒グラフで表示します。

- ・ [ソース]: 優先度別にグループ化された各ページ (ソース別) の数を棒グラフで表示します。

プロセス別ページ

プロセス別ページのグラフには、プロセス別に完了したページの内訳がグラフィカルな棒グラフで表示されます。棒グラフには、プロセス タイプ別にすべての完了したページの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- ・ [ソース]: プロセス別にグループ化された完了済みの各ページ (ソース別) の数を棒グラフで表示します。
- ・ [優先度]: プロセス別にグループ化された優先度ごとに完了済みの各ページの数を棒グラフで表示します。

上申

上申ビューを使用して、指定された期間内に発生したすべての上申を確認します。

このビューには、アラート、ドキュメント セット (ドキュメント期限)、プロセス例外、サーバー例外、およびトリガーという上申タイプによって作成およびグループ化されたジョブを示す棒グラフが表示されます。トップ ビューには、上申の総数が表示されます。

上申を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [上申] に移動します。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



棒グラフの上申タイプをクリックして、データをさらにドリルダウンします。たとえば、アラート上申タイプ別の作成ジョブ数を表示するには、グラフのアラートバーをクリックします。[アラート別の作成ジョブ数] ポップアップリストには、作成日(降順でソート)、プロセス、ジョブ ID、優先度、ジョブ所有者、およびジョブ SLA の詳細を含むテキストレポートが表示されます。

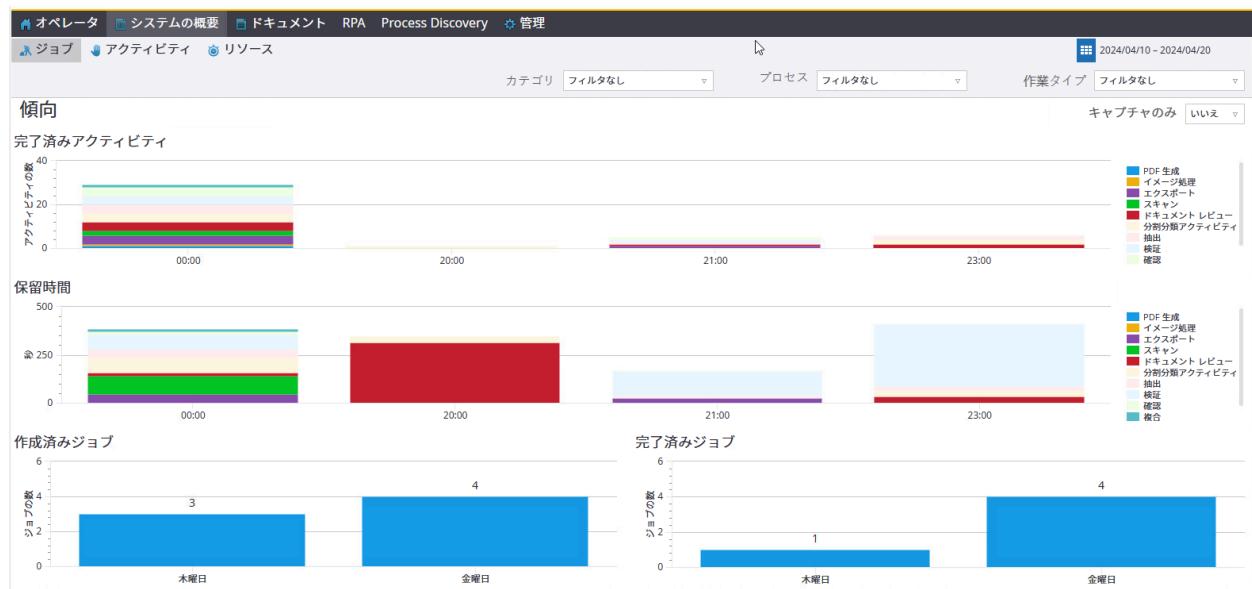
傾向

傾向ビューを使用して、TotalAgility で処理されたドキュメントの傾向情報を確認し、それに応じて人員配置を計画できます。

傾向ビューには、作成済みジョブ、完了済みアクティビティ、およびアクティビティの保留されていた時間を表わすグラフが棒グラフで表示されます。この情報には、キャプチャアクティビティと非キャプチャアクティビティが含まれます。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

アクティビティとジョブの傾向を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [傾向] に移動します。

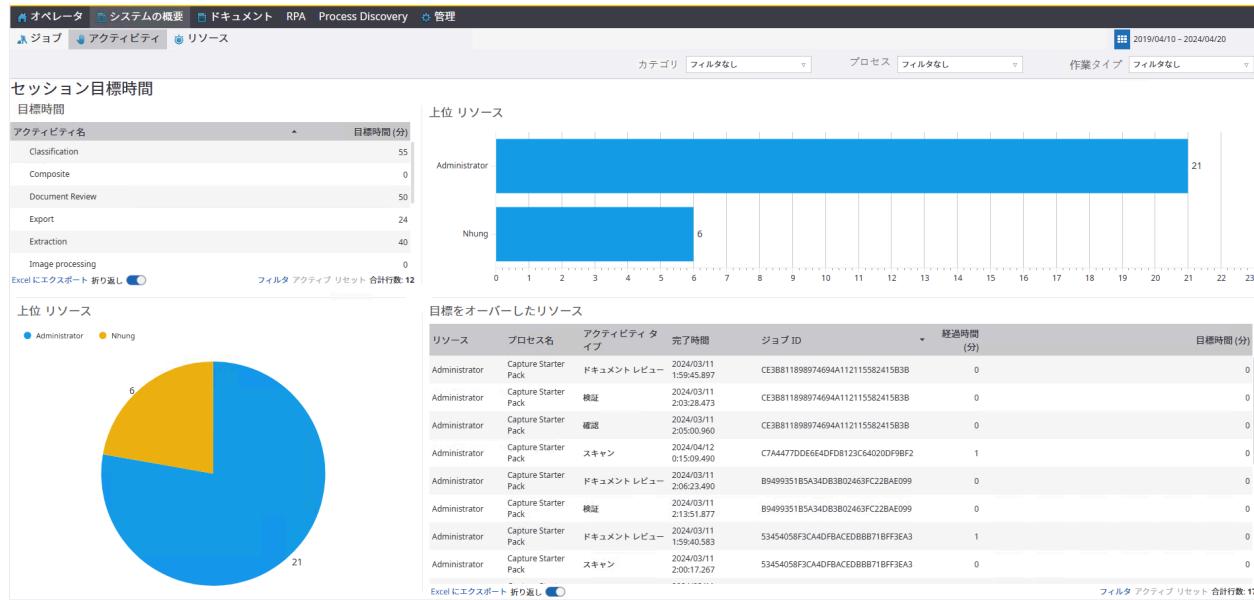


ビュー/チャート	説明	更新
完了済みアクティビティ	1時間ごとに完了するアクティビティの内訳。積み上げ棒グラフが表示され、1時間ごとの完了済みアクティビティの数が示されます。たとえば、午前10時に3件の検証アクティビティと7件のドキュメントレビューアクティビティが完了したとします。 棒グラフの領域をクリックして、アクティビティタイプの内訳を時間単位で表示します。	時間単位

ビュー/チャート	説明	更新
保留時間	<p>積み上げ棒グラフには、アクティビティの保留時刻と、アクティビティが保留されていた時間が表示されます。この情報は、ライブデータと履歴データの組み合わせであり、定期的に更新されます。</p> <p>棒グラフのエリアをクリックすると、アクティビティタイプのデータの内訳を時間単位で表示されます。保留中/完了済みアクティビティでジョブをさらにフィルタリングすることができます。</p>	時間単位
作成されたジョブ	<p>棒グラフには、曜日ごとに作成されたジョブの内訳が表示されます。</p> <p>棒グラフのエリアをクリックして、以下に基づいてデータをドリルダウンします。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロセス: 特定のプロセスの日単位の内訳を表示します。 時刻: ジョブ数と時間単位の内訳を表示します。 <p>元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。</p>	時間単位
完了済みジョブ	<p>棒グラフは、曜日ごとに完了済みジョブの内訳を表示します。</p> <p>棒グラフのエリアをクリックして、以下に基づいてデータをドリルダウンします。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロセス: プロセスタイプと日単位の内訳を表示します。 時刻: ジョブ数と時間単位の内訳を表示します。 <p>元のグラフに戻るには、ホームまたは「戻る」矢印をクリックします。</p>	日単位

アクティビティ

アクティビティサブメニューを使用して、アクティビティ完了時のリソースのパフォーマンスに関連する詳細を示すセッション目標時間ビューにアクセスします。



セッション目標時間

ビューにアクセスするには、[システムの概要] > [アクティビティ] > [セッション目標時間] に移動します。

目標時間

各アクティビティに関連付けられたセッション目標時間をテキスト チャートで表示します。

目標時間は、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティ目標時間: アクティビティ タイプ別にグループ化されたアクティビティの想定期間の合計(秒単位)。

トップ リソース

目標時間よりも短い時間でアクティビティを実行する上位リソースの円グラフと棒グラフを表示します。棒グラフまたは円グラフのエリアをクリックして、カテゴリ、プロセス アクティビティ、曜日、時間で情報をドリルダウンします。

上位のリソースは、次のメトリックの情報を使用します。

完了済みアクティビティ早期数: WORKING_TIME_SPENT <EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS であるアクティビティに関する情報。

目標をオーバーしたリソース

アクティビティの作業中に目標時間を超過したリソースを表示します。

目標をオーバーしたリソースは次のレコードを使用します。

完了済みアクティビティ遅延: 費やされた作業時間が想定期間よりも長い、完了済みアクティビティのリスト。

リソース

リソース サブメニューには、次のビューが含まれます。

- [時間](#)
- [コスト](#)
- [リソース](#)

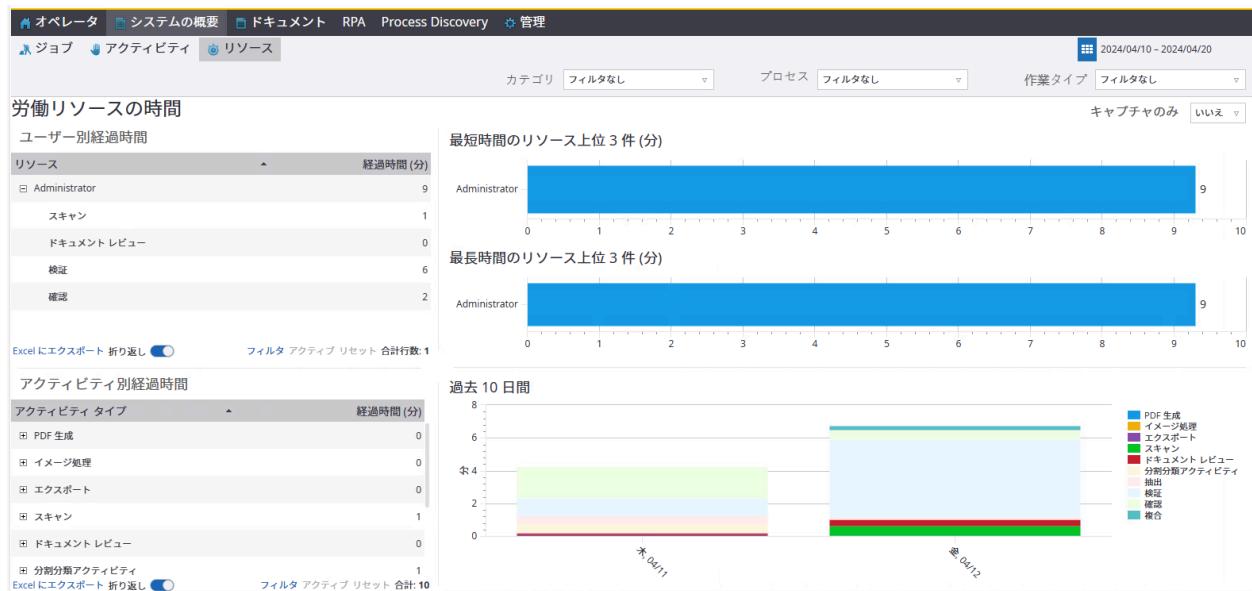
時間

労働リソースの時間ビューを使用して、リソースとコストがオペレーションに与える影響を分析します。リソースごとのアクティビティに費やされた作業時間の内訳を分単位で確認できます。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

リソース時間の詳細を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [時間] に移動します。

このビューには、対応する大きさで分割された労働リソースの時間、つまりユーザー別経過時間、最短時間のオペレータ上位 3 人、最長時間のオペレータ上位 3 人、アクティビティ別経過時間、および過去 10 日間が表示されます。



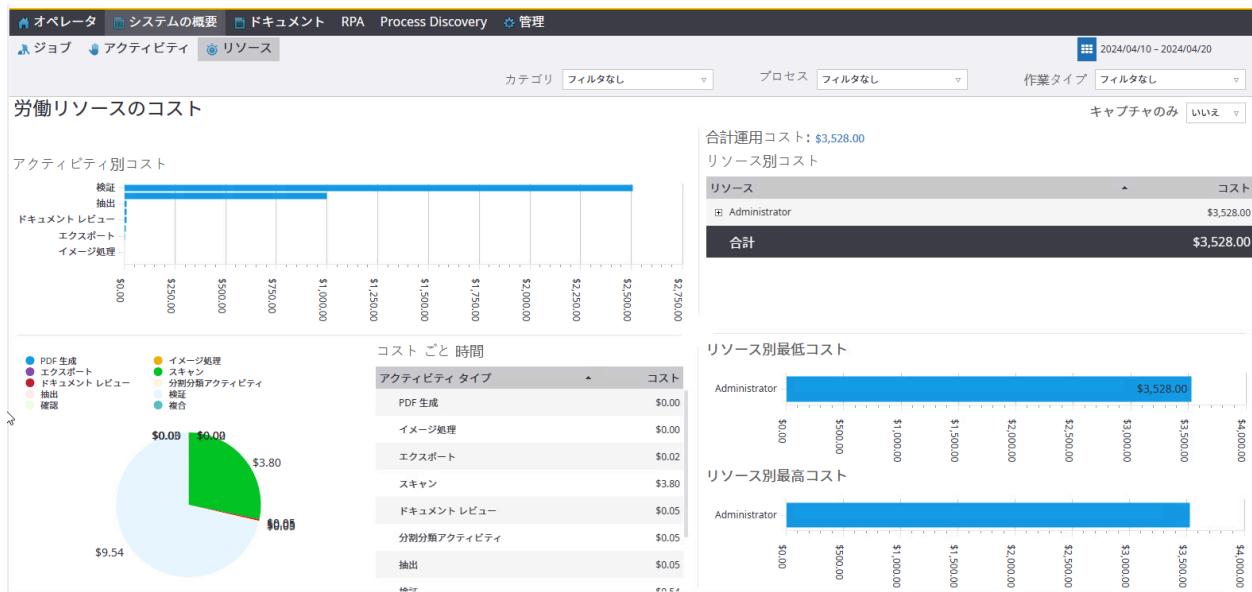
ビュー/チャート	説明
ユーザー別経過時間	<p>各アクティビティへのユーザー別経過時間(分単位)を含むテキストチャートを表示します。</p> <p>このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システムリソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。</p>
アクティビティ別経過時間	<p>各アクティビティに費やされた時間を分単位で含むテキストチャートを表示します。</p> <p>このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻: アクティビティタイプ別にグループ化された、完了済みアクティビティに費やされた合計作業時間。さらに、曜日、時刻、プロセス、またはオペレータ別に分類できます。</p>
最短時間のリソース上位3件(分)	<p>アクティビティに費やされた時間が最短の上位3つのリソースを含む棒グラフを表示します。</p> <p>グラフのエリアをクリックして、アクティビティタイプ、カテゴリ、IsCapture、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。</p> <p>このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システムリソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。</p>
最長時間のリソース上位3件(分)	<p>アクティビティに費やされた時間が最大上位3つのリソースを含む棒グラフを表示します。</p> <p>グラフのエリアをクリックして、アクティビティタイプ、カテゴリ、IsCapture、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。</p> <p>このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システムリソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。</p>
過去10日間	<p>過去10日間の各アクティビティに費やされた時間を含む棒グラフを表示します。</p> <p>棒グラフのエリアをクリックして、次のいずれかの方法でデータをさらにドリルダウンします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 曜日: 曜日ごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 時刻: 時刻ごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 IsCapture: 過去10日間のアクティビティのみに費やされた時間を表示します。 オペレータ: オペレータごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 プロセス: 各プロセスのアクティビティに費やされた時間を表示します。 <p>このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻: アクティビティタイプ別にグループ化された、完了済みアクティビティに費やされた合計作業時間。さらに、曜日、時刻、プロセス、またはオペレータ別に分類できます。</p>

コスト

労働リソースのコスト ビューを使用して、モジュールおよびオペレータ別にグループ化された全体的な運用労働コストを分析します。また、上位 5 人のオペレータに関する人件費の比較を表示することもできます。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

人件費の詳細を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [コスト] に移動します。



アクティビティ別コスト

棒グラフと円グラフには、各キャプチャ アクティビティのコストが表示されます。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

完了済みアクティビティ コスト: アクティビティ タイプ別にグループ化された、完了済みキャプチャ アクティビティの総コスト。さらに、日付、プロセス、または演算子別に分類できます。

1 時間あたりのコスト

テキストチャートには、1 時間あたりの各アクティビティのキャプチャのコストと、1 時間あたりのアクティビティ タイプ別実行コストが表示されます。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

1 時間あたりの完了済みアクティビティ コスト: 完了済みアクティビティのコストの時間単位の内訳。

運用コスト合計:

テキスト チャートには、指定されたフレームと選択されたプロセスにわたる各アクティビティ タイプの実行コストの合計が表示されます。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース別最低コスト

棒グラフには、最もコストのかからない 3 つのリソースが表示されます。フレームとコストの詳細を確認するには、棒グラフにマウス カーソルを移動します。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース別最高コスト

棒グラフには、最もコストのかかる 3 つのリソースが表示されます。フレームとコストの詳細を確認するには、棒グラフにマウス カーソルを移動します。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

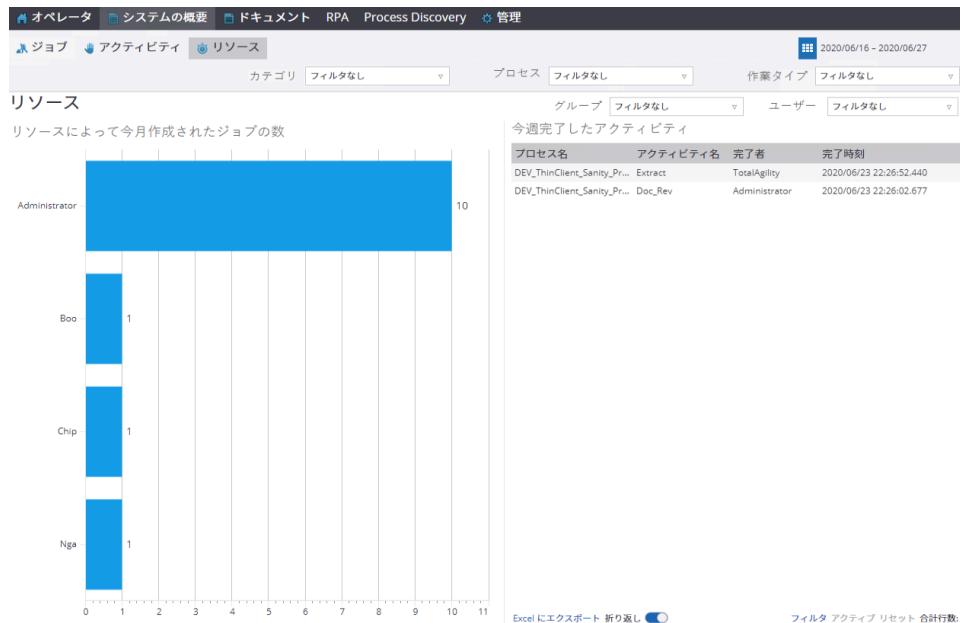
アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース

[リソース] ビューを使用して、1 か月のうちにリソースによって作成されたジョブの数と、週の初めから現在の日付までに各リソースが完了したすべてのアクティビティの概要を確認します。

リソースの概要を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [リソース] に移動します。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、グループ、ユーザーでフィルタリングすることができます。



リソースによって今月作成されたジョブの数

棒グラフには、月の初めから現在の日付までに各リソースが作成したジョブが表示されます。

このグラフは、次のメトリックからの情報を使用します。

このレコードは、ジョブ作成者によってグループ化された作成済みのジョブの数を使用します。このメトリックは、作成済みジョブ リソース レコードを使用し、カテゴリ、開始時間、プロセス、およびジョブ作成者のグループを含みます。

今週完了したアクティビティ

テキスト チャートには、各リソースが週の初めから現在の日付までに完了したすべてのアクティビティの概要が表示されます。

このグラフは、次のレコードを使用します。

完了済みアクティビティ リソース: ジョブのカテゴリ、完了時間、実行中のリソースのグループ、アクティビティ名、およびプロセスも記録する、実行中のリソースによってグループ化された完了済みアクティビティのリスト。

このレコードは、アクティビティ、リソース グループ、およびジョブ レコードを情報のソースとして使用します。

ドキュメント

[ドキュメント] メニューには、次のようなサブ メニューと、各サブメニュー内で使用できるビューが表示されます。

- [処理](#)
 - [ドキュメントの傾向](#)
 - [ドキュメントエクスポートの傾向](#)
 - [ドキュメントの検索](#)
 - [削除済みのドキュメントとページ](#)
 - [拒否](#)
 - [リソースの生産性](#)
 - [ドキュメント処理時間](#)
 - [手入力なしで処理](#)
- [分類](#)
 - [分類統計](#)
 - [分類チャート](#)
 - [分類ベンチマーク](#)
 - [分類の傾向](#)
 - [ページ分類の詳細](#)
- [抽出](#)
 - [抽出統計](#)
 - [抽出チャート](#)
 - [抽出ベンチマーク](#)
 - [抽出の傾向](#)

ドキュメントのプロセス データが存在しない場合、Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメント ビューには関連するプロセスとアクティビティの名前が [使用不可] と表示されます。このような状況を引き起こす可能性のあるシナリオには、次のものがあります。

- API がプロセス外で呼び出された場合。
- TotalAgility Designer のプロセスに [分析に含める] プロパティが設定されていない場合。
- ジョブが作成される前にドキュメントが削除された場合 (SCNJ/DCNJ)。
- ドキュメントのページ数が変更され、同じセッションでドキュメントが削除された場合。
- ドキュメントの概要 | アクティビティ名でジョブの結果が強制終了して使用不可と表示される場合。

処理

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [ドキュメントの傾向](#)

- [ドキュメント エクスポートの傾向](#)
- [ドキュメントの検索](#)
- [削除済みのドキュメントとページ](#)
- [拒否](#)
- [リソースの生産性](#)
- [ドキュメント処理時間](#)
- [手入力なしで処理](#)

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

ドキュメントの傾向

ドキュメントの傾向ビューを使用して、セッションごと、曜日ごと、または特定の曜日の時間ごとにドキュメントの傾向を確認します。このビューには、TotalAgility で処理されたドキュメントの傾向情報が表示されるため、それに応じて人員配置を計画できます。

ドキュメントの傾向を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメントの傾向] に移動します。

[ドキュメントの傾向] ビューには、以下の棒グラフが表示されます。

- **[アクティビティ タイプあたりの平均ドキュメント数]:** 完了したキャプチャ アクティビティのタイプ別にグループ化された異なるドキュメントの数を表示します。グローバルな日付範囲によって、グラフが年、月、日、時間のいずれでドリルダウンされるかが決まります。たとえば、1 日分のデータのみをフィルタリングする場合は X 軸は時間別のデータを示し、1 か月分のデータをフィルタリングする場合は日付別のデータを示します。
- **[曜日別のドキュメント数]:** 選択した日付範囲内で TotalAgility で作成された曜日でグループ化された異なるドキュメントの数を表示します。たとえば、火曜日のドキュメント数は、最新の火曜日だけでなく、選択した日付範囲内にあるすべての火曜日のドキュメント数です。
- **[1 日の時間帯別のドキュメント数]:** TotalAgility で作成された 1 日の時間別の異なるドキュメントの数を表示します。たとえば、午後 9 時に 20 件の検証アクティビティと 20 件のドキュメントレビュー アクティビティが完了したとします。棒グラフのエリアをクリックして、アクティビティ タイプの内訳を時間単位で表示します。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。



曜日別のドキュメント数および1日の時間帯別のドキュメント数のチャートの領域をクリックして、ドキュメントタイプ、アクティビティタイプ、曜日、ドキュメントタイプ、マシン名、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。すべてのジョブのデータをドリルダウンすることや、数の上限を指定して上位または下位のジョブをドリルダウンすることができます。たとえば、制限を20に設定すると、上位20または下位20のジョブをドリルダウンできます。

i スキャナまたはMFPを使用してTotalAgilityでドキュメントを作成すると、スキャン中に使用されたマシンの名前が、曜日別のドキュメント数と1日の時間帯別のドキュメント数のチャートに表示されます。

ドキュメントエクスポートの傾向

[ドキュメントエクスポートの傾向]ビューを使用して、月、曜日、および時間ごとにTotalAgilityからエクスポートされたドキュメントの傾向を確認します。

ドキュメントの傾向を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメントエクスポートの傾向]に移動します。

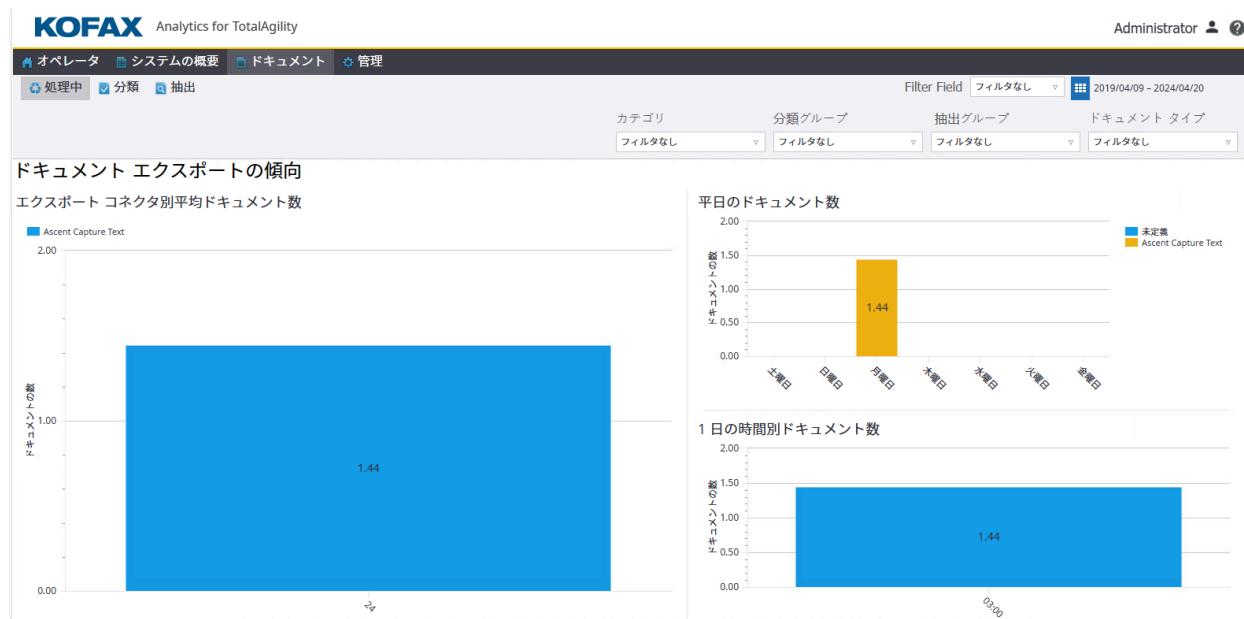
バーの高さはエクスポートされたドキュメントの数を表します。このビューは、古いデータおよび新しいデータで機能します。このビューには、フィルタフィールド、日付、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプなど、すべてのグローバルフィルタを適用できます。

[ドキュメントエクスポートの傾向]ビューには、以下の棒グラフが表示されます。

- エクスポートコネクタ別平均ドキュメント数:** エクスポートコネクタのタイプ別にグループ化されたエクスポート済みドキュメントの数を表示します。グローバル日付範囲によって、グラフを日、時、分、四半期、秒、週のいずれでドリルダウンするかが決定されます。たとえば、1日分のデータのみをフィルタリングする場合はX軸は時間別のデータを示し、1か月分のデータをフィルタリングする場合は日付別のデータを示します。

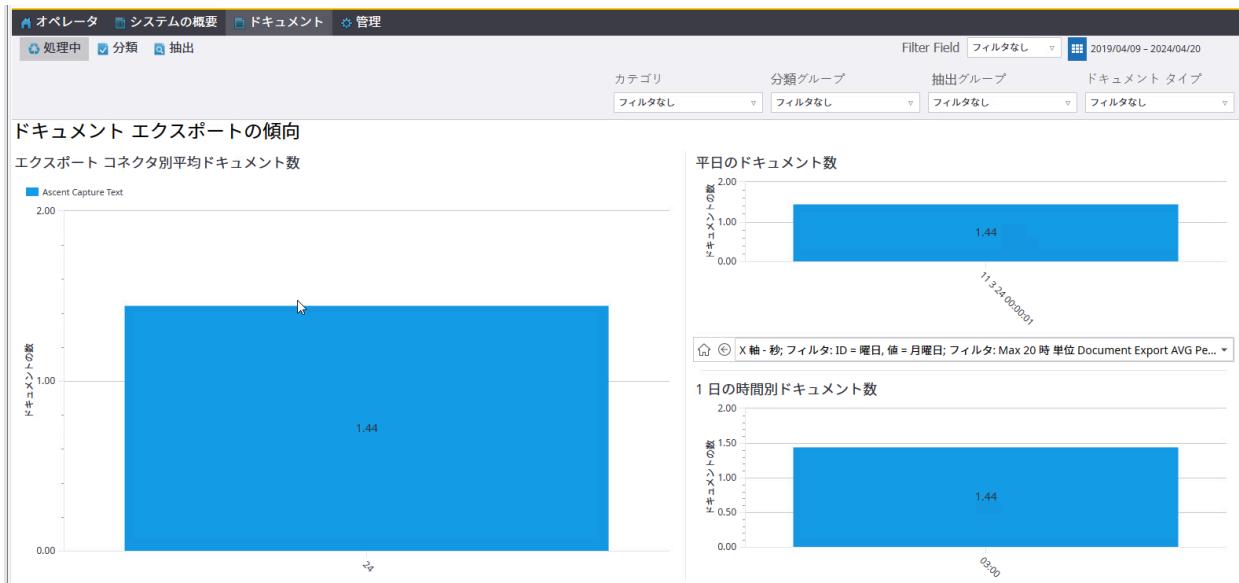
- **[曜日別のドキュメント数]:** 選択した日付範囲内で TotalAgility で作成された曜日でグループ化されたエクスポート済みドキュメントの数を表示します。たとえば、金曜日のドキュメント数は、最新の金曜日だけでなく、選択した日付範囲内にあるすべての金曜日のドキュメント数です。
- **[1日の時間帯別のドキュメント数]:** TotalAgility で作成された 1日の時間別のエクスポート済みの異なるドキュメントの数を表示します。たとえば、午後 8 時には 10 個のドキュメントがエクスポートされています。棒グラフのエリアをクリックすると、そのエクスポート コネクタの 1 時間ごとの内訳が表示されます。

フィルタ フィールド、日付、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプによってデータをフィルタリングすることができます。



[今週]、[曜日別のドキュメント数]、および [1日の時間帯別のドキュメント数] の各グラフの領域をクリックすると、時間別および方向別にデータをさらにドリルダウンできます。ドキュメントはすべてのデータをドリルダウンしたり、ドリルダウンする上位または下位のドキュメントの数を指定してドリルダウンしたりすることができます。たとえば、制限を 20 に設定すると、上位 20 または下位 20 のドキュメントをドリルダウンできます。

[曜日] グラフの領域をクリックすると、エクスポート コネクタのレベルまでドリルダウンすることができます (データ バーをクリックします)。



ドキュメントの検索

[ドキュメントの検索] ビューを使用してフィールド名とフィールド値に基づいてドキュメントを検索する、TotalAgility でのドキュメントの処理に関する詳細をすばやく見つけることができます。バーの高さは完了したドキュメントの数を表します。このビューは、古いデータおよび新しいデータで機能します。

① [ドキュメントの検索] ビューのデータは、[Field Fact] テーブルに基づいて表示されます。ドキュメントのフィールド データが [フィールド データの保持](#) ポリシーによって削除された場合は、検索を実行してもそのドキュメントは検索結果に表示されません。

ドキュメントを検索するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメントの検索] に移動します。

デフォルトでは、結果ページは空です。TotalAgility でのキャプチャ処理が完了すると、フィールド名が [ドキュメントの検索] ビューの [フィールド名] リストで検索できるようになります。結果を表示するには、検索条件としてフィールド名と値を選択します。複数のフィールドを選択して検索を実行することができます。1 つ以上のフィールドを選択すると、そのフィールドを含んだ検索条件に一致するすべてのドキュメントが表示されます。

条件に一致する検索結果には、次の列が含まれます：親フォルダの識別子、ドキュメント、フィールド名、テーブル名、行、および値。

親フォルダの識別子	ドキュメント	フィールド名	テーブル名	行 値
BankAppFolder	1: BHUtility Bill (1)	FirstName		Not set
BankAppFolder	1: BHApplication (1)	FirstName		1
BankAppFolder	2: BHDrivers License (1)	FirstName		Not set
BankAppFolder	3: BHDrivers License (1)	FirstName		Not set

検索結果の行をクリックして、[ドキュメントの概要](#)ポップアップで選択したドキュメントの詳細を表示します。このポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および[フィールド値]タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

削除済みのドキュメントとページ

[削除済みのドキュメントとページ] ビューを使用して、システムから削除されたすべてのドキュメントとページを表示すると、TotalAgility でリソースによって削除されたドキュメントとページを確認できます。削除済みのドキュメントとページの詳細を表示することもできます。

リソースおよびアクティビティ タイプのページ レベルのフィルタを使用して、データをフィルタリングします。

削除済みのドキュメントとページのリストを表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [削除済みのドキュメントとページ] に移動します。

時間	プロセス	アクティビティ名	リソース	親フォルダ	ドキュメント	ページ数
2024/04/12 0:14:55.997	Capture Starter Pack	Rescan	Administrator	Capture Starter Pack	2: Northwest (0)	0
2024/03/11 2:07:32.997	Capture Starter Pack	Validation	Administrator	Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	1
2024/03/11 1:59:33.997	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	2: Northwest (1)	1
2024/03/11 1:59:23.997	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	3: Northwest (0)	0

時間	プロセス	アクティビティ名	リソース	親フォルダ	ドキュメント	ページ数
2024/04/12 0:14:50.997	Capture Starter Pack	Rescan	Administrator	Capture Starter Pack	2: Northwest (0)	1
2024/03/11 1:59:18.997	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	3: Northwest (0)	1

このビューには 2 つのグリッドが表示されます。

- 上部のグリッドには、削除済みドキュメントが時間、プロセス、アクティビティ名、リソース、親フォルダ、ドキュメント、およびページ数の詳細とともに一覧表示されます。[ドキュメント] グリッドの行をクリックして、選択したドキュメントの概要を別のウィンドウに表示します。 [ドキュメントの概要](#) ポップアップには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。
- 下部のグリッドには、削除済みページが時間、プロセス、アクティビティ名、リソース、親フォルダ、ドキュメント、およびページ数の詳細とともに一覧表示されます。[ページ] グリッドの行をクリックして、選択したページのドキュメントの概要を別のウィンドウに表示します。 [ドキュメントの概要](#) ポップアップには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。

i Kofax Analytics for TotalAgility で手動アクティビティを実行するリソースがドキュメント/ページを削除すると TotalAgility でアラートがトリガーされるように、削除されたドキュメントおよび/またはページについてのアラートを Insight Admin Console で設定します。

拒否

拒否ビューを使用して、処理中に拒否されたドキュメントまたはページに関連する詳細を取得できるため、拒否の原因となるパターンを特定し、問題を修正できます。

このビューには、時間の経過に伴う拒否の傾向を示すグラフが表示されます。ドキュメントでのキャプチャ処理が完了していない場合でも、TotalAgility で拒否されたドキュメントとページを表示できます。

i ドキュメントまたはページが拒否され、アクティビティが完了する前に同じセッション内で拒否解除された場合、拒否されたページまたはドキュメントは拒否としてカウントされ、拒否ビューに表示されます。

イベントの日付でデータをフィルタリングするように日付フィルタを変更します。それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプ、リソース、アクティビティ タイプ、およびリジェクト理由のメモでフィルタリングすることができます。

拒否されたドキュメントとページのリストを表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [拒否] に移動します。

時間	プロセス	アクティビティ名	親フォルダ	ドキュメント	リジェクト理由のメモ
2024/03/11 1:59:10.997	Capture Starter Pack	Document Review	Capture Starter Pack	1: Northw... (1)	Reject doc 2
2024/03/11 1:58:56.997	Capture Starter Pack	Document Review	Capture Starter Pack	2: Tri- Spectrum (1)	

時間	プロセス	アクティビティ名	親フォルダ	ドキュメント	ページ番号	リジェクト理由のメモ
2024/03/11 0:14:14...	Capture Starter Pack	Document Review	Capture Starter Pack	1: North...	1	reject page
2024/03/11 0:58:45...	Capture Starter Pack	Document Review	Capture Starter Pack	2: Tri-Spectrum (1)	1	Reject page 1

拒否されたドキュメントと次の詳細を含むページがリストされた 2 つの個別のグリッドが表示されます。

- ドキュメント:** このグリッドには、イベントの日時、プロセス、アクティビティ名、親フォルダ、およびリジェクト理由のメモが表示されます。

[ドキュメント] グリッドで行をクリックし、選択済みドキュメントの [ドキュメントの概要](#) を別のウィンドウに表示します。このポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

- ページ数:** このグリッドには、イベントの日時、プロセス、アクティビティ名、親フォルダ、ページ番号、およびリジェクト理由のメモが表示されます。

[ページ] グリッドで、行をクリックして、[ドキュメントの概要](#) を別のウィンドウに表示します。このウィンドウには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

リソースの生産性

リソースの生産性のキャプチャビューには、特定の日時/期間によって処理されたドキュメント数の概要を示すレポートが表示されます。レポートには、処理済みドキュメント、分離調整、再分類、変更済みフィールドなどのキャプチャイベントが反映されます。。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプ、リソース、アクティビティタイプでフィルタリングすることができます。

リソースの生産性を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [リソースの生産性] に移動します。

リソースの生産性をキャプチャ

リソース	ドキュメント処理時間	異なるドキュメント	平均時間/異なるドキュメント	処理済みドキュメント	平均時間/処理済みドキュメント	処理済みドキュメントのページ	分離	再分類	変更済みフィールド	キーストローク
Administrator	0:00:21:28.884	28	0:00:00:46.032	91	0:00:00:14.164	99		4	33	151
Nhung	0:00:01:08.190	2	0:00:00:34.095	8	0:00:00:08.524	8			3	20
合計	0:00:22:37.074	30	0:00:00:45.236	99	0:00:00:13.708	107		4	36	171

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

リソースの生産性のキャプチャレポートには、リソース、ドキュメント処理時間、異なるドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、およびキーストロークの詳細が表示されます。

[リソースの生産性をキャプチャ] グリッドの行をクリックして、選択したリソースの生産性の詳細を別のウィンドウに表示します。たとえば、管理者の生産性の詳細を表示するには、グリッドの [管理者] をクリックします。管理者の [生産性の詳細] ウィンドウには、プロセス、アクティビティ名、アクティビティタイプ、時間、ドキュメント処理時間、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、およびキーストロークの詳細が含まれます。

グリッドの下部には、ドキュメント処理時間、ドキュメント数、ドキュメント平均処理時間、処理済みドキュメントのページ、分離、変更済みフィールド、およびキーストロークの各フィールドの合計が表示されます。



- リソースが手動のキャプチャ アクティビティにログインすると、そのリソースのセッション時間が累積されます。
- リソースがドキュメントレビューなどの手動アクティビティでドキュメント タイプを確認すると、処理済みドキュメントの数が増加します。
- リソースが手動アクティビティの分離エラーを修正すると、分離数が増加します。
- リソースが手動アクティビティでドキュメントを再分類すると、再分類の数が増加します。
- リソースが手動アクティビティのドキュメントインデックス フィールドを修正すると、変更済みフィールドの数が増加します。

生産性の詳細 - nga								
プロセス	アクティビティ名	アクティビティタイプ	時間	ドキュメント	処理済みドキュメント	平均時間/処理済みドキュメント	処理済みドキュメントのページ	分離 再分類 変更済みフィールド キーストローク
DEV_ThinClient_... (使用不可)	スキャン	2020/06/19 8:24:11.580	0:00:01:20.823	1	0:00:01:20.823	3		
DEV_ThinClient_... Scan_Activity	スキャン	2020/06/19 8:40:27.490	0:00:14:10.989	1	0:00:14:10.989	6		
DEV_ThinClient_... Doc_Rev	ドキュメント レビュー	2020/06/19 8:52:40.027	0:00:01:03.296	4	0:00:01:15.824	5	1 2	
DEV_ThinClient_... Validate	検証	2020/06/19 9:04:10.463	0:00:04:51.742	3	0:00:01:37.247	3		
DEV_ThinClient_... Verification	確認	2020/06/19 9:06:38.050	0:00:02:03.044	2	0:00:01:01.522	2		
			0:00:23:29.894	11	0:00:02:08.172	19	1 2	

データをさらにドリルダウンするには、[生産性の詳細] <リソース> グリッドの行をクリックします。[アクティビティ概要のキャプチャ] には、選択したキャプチャ アクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが表示されます。このレポートのデータには、ライブ ドキュメントを含む手動キャプチャ アクティビティのすべてのセッションが表示されます。ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。

アクティビティ概要のキャプチャ				
ドキュメント				
プロセス	親フォルダ ID	ドキュメント	分離調整	変更済みフィールド
アクティビティ名				
アクティビティ タイプ				
優先度				
リソース				
時間				
処理時間				
ステータス				
マシン名				

イベント				
ドキュメント	イベント タイプ	古い値	新しい値	フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 0
20200619_082411580	ドキュメント	20200619_082411580	20200619_082411580	

[ドキュメント] グリッドまたは[イベント] グリッドで行をクリックすると、選択済みドキュメントまたはイベントの [ドキュメントの概要](#) が別のウィンドウに表示されます。このウィンドウには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および[フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

ドキュメント処理時間

ドキュメント処理時間ビューを使用して、TotalAgility でドキュメントが処理を完了するまでにかかった時間を確認します。このビューには、インタラクティブ アクティビティの処理済みドキュメントが表示されます。自動アクティビティの処理済みドキュメントは表示されません。

テキスト チャートには、合計および平均の処理時間、分離、再分類、および変更済みフィールドが表示されます。TotalAgility はアクティビティの時刻を反映する一方で、Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメントの処理時間は、修正および各ドキュメントの表示に費やされた時間を含むドキュメントの合計処理時間を反映します。たとえば、アクティビティで 3 つのドキュメントを処理した場合、ドキュメント処理時間は、3 つのドキュメントすべての処理時間の合計になります。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプ、リソース(複数選択と検索)、アクティビティタイプでフィルタリングすることができます。

ドキュメント処理時間を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメント処理時間] に移動します。

ドキュメントタイプ	処理時間	異なるドキュメント	平均時間/異なるドキュメント	処理済みドキュメント	平均時間/処理済みドキュメント	処理済みドキュメントページ	分離	再分類	変更済みフィールド	キーストローク
Tr-Spectrum	0:00:14:42.403	12	0:00:01:13.534	41	0:00:00:21.522	41		2	19	83
Northwest	0:00:07:13.982	16	0:00:00:27.124	52	0:00:00:08.346	50		2	17	88
BHApplication	0:00:00:36.592	1	0:00:00:36.592	5	0:00:00:07.318	15				
Not set	0:00:00:04.097	1	0:00:00:04.097	1	0:00:00:04.097	1				
合計	0:00:22:37.074	30	0:00:00:45.236	99	0:00:00:13.708	107		4	36	171

ドキュメント処理時間ビューには、ドキュメントタイプ、処理時間、異なるドキュメント、平均時間/異なるドキュメント、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、キーストロークの詳細が表示されます。

このビューの各行は、ドキュメントタイプを表します。任意の行を展開して、リソース名と合計処理時間を表示します。ドキュメントタイプまたはリソースをクリックしてドキュメント処理の詳細にドリルダウンし、必要に応じてアクティビティ概要のキャプチャにさらにドリルダウンします。アクティビティ概要のキャプチャには、選択したキャプチャ アクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが一覧表示されます。

処理の詳細ポップアップ

[ドキュメント処理時間] グリッドの行をクリックして、処理の詳細 <ドキュメントタイプ> ポップアップに集計されたデータの詳細を表示します。ドキュメントタイプの行を展開してリソース名をクリックすると、処理の詳細 <リソース、ドキュメントタイプ> ポップアップが表示されます。

ポップアップには、プロセス、アクティビティタイプ、リソース、時間、処理時間、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、フィールド、変更済みフィールド、キーストロークの詳細が表示されます。

処理の詳細 - Tri-Spectrum								
プロセス	アクティビティ タイプ	リソース	時間	処理時間	処理済みドキュメント	平均時間/処理済みドキュメント	処理済みドキュメントのページ	分離 再分離 フィールド
Capture Starter Pack	スキャン	Administrator	2024/04/11 23:59:23	0:00:00...	4	0:00:00:04.157	4	50
Capture Starter Pack	検証	Administrator	2024/04/11 23:59:53.287	0:00:00...	3	0:00:00:04.483	3	40 3 8
Capture Starter Pack	確認	Administrator	2024/04/11 23:58:52.870	0:00:00...	4	0:00:00:12.406	4	50
Capture Starter Pack	スキャン	Administrator	2024/04/11 23:57:31.333	0:00:00...	1	0:00:00:04.961	1	15
Capture Starter Pack	ドキュメント レビュー	Administrator	2024/04/11 23:58:17.633	0:00:00...	1	0:00:00:02.254	1	15
Capture Starter Pack	検証	Administrator	2024/04/12 0:03:33.990	0:00:04...	1	0:00:04:13.566	1	15 1 2
Capture Starter Pack	確認	Administrator	2024/04/12 0:03:40.009	0:00:00...	1	0:00:00:08.532	1	15
Capture Starter Pack	スキャン	Administrator	2024/04/12 0:17:24.820	0:00:00...	1	0:00:00:06.769	1	5
Capture Starter Pack	ドキュメント レビュー	Administrator	2024/04/12 0:17:56.943	0:00:00...	1	0:00:00:07.027	1	1 5
Capture Starter Pack	スキャン	Administrator	2024/04/12 0:18:28.527	0:00:00...	1	0:00:00:01.456	1	0
Capture Starter Pack	検証	Administrator	2024/04/12 0:18:50.427	0:00:00...	1	0:00:00:15.024	1	5 4 13
Capture Starter Pack	確認	Administrator	2024/04/12 0:18:53.447	0:00:00...	1	0:00:00:10.216	1	5
Capture Starter Pack	スキャン	Administrator	2024/04/12 0:00:00...	0:00:00...	1	0:00:00:06.191	1	1 0 220 8 23
Excel にエクスポート 折り返し								

さらにデータをドリルダウンするには、[処理の詳細] ウィンドウの行をクリックします。アクティビティ概要のキャプチャが別のウィンドウに表示され、選択したキャプチャアクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが一覧表示されます。ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。

アクティビティ概要のキャプチャ								
ドキュメント								
プロセス	アクティビティ名	リソース	時間	処理時間	ドキュメント	分離済み 再分離済み	変更済みフィールド	
Capture Starter Pack	Validation	Administrator	2024/04/11 21:08:53.287	0:00:01:04.000	Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	いいえ	2
	アクティビティ タイプ	検証			Capture Starter Pack	2: Northwest (1)	いいえ	
	優先度	1			Capture Starter Pack	3: Northwest (1)	いいえ	1
	リソース	Administrator			Capture Starter Pack	4: Northwest (1)	いいえ	2
	時間	2024/04/11 21:08:53.287			Capture Starter Pack	5: Northwest (1)	いいえ	1
	処理時間	0:00:01:04.000			Capture Starter Pack	6: Tri-Spectrum (1)	いいえ	
	ステータス	完了済み			Capture Starter Pack	7: Tri-Spectrum (1)	いいえ	1
	マシン名	(使用不可)			Capture Starter Pack	8: Tri-Spectrum (1)	いいえ	1
					Capture Starter Pack	9: Tri-Spectrum (1)	いいえ	1
Excel にエクスポート 折り返し								

イベント								
ドキュメント								
ドキュメント	イベント タイプ	古い値	新しい値	ドキュメント	分離済み 再分離済み	変更済みフィールド		
1: Northwest (1)	変更済みフィールド	2 フィールド、9 キーストローク	1 フィールド、8 キーストローク	Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	いいえ		
3: Northwest (1)	変更済みフィールド	2 フィールド、15 キーストローク	1 フィールド、15 キーストローク	Capture Starter Pack	2: Northwest (1)	いいえ		
4: Northwest (1)	変更済みフィールド	1 フィールド、3 キーストローク	1 フィールド、3 キーストローク	Capture Starter Pack	3: Northwest (1)	いいえ		
5: Northwest (1)	変更済みフィールド	1 フィールド、2 キーストローク	1 フィールド、2 キーストローク	Capture Starter Pack	4: Northwest (1)	いいえ		
7: Tri-Spectrum (1)	変更済みフィールド	1 フィールド、2 キーストローク	1 フィールド、2 キーストローク	Capture Starter Pack	5: Northwest (1)	いいえ		
8: Tri-Spectrum (1)	変更済みフィールド	1 フィールド、4 キーストローク	1 フィールド、4 キーストローク	Capture Starter Pack	6: Tri-Spectrum (1)	いいえ		
9: Tri-Spectrum (1)	変更済みフィールド	1 フィールド、4 キーストローク	1 フィールド、4 キーストローク	Capture Starter Pack	7: Tri-Spectrum (1)	いいえ		
Excel にエクスポート 折り返し								

[ドキュメント] グリッドまたは[イベント] グリッドで、行を選択して、選択済みドキュメントまたはイベントのドキュメントの概要を表示します。[ドキュメントの概要] ポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および[フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

ドキュメントの概要ウィンドウ

[ドキュメントの概要] には、特定のドキュメントの監査証跡が表示されるため、TotalAgility のドキュメントに加えられた変更を簡単に確認できます。[ドキュメントの概要] ウィンドウには、一度に 1 つのドキュメントの概要のみが表示されます。後続のアクティビティ概要から別のドキュメントを選択した場合、そのドキュメントにはデータが含まれません。

[ドキュメントの概要] ウィンドウの情報は、次のタブの下にグループ化されています。

タブ	情報
[全般]	<p>このタブには、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリ ・ ドキュメント タイプ ・ 分類グループ ・ 抽出グループ ・ ページ数 ・ システム分類済み ・ 分類済みドキュメント タイプ ・ 分類済み信頼度 ・ 高信頼度で分類済み ・ 処理時間 ・ 分離調整数 ・ 再分類済み ・ 変更済みフィールド ・ キャプチャ完了(日時) ・ 完全なフォルダ ID ・ ドキュメント ID ・ リポジトリドキュメント ID
[アクティビティのキャプチャ]	<p>このタブには 2 つのグリッドが表示されます。</p> <p>上部のグリッドには、次の詳細を含む、ドキュメントを処理したアクティビティのキャプチャリストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロセス名 ・ アクティビティ ・ アクティビティ タイプ ・ 時間 ・ 処理時間 <p>上部のグリッドでアクティビティを選択すると、下部のグリッドには選択したアクティビティのアクティビティ セッションが表示されます。これには次の詳細が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロセス名 ・ アクティビティ ・ アクティビティ タイプ ・ リソース ・ 時間 ・ 処理時間(合計経過時間) <p>[アクティビティ セッション] グリッドでセッションを選択すると、選択したキャプチャアクティビティ(セッション)の詳細、関連するドキュメント、およびイベントが アクティビティ概要のキャプチャ に表示されます。</p>

タブ	情報
[イベントのキャプチャ]	<p>このタブには、分類、分離、フィールド変更、削除、拒否、およびキャプチャ完了ドキュメントに関連するイベントが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクティビティ開始時間、日付 イベントタイプ アクティビティタイプ アクティビティ名 リソース 古い値 新しい値 <p>グリッドでアクティビティ (セッション) を選択すると、詳細および関連するドキュメントとイベントがアクティビティ概要のキャプチャに表示されます。</p>
[フィールド変更]	<p>このタブには、次の詳細を含む、変更済みフィールドのリストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間 フィールド名 テーブル名 行 古い値 新しい値 リソース アクティビティ名
[フィールド値]	<p>このタブには、次の詳細を含む、フィールド名でソートされたすべてのドキュメントフィールドのリストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールド名 テーブル名 行 値

アクティビティ概要のキャプチャ

Kofax Analytics for TotalAgility の [アクティビティ概要のキャプチャ] には、特定のアクティビティ (セッション) の詳細が表示されます。これにより、TotalAgility で発生したイベント、どのリソースがどのアクティビティに関連付けられているか、イベントがいつ、どのワークステーションから発生したかを簡単に確認できます。[アクティビティ概要のキャプチャ] には特定のジョブで処理されたすべてのドキュメントが表示されますが、ドキュメントの概要は選択したドキュメントについてのみ表示されます。後続のアクティビティ概要から別のドキュメントを選択した場合、そのドキュメントにはデータが含まれません。



アクティビティ セッションを選択すると、[アクティビティ概要のキャプチャ] の別のウィンドウに次の情報が一覧表示されます。

- ・ プロセス
- ・ アクティビティ名
- ・ アクティビティ タイプ
- ・ 優先度
- ・ リソース
- ・ 時間
- ・ 処理時間
- ・ ステータス
- ・ マシン名 (通常は TotalAgility サーバーですが、スキャンの場合はスキャンステーションとなります)

ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。アクティビティでドキュメントを処理すると、アクティビティによって処理されたドキュメントのリストがドキュメント グリッドに表示されます。ドキュメント グリッドには、親フォルダ ID、ドキュメント名、分離調整、再分類、フィールド変更の数ごとに各ドキュメントがリストされます。

[ドキュメント] グリッドまたは [イベント] グリッドで行をクリックすると、選択済みドキュメントまたはイベントのドキュメントの概要が表示されます。ドキュメントの概要には、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

手入力なしで処理

[手入力なしで処理] ビューを使用して、処理済みドキュメントの総数に対する、手動修正なしで処理された項目の比率を調べます。[手入力なしで処理] ビューではドキュメントの詳細を確認できるため、グラフ内の情報を検証できます。

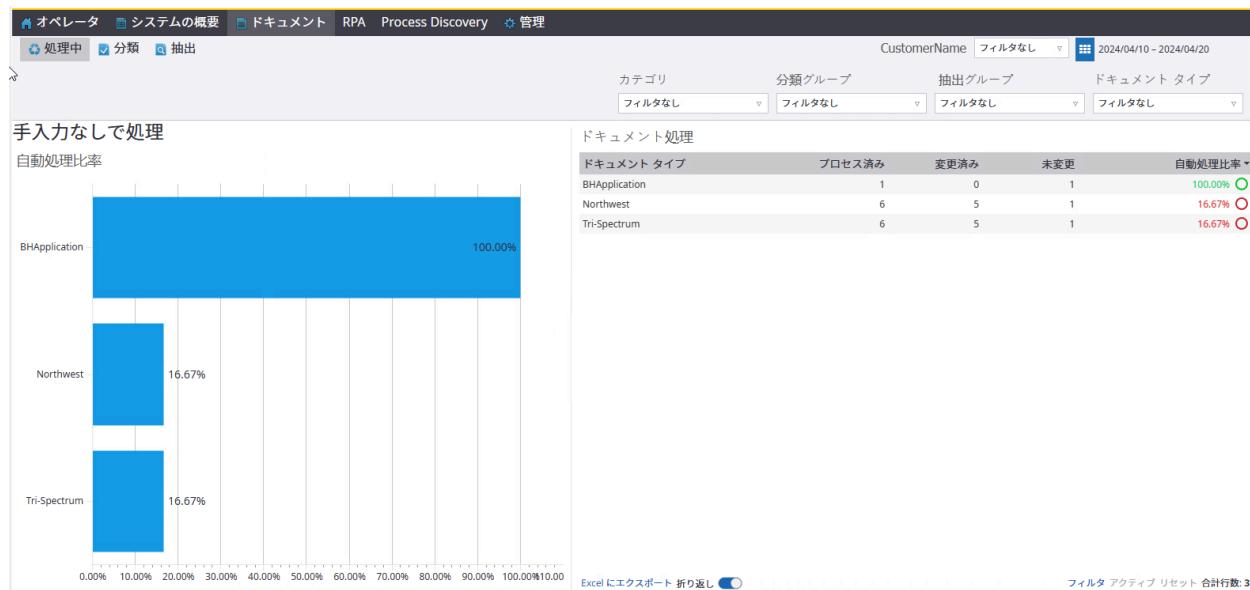
このビューには、手動アクティビティのリソースが変更なしでキャプチャ処理を完了したドキュメントの割合を示すグラフが表示されます。データは完了したドキュメントに基づいており、完了日でフィルタリングされ、ドキュメントタイプ別にグループ化されています。

キャプチャ処理を完了する前に、手動アクティビティのドキュメントで次のいずれかが発生した場合は、手入力が行われたと見なされます。

- 分離 (分割済み、マージ済み、ページ移動)
- 再分類済み
- フィールドの変更

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプでフィルタリングすることができます。

キャプチャ処理を完了したドキュメントの数を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [手入力なしで処理] を選択します。



[ドキュメント処理] グリッドの行をクリックして、[自動処理の詳細 <ドキュメント タイプ>] ウィンドウを表示します。

自動処理の詳細

[ドキュメント処理] グリッドの行をクリックすると、選択したドキュメントの詳細が [自動処理の詳細 <ドキュメント タイプ>] ウィンドウに表示されます。これには、時間、親フォルダ、ドキュメント、分離調整、再分類、変更済みフィールド、キーストローク、ドキュメント処理時間、変更などが含まれます。

自動処理の詳細 - Northwest							
時間	親フォルダ	ドキュメント	分離調整	再分類済み	変更済みフィールド	キーストローク	ドキュメント処理時間
2024/04/12 0:04:34.997	Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	0 いいえ		2	10	0:00:00:30.864 はい
2024/04/11 21:09:23.997	Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	0 いいえ		2	9	0:00:00:32.200 はい
2024/04/11 21:09:23.997	Capture Starter Pack	2: Northwest (1)	0 いいえ		0	0	0:00:00:44.337 いいえ
2024/04/11 21:09:23.997	Capture Starter Pack	3: Northwest (1)	0 いいえ		1	8	0:00:00:16.156 はい
2024/04/11 21:09:23.997	Capture Starter Pack	4: Northwest (1)	0 いいえ		2	15	0:00:00:16.886 はい
2024/04/11 21:09:23.997	Capture Starter Pack	5: Northwest (1)	0 いいえ		1	3	0:00:00:12.688 はい

Excel にエクスポート 折り返し:

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 6

データをさらにドリルダウンするには、[自動処理の詳細 <ドキュメント タイプ>] ウィンドウで、行をクリックして [ドキュメントの概要](#) を表示します。これには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。

分類

[分類] サブメニューを使用して、さまざまなドキュメント タイプ、処理信頼度、再分類済みドキュメントに関連するビューにアクセスします。

このビューには、ドキュメント タイプと信頼度による分類済みドキュメントの総数と参加したアクティビティを実行したリソースによる再分類を比較することで、完了済みドキュメントがどの程度適切に分類されているかが表示されます。[分類] ビューには、完了済みドキュメントのデータのみが表示され、削除、タイムアウト、または進行中のドキュメントに関連するデータは除外されます。

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [分類統計](#)
- [分類チャート](#)
- [分類ベンチマーク](#)
- [分類の傾向](#)
- [ページ分類の詳細](#)

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

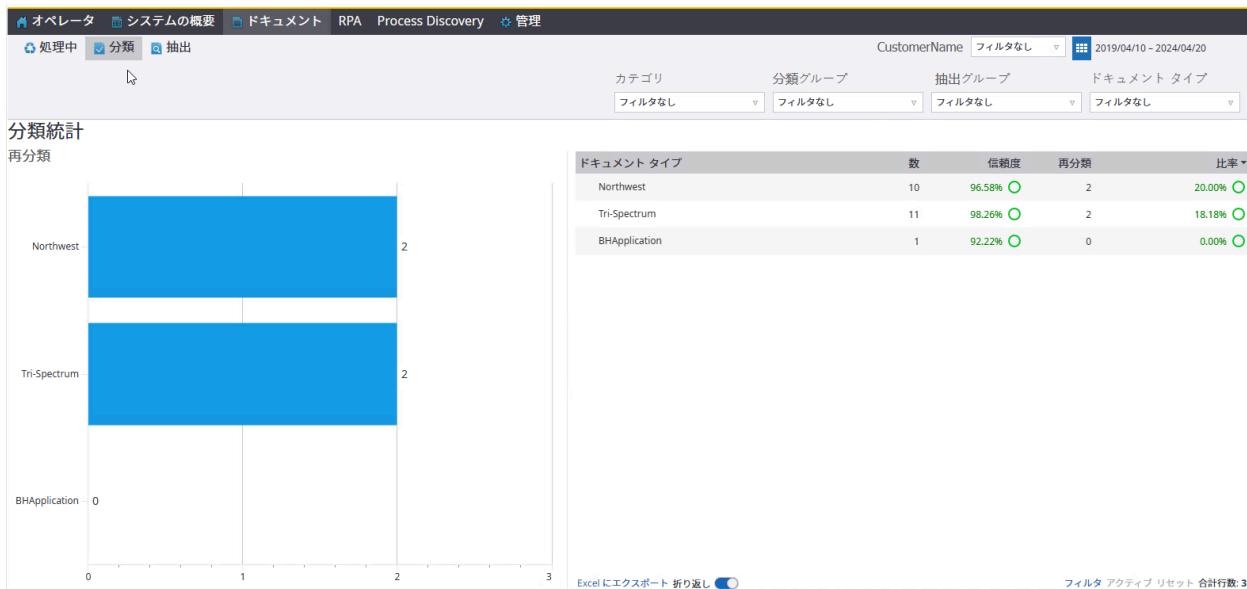
分類統計

[分類統計] ビューを使用して、再分類の回数、信頼度、数などといったドキュメントの変更率を確認します。

このビューには、次の時間単位の実行プランが実行された後に、最終的なドキュメント タイプの再分類済みドキュメントを含む水平棒グラフと、最終ドキュメント タイプを含むテキスト チャート (TotalAgility でアクティビティのキャプチャを完了するドキュメント) が表示されます。分離グリッドには、選択済みドキュメント タイプの再分類済みドキュメントに関連する次の詳細が表示されます：ドキュメント タイプ、数、信頼度、再分類、および比率。

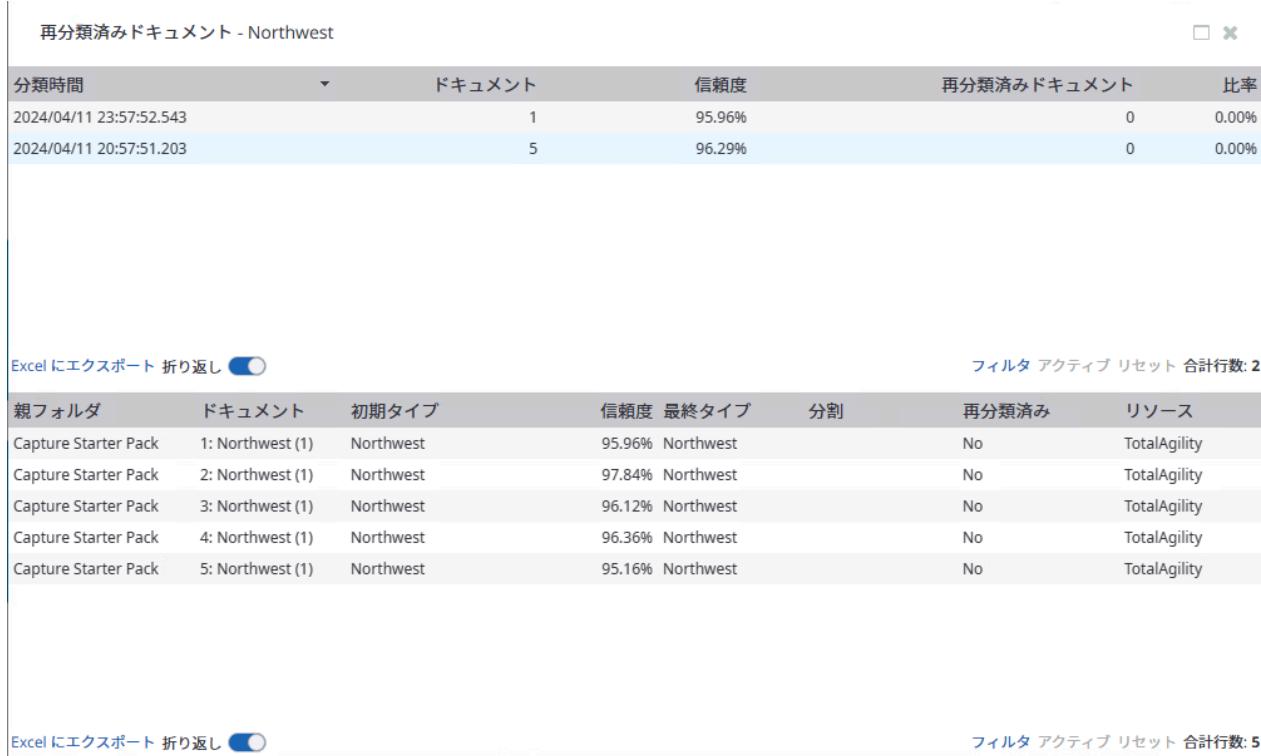
それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

分類統計を表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [統計] に移動します。



日付フィルタを変更すると、キャプチャの完了日に基づいて分類ビューのデータが更新されます。棒グラフをクリックして、初期ドキュメント タイプとドキュメントを再分類したリソース別にデータをドリルダウンします。

グリッド内のドキュメント タイプをクリックすると、選択したドキュメント タイプに再分類されたドキュメントが表示されます。次のような詳細が、選択した再分類済みのドキュメントの別のグリッドに表示されます。[親フォルダ]、[ドキュメント]、[初期タイプ]、[信頼度]、[最終タイプ]、[分割]、[再分類]、および [リソース] という詳細が表示されます。



再分類済みドキュメント - Northwest

分類時間	ドキュメント	信頼度	再分類済みドキュメント	比率
2024/04/11 23:57:52.543	1	95.96%	0	0.00%
2024/04/11 20:57:51.203	5	96.29%	0	0.00%

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

親フォルダ	ドキュメント	初期タイプ	信頼度 最終タイプ	分割	再分類済み	リソース
Capture Starter Pack	1: Northwest (1)	Northwest	95.96% Northwest	No	TotalAgility	
Capture Starter Pack	2: Northwest (1)	Northwest	97.84% Northwest	No	TotalAgility	
Capture Starter Pack	3: Northwest (1)	Northwest	96.12% Northwest	No	TotalAgility	
Capture Starter Pack	4: Northwest (1)	Northwest	96.36% Northwest	No	TotalAgility	
Capture Starter Pack	5: Northwest (1)	Northwest	95.16% Northwest	No	TotalAgility	

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 5

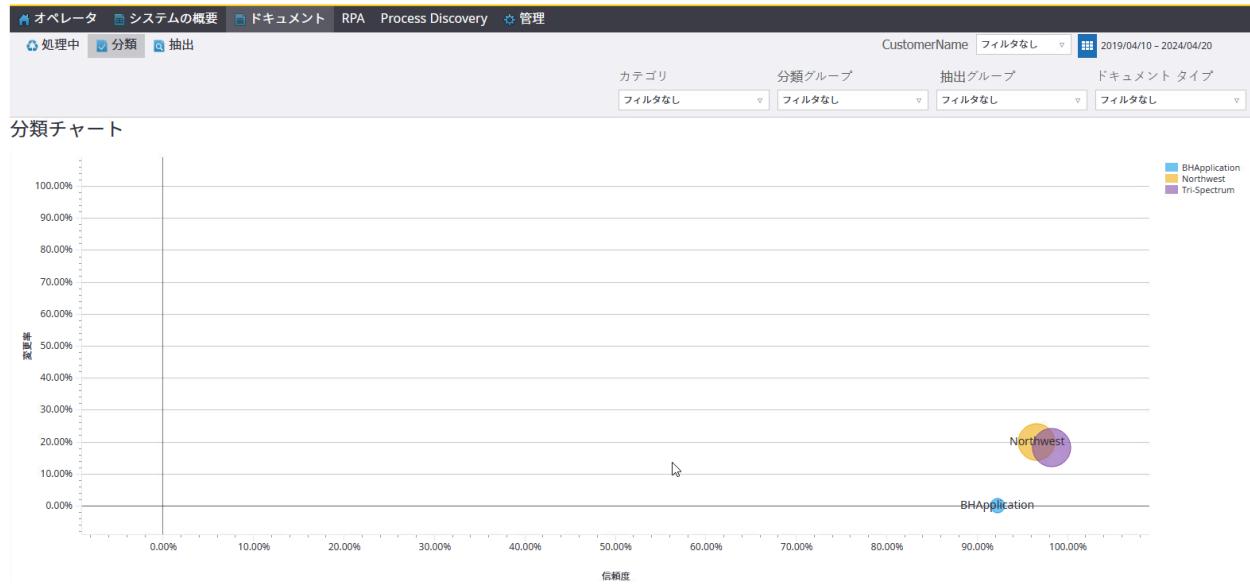
以下のグリッドの行をクリックすると、[ドキュメントの概要](#)に、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および[フィールド値]タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

分類チャート

[分類チャート] ビューを使用して、ドキュメント タイプの変更率と信頼度を分析します。

このビューには、ドキュメント タイプごとに処理されたドキュメントの数(バブルのサイズ)に対する分類信頼度と変更率(手動アクティビティ)を含む Bubble chart が表示されます。このビューのドキュメント タイプは、最終的なドキュメント タイプを表します。

分類チャートを表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [チャート] に移動します。



凡例のドキュメント タイプをクリックすると、選択したドキュメント タイプがチャートから除外されてチャートが動的に更新され、選択したドキュメント タイプは凡例でグレー表示されます。

チャートのドキュメント タイプ(バブル)をクリックして、初期ドキュメント タイプとリソース別にデータをさらにドリルダウンします。

分類ベンチマーク

[分類ベンチマーク] ビューを使用して、ドキュメント タイプに基づいて分類の全体的な精度を調べます。

このビューに基づいて、システムによって正確に分類されたドキュメント タイプの数と、オペレータによる手動アクティビティで修正が必要とされたドキュメント タイプの数を判断できます。

ドキュメント タイプの分類ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [ベンチマーク] に移動します。

このビューには、分類精度のテキスト チャートが示され、パーセントで表されたドキュメント タイプ順に分類され、円グラフとして表示されます。[分類統計] グリッドでドキュメント タイプをクリックすると、円グラフが更新され、選択済みドキュメント タイプの分類の詳細が表示されます。

ビューに表示されるドキュメントの総数は、円グラフの上に表示されます。



精度	説明
正確であり信頼できる (緑)	ドキュメントは TotalAgility システムによって「正確であり信頼できる」として分類され、変更または修正なしで完了します。
正確であるが信頼できない (青)	ドキュメントは TotalAgility システムによって「正確であるが信頼できない」として分類され、変更または修正なしで完了します。
不正確で信頼できない (オレンジ)	ドキュメントは TotalAgility システムによって「不正確で信頼できない」として分類され、後でリソースによって手動アクティビティで再分類されます。
不正確であるが信頼できる (赤)	ドキュメントは TotalAgility システムによって「不正確であるが信頼できる」として分類され、後でリソースによって手動アクティビティで再分類されます。

[分類ベンチマーク] グリッドでドキュメントタイプをクリックすると、選択済みドキュメントタイプの詳細で円グラフが更新されます。円グラフ上のセグメントをクリックして、カテゴリ、ドキュメントタイプ、および初期ドキュメントタイプ別にデータをドリルダウンします。

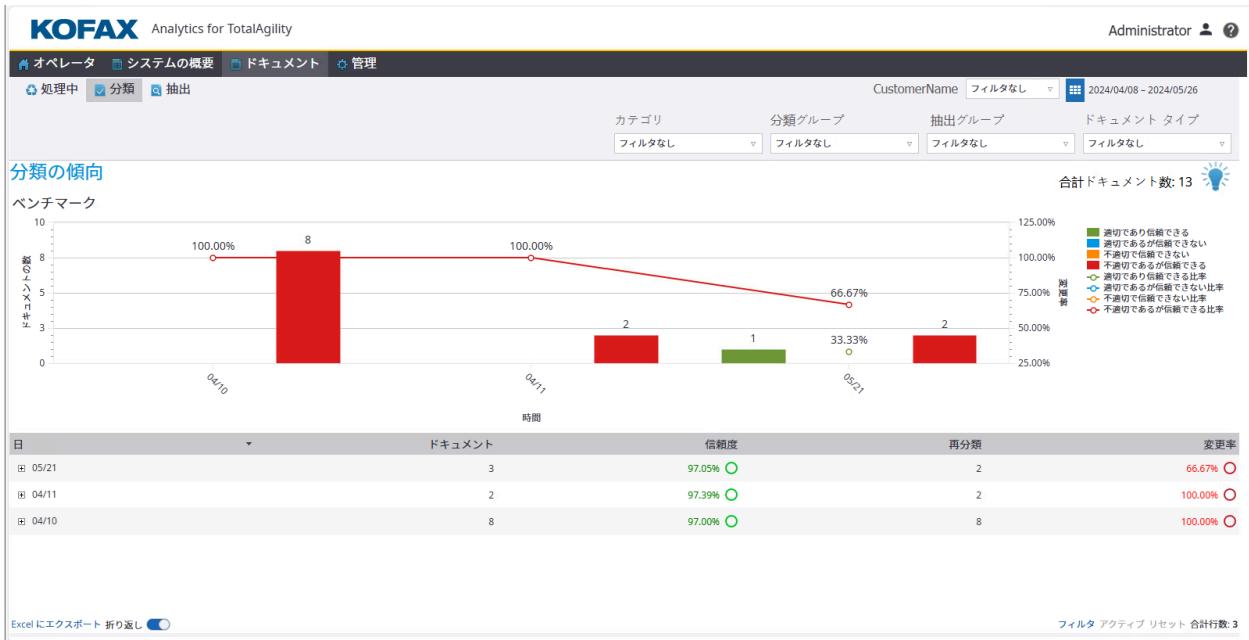
をクリックすると、[分類ベンチマーク] ビューに表示されるドキュメントタイプの 4 つの組み合わせに関する説明が記載された [分類ベンチマークのヘルプ] ポップアップが表示されます。

分類の傾向

[分類の傾向] ビューには、時間の経過に伴う分類精度のグラフが表示されます。

抽出ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [傾向] に移動します。

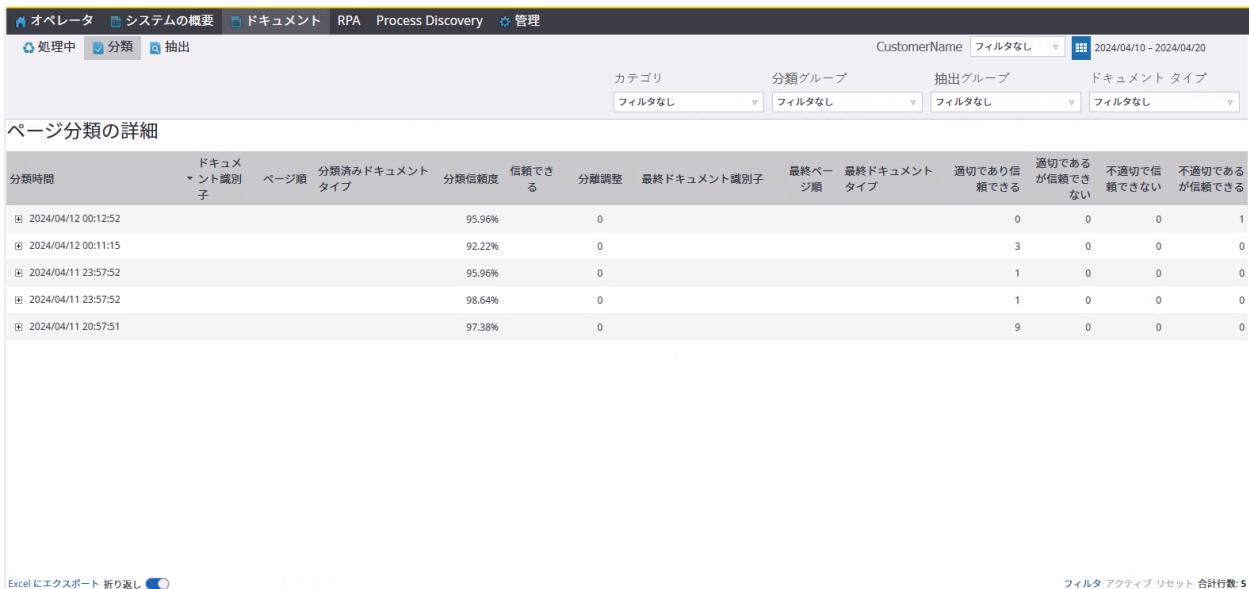
次のグローバル フィルタを使用してデータをフィルタリングできます。カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメントタイプ。日付フィルタを使用して、分類日に基づいてダッシュボードにデータを表示します。デフォルトの日付フィルタは過去 2 週間です。グリッド チャートには統計の詳細が表示され、ドキュメントレベルにドリルダウンすることができます。バーは完了したドキュメントの数を表し、ラインは変更率を表します。



ページ分類の詳細

ページ分類の詳細ビューを使用して、分類のページ レベルの詳細を確認し、TotalAgility システムがドキュメントをどのように分類および分割するかをより理解できます。

ドキュメント タイプのページ分類の詳細を表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [ページ分類の詳細] に移動します。



TotalAgility で分類された完了済みのドキュメントについては、このビューに次のページ レベルの詳細が表示されます。

- 分類時間
- ドキュメント識別子
- ページ順
- 分類済みドキュメント タイプ
- 分類信頼度 (%)
- 信頼できる (ブール値)
- 分離調整
- 最終ドキュメント識別子
- 最終ページ順
- 最終ドキュメント タイプ
- 適切であり信頼できる
- 適切であるが信頼できない
- 不適切で信頼できない
- 不適切であるが信頼できる

ドキュメントでの分類およびエクスポートが完了すると、ページ分類の詳細ビューでは、分類アクティビティが完了した日時によってレコード グリッド内のドキュメントがグループ化されます。

日付フィルタを変更すると、ページ分類の詳細ビューのデータがキャプチャ完了日に基づいて更新されます。

[ページ分類の詳細] グリッドで、グループ化された行を展開して、ドキュメントの各ページの個別の行を表示できます。行をクリックすると、[ドキュメントの概要](#) ポップアップに[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

抽出

[抽出] サブメニューを使用して、TotalAgility で完了したドキュメントからデータがどの程度適切に抽出されるかを詳細に示すビューにアクセスできます。グラフィカル ビューには、TotalAgility で実行された抽出が表示され、プロセスマップ/抽出グループを特定して改善するために役立ちます。Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードの日付範囲を変更すると、抽出ビューには、キャプチャの完了日に基づいてデータが反映されます。

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [抽出統計](#)
- [抽出チャート](#)
- [抽出ベンチマーク](#)
- [抽出の傾向](#)

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

抽出統計

[抽出統計] ビューには、選択したドキュメント タイプのすべてのフィールドのリストが表示されます。TotalAgility でフィールドが抽出されると、抽出統計メトリック グリッドに抽出済みフィールドが列としてリストされます。変化率棒グラフを表示すると、ラベルには個別のドキュメント タイプが反映されます。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

抽出統計を表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [統計] に移動します。

棒グラフでドキュメント タイプをクリックすると、選択済みドキュメント タイプに関連付けられているフィールド レベルのデータ変更率など、フィールドの変更回数とフィールド統計が表示されます。メトリック グリッドのフィールド名を展開して、関連する抽出グループとドキュメント タイプを表示できます。

フィールド統計については、次の表を参照してください。

フィールド統計列	説明
フィールド列	フィールドの名前。
合計フィールド	日付、バッチ クラス、サイト、ドキュメント タイプなど、現在選択されているフィルタに基づいて、エクスポートされたすべてのドキュメント内の、指定された名前を持つすべてのフィールドの数。
信頼度	日付、バッチ クラス、サイト、ドキュメント タイプなど、現在選択されているフィルタに基づく、エクスポートされたすべてのドキュメントの平均フィールド抽出信頼度値。
変更済み	現在選択されているフィルタ (日付、バッチ クラス、サイト、ドキュメント タイプなど)に基づいて、エクスポートされたすべてのドキュメントのうち、手動で変更された特定の名前を持つすべてのフィールドの数。
変更率	変更済み列と合計フィールド列の比率。

[変更済みフィールド] グリッドでフィールド名をクリックすると、変更済みフィールドの詳細: <フィールド名> ウィンドウ に選択したフィールドの詳細が表示されるので、集計データを検証できます。たとえば、グリッドの CustomerName 行をクリックすると、変更済みフィールドの詳細: CustomerName ウィンドウに、変更済みフィールドの詳細が表示されます。

このウィンドウには 2 つのグリッドがあります。上部グリッドには、フィールドが変更されたドキュメントを含むアクティビティのリストが表示されます。詳細には、プロセス、アクティビティ タイプ、アクティビティ名、アクティビティ終了日時、および変更済みフィールドが含まれます。

アクティビティをクリックすると、下部のグリッドに、選択したアクティビティの該当フィールドに加えられたすべての変更が表示されます。詳細には、親フォルダ、ドキュメント識別子、フィールド名、テーブル名、行、信頼度、古い値、および新しい値が含まれます。

グリッドの行をクリックすると、[ドキュメントの概要](#)ウィンドウに、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および[フィールド値]タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

抽出チャート

[抽出チャート] ビューには、ドキュメントタイプと変更率をリストするテキストチャートと、各ドキュメントタイプで変更されたフィールドの割合を示す Bubble chart が表示されます。

ドキュメントタイプの変化率を表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [チャート] に移動します。



- Y 軸は変化率を示します。
- X 軸はフィールドの信頼度を示します。
- バブルのサイズは、変更済みフィールドの数を示します。

日付フィルタを使用して、キャプチャ完了日に基づいてダッシュボードにデータを表示します。

[抽出チャート] グリッドでドキュメントタイプを選択すると、選択済みドキュメントタイプの信頼度と変更率に基づいて Bubble chart が更新されます。

抽出ベンチマーク

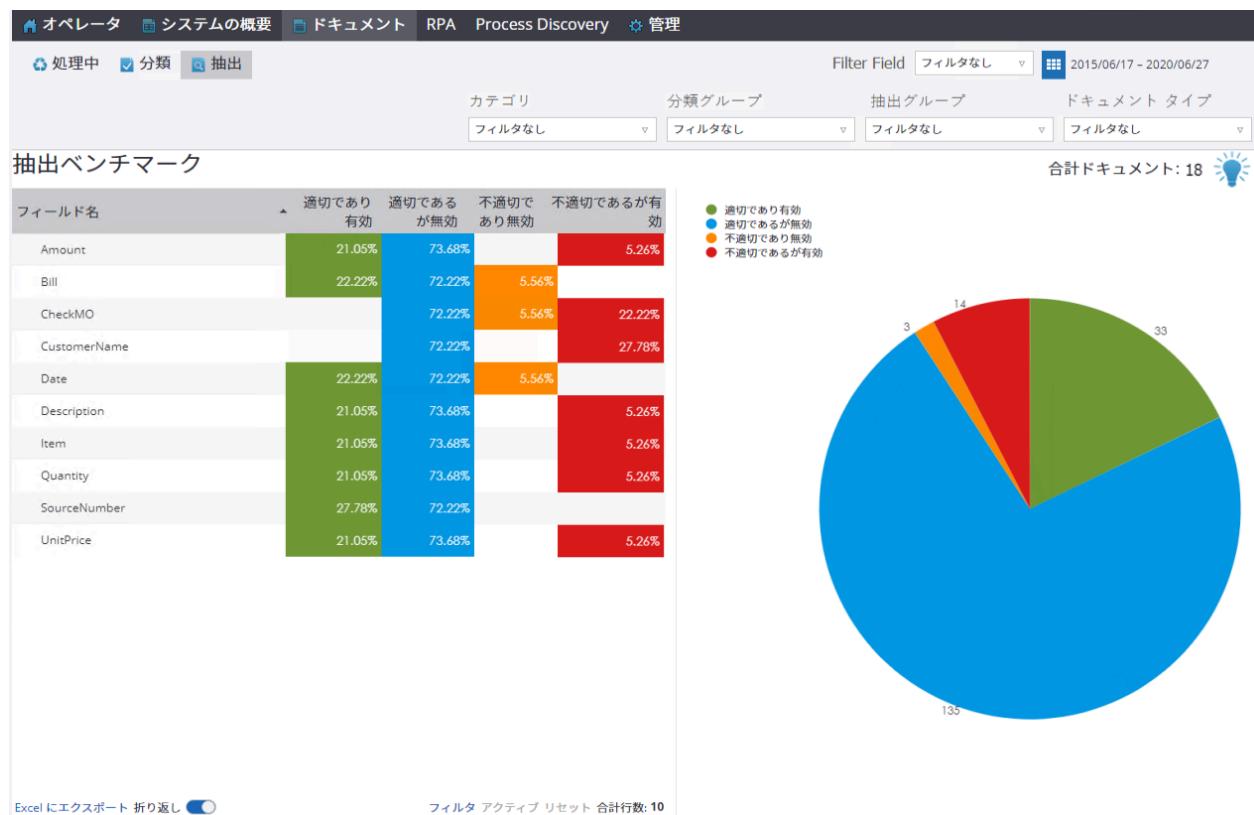
[抽出ベンチマーク] ビューを通じて、TotalAgility がユーザー エクスペリエンスを考慮しながらデータをどの程度適切に抽出しているかを理解できます。これには、手動アクティビティによる無効なフィールドの修正や確認が含まれます。

抽出ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [ベンチマーク] に移動します。

このビューには、フィールド名を含むテキスト チャートと、選択済みフィールド名に関する詳細を示す円グラフが表示されます。

次の色は、フィールドが有効か無効かを表します。

- 緑:** TotalAgility で抽出されたフィールドが有効で、変更や修正なしで完了した場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「正確であり有効」として反映されます。
- 青:** TotalAgility で抽出したフィールドが無効であり、変更や修正なしで完了した場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「正確であるが無効」として反映されます。
- オレンジ:** TotalAgility で抽出したフィールドが無効であり、手動アクティビティで変更された場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「不正確であり無効」として反映されます。
- 赤:** TotalAgility で抽出されたフィールドが有効であり、手動アクティビティで変更された場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「不正確であるが有効」として反映されます。



[抽出ベンチマーク] グリッドでフィールド名をクリックすると、選択済みフィールドの詳細で円グラフが更新されます。円グラフのセグメントをクリックして、ドキュメント タイプ、およびドキュメントを再分類したリソース別に、データをドリルダウンします。

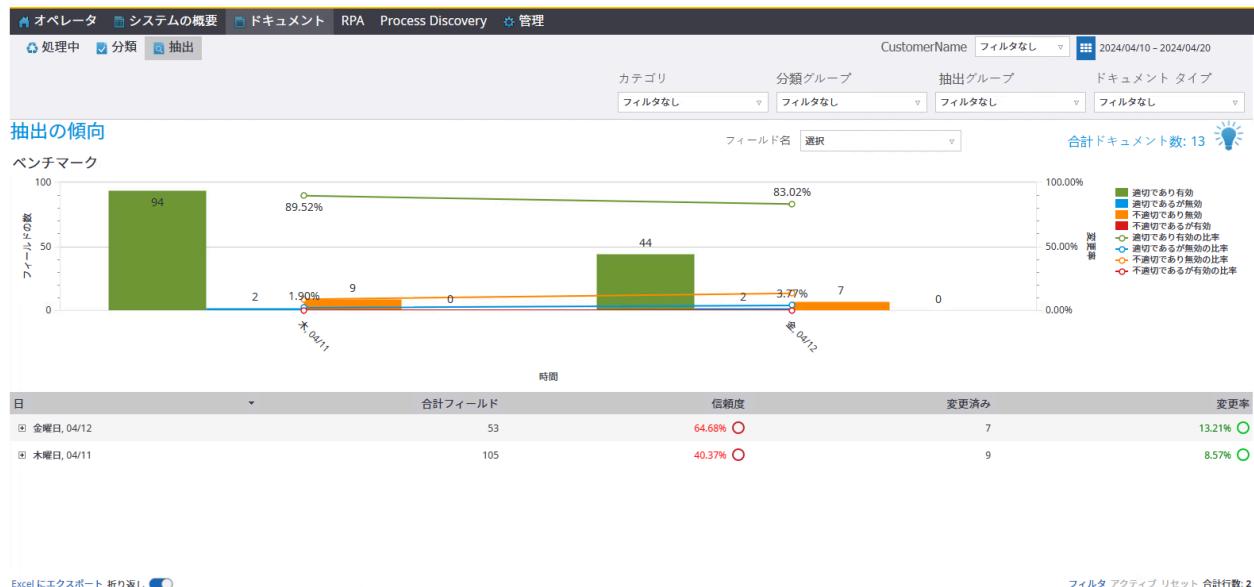
💡  をクリックすると、[抽出ベンチマーク] ビューに表示されるフィールド名の 4 つの色の組み合わせに関する説明が表示されます。

抽出の傾向

[抽出の傾向] ビューには、時間の経過に伴う抽出精度のグラフが表示されます。

抽出ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [傾向] に移動します。

次のグローバル フィルタを使用してデータをフィルタリングできます。カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプ。日付フィルタを使用して、キャプチャ完了日に基づいてダッシュボードにデータを表示します。デフォルトの日付フィルタは過去 2 週間です。バーの高さは抽出されたフィールドの数を表します。折れ線は変更率を表します。グリッド チャートには、日付ごとの統計的詳細が表示され、フィールド レベルおよびドキュメント タイプ レベルまでドリルダウンすることができます。



管理

管理メニューには、次のビューが含まれます。

- [データ保持](#)
- [フィルタ フィールド](#)

データ保持

データ保持ビューを使用して、フィールドおよびドキュメント レコードの保持ポリシーを定義します。保持ポリシーにより、ストレージ要件を管理して、データの整合性を損なうことなく経時的なパフォーマンスを向上させることができます。

フィールドおよびその他のデータの保持ポリシーを定義するには、[管理] > [保持ポリシー] に移動します。



オペレータ システムの概要 ドキュメント RPA Process Discovery 管理

保持ポリシー

フィールド データの保持: 5 最大保持日数 (最小値は 1、現在保持されている最も古いフィールドは 6 日前のものであることを示します。)

古いデータの保持: 30 最大保持日数 (最小値は 1、現在保持されている最も古いデータは 37 日前のものであることを示します。)

保存

データ レコードの数は急速に増加することがあります。[Field Fact] テーブルとその他のデータ テーブルのサイズの定期的な監視と、必要なフィールドのみが送信されるように Kofax TotalAgility Designer の各ドキュメント タイプで「Include in Analytics (Analytics に含める)」の設定を更新することをデータベース管理者に依頼します。

この画面で保持ポリシーを指定し、「Delete Field Data per Retention Policy (保持ポリシーごとにフィールド データを削除)」と「Old Data Cleanup (古いデータのクリーンアップ)」実行プランの動作を制御します。

保持期間を定義するには、次の手順を実行します。

- **[フィールド データの保持]:** レコードを保持する最新の日数を指定し、[保存] をクリックします。デフォルト値は 5 で、最小値は 1 です。また、現在保持されている最も古いフィールドは [Count] 日前です。
X 日より古いフィールド レコードが削除されると、X 日より古いキャプチャ完了済みドキュメントのすべてのフィールド レコードが削除されます。
- **[古いデータの保持]:** 古いデータを保持する最新の日数を指定し、[保存] をクリックします。最小値は 30 で、現在保持されている最も古いデータは [Count] 日前です。

また、フィールドと古いデータに関連する 2 つの削除実行プランも、次のように自動的にスケジュールされています。

- **保持ポリシーごとのフィールド データの削除:** 毎晩午前 0 時 0 分。
- **古いデータのクリーンアップ プラン:** 每晩午前 0 時 0 分。

上記のプランのいずれかがスケジュールされていない場合、時間単位プランではデータのロードが失敗します。

データ レコードの数は急速に増加する可能性があります。[Field Fact] テーブルとその他のデータ テーブルのサイズの定期的な監視と、必要なフィールドのみが送信されるように TotalAgility Designer の各ドキュメント タイプで「Include in Analytics (分析に含める)」の設定を更新することをデータベース管理者に依頼します。

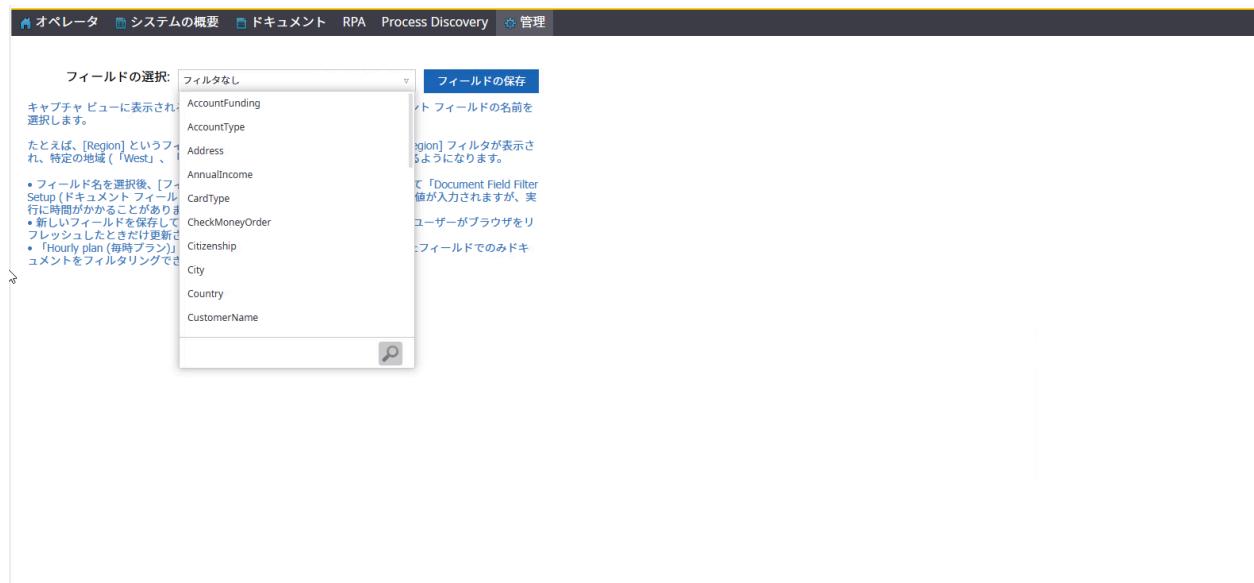
管理者は、Insight Data Loader から古いフィールド レコードを手動で削除できます。

フィルタ フィールド

[フィルタ フィールド] ビューを使用して、Kofax Analytics for TotalAgility のすべてのキャプチャ ビューに表示されるデータのフィルタ処理に使用できる特別なフィルタ フィールドを指定します。これは、フィールド値によって、フィールド名だけでなくキャプチャ処理ビューを分析するために役立ちます。

[フィルタ フィールド] オプションは、管理者ロールを割り当てられている場合にのみ使用できます。フィルタ フィールドを指定すると、そのフィールドのすべての入力済みデータが Kofax Analytics for TotalAgility ビューでフィルタとして使用できます。フィールド フィルタを使用してビューをフィルタリングすると、ビューには、フィルタリングされたフィールドと一致するドキュメントの統計が反映されます。

フィルタ フィールドを指定するには、[管理] > [フィルタ フィールド] に移動します。



[フィールドの選択] リストでフィールドを選択し、[フィールドの保存] をクリックします。フィールドを保存すると「ドキュメント フィールドのフィルタ セットアップ」プランが実行されて可能な値が入力されますが、実行に時間がかかることがあります。プランを実行すると、キャプチャ ビューのフィルタは、ブラウザを更新した場合にのみ更新されます。「Hourly plan (毎時プラン)」がドキュメントをロードしたときに設定されたフィールドでのみドキュメントをフィルタリングできます。

- 保存されたフィルタ フィールド名は、すべてのキャプチャ ビューに表示されます。保存されたフィルタ フィールドは、新しくロードされたデータのみに適用できます。たとえば、「Region」というフィールド名を選択すると、キャプチャ ビューに Region フィルタが表示され、特定の地域に基づいてデータをフィルタできるようになります。

第4章

レコードの定義

このセクションには、Kofax Analytics for TotalAgility ビューで使用可能なレコードがリストされています。

- [アクティビティ レコード](#)
- [ジョブ レコード](#)
- [ドキュメント レコード](#)
- [Field Fact レコード](#)
- [リソース グループ レコード](#)
- [キュー レコード](#)
- [セッション レコード](#)

アクティビティ レコード

アクティビティ レコードは、次のレコードの組み合わせです。

- Activity1 - ソース テーブル = LIVE_ACTIVITY、ソース データベース = TotalAgility
- Activity2 - ソース テーブル = FINISHED_JOB_HISTORY、ソース データベース = TotalAgilityFinished
- Activity3 - ソース テーブル = JOB_HISTORY、ソース データベース = TotalAgility

（i） Activity1、Activity2、および Activity3 のレコードは一時的なユーティリティ テーブルであり、コンテンツは 1 時間ごとのデータ ロードによって完全に更新されるため、カスタム レコード/メトリックのデータ ソースとして使用しないでください。

Activity1 のレコードには、次のフィールドが格納されます。

Activity1 レコード	LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列
EMBEDDED_PROCESS_COUNT	EMBEDDED_PROCESS_COUNT
NODE_ID	NODE_ID
ACTIVITY_STATUS	Activity1 の場合、ステータスは ACTIVITY_STATUS から設定され、Activity2 および Activity3 の場合、ステータスは -1 です。
AUTOMATIC	AUTOMATIC
DUE_DATE	DUE_DATE

Activity1 レコード	LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列
COMPLETED_DATE	Activity1 の場合、このレコードの値はヌルであり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は SET_TIME から設定されます。
EXPECTED_COST	EXPECTED_COST
EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS	<ul style="list-style-type: none"> Activity1 の場合、予想される期間は EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS 列から取得されます。 Activity2 の場合、TARGET_TIME_IN_SECONDS 列から取得されます。
NODE_NAME	NODE_NAME
PRIORITY	Activity1 の優先度は PRIORITY 列から設定され、Activity2 と Activity3 の値は 1 です。
PROCESS_NAME	PROCESS_NAME
SLA_STATUS	<ul style="list-style-type: none"> Activity1 の場合: <ul style="list-style-type: none"> 4: 現在の日時が SLA_STATUS5_DATE よりも大きい場合 3: 現在の日時が SLA_STATUS5_DATE 未満であっても SLA_STATUS4_DATE より大きい場合 2: 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS4_DATE] 未満で、[LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS3_DATE] 以上である場合 1: 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合 0: 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS2_DATE] より小さい場合 -1: その他の場合。 Activity2 およびActivity3 の場合、値は 0 です。
TYPE	Activity1 の場合、タイプは TYPE 列から設定され、Activity2 と Activity3 の場合、ACTIVITY_TYPE 列から設定されます。
VERSION	VERSION
PENDING_TIME	Activity1 の場合、時間は PENDING_TIME 列から設定され、Activity2 およびActivity3 の場合、時間は TIME_PENDING_IN_SECS および SET_TIME 列から計算されます。
PENDING_TIME_IN_SECONDS	Activity1 の場合、時間は PENDING_TIME 列から計算され、Activity2 の場合、TIME_PENDING_IN_SECS から計算されます。
TAKEN_TIME	Activity1 の場合は TAKEN_TIME から時間が設定され、Activity2 と Activity3 の場合はヌルです。
PROCESS_ID	文字列としての PROCESS_NAME + PROCESS_ID。
JOB_ID	JOB_ID
PERFORMING_RESOURCE_ID	Activity1 の場合、値は PERFORMING_RESOURCE_ID 列から設定され、Activity2 と Activity3 の場合、RESOURCE_ID 列から設定されます。

Activity1 レコード	LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列
COST	Activity1 の場合、値は null であり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は COST 列から設定されます。
WORKING_TIME_SPENT	Activity1 の場合、値は null であり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は WORKING_TIME_SPENT_IN_SECONDS 列から設定されます。
ta_embedded_process_count	EMBEDDED_PROCESS_COUNT
ta_node_id	NODE_ID
LIVE	Activity1 の場合、値は 1 であり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は 0 です。
PROCESS_ID_2	PROCESS_ID
DesignTimeType	DESIGN_TIME_TYPE
ServerId	<ul style="list-style-type: none"> Activity1 およびActivity3 の場合、値は [SERVER_DATA] です。 SERVER_ID。 Activity2 の場合、値は NULL です。
MACHINE_NAMES	Activity1 およびActivity3 の場合、値は [MACHINE_NAMES] です。 MACHINE_NAME から設定され、Activity2 の場合、値は MACHINE_NAME から設定されます。

i 上記のように、Activity2 とActivity3 のレコードは、それぞれのテーブルから同様の情報を取得します。

アクティビティ レコードには、次のフィールドが格納されます。

アクティビティ レコード	Activity1 テーブルのソース列
EMBEDDED_PROCESS_COUNT	EMBEDDED_PROCESS_COUNT
NODE_ID	NODE_ID
ACTIVITY_STATUS	ACTIVITY_STATUS
AUTOMATIC	AUTOMATIC
DUE_DATE	DUE_DATE
COMPLETED_DATE	終了日から計算
EXPECTED_COST	EXPECTED_COST
EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS	EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS
NODE_NAME	NODE_NAME
PRIORITY	<ul style="list-style-type: none"> Activity1 の場合、PRIORITY から取得されます。 Activity2 と Activity3 の場合は 1 です。
PROCESS_NAME	PROCESS_NAME
SLA_STATUS	SLA_STATUS

アクティビティ レコード	Activity1 テーブルのソース列
TYPE	TYPE
Activity1 レコード	LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列
VERSION	VERSION
PENDING_TIME	PENDING_TIME
PENDING_TIME_IN_SECONDS	PENDING_TIME_IN_SECONDS
TAKEN_TIME	TAKEN_TIME
PROCESS_ID	PROCESS_ID
JOB_ID	JOB_ID
PERFORMING_RESOURCE_ID	PERFORMING_RESOURCE_ID
COST	COST
WORKING_TIME_SPENT	WORKING_TIME_SPENT
ta_embedded_process_count	ta_embedded_process_count
ta_node_id	ta_node_id
LIVE	LIVE
PROCESS_ID_2	PROCESS_ID_2
DesignTimeType	DesignTimeType
ServerId	ServerId
MACHINE_NAMES	MACHINE_NAMES
IsCapture	<ul style="list-style-type: none"> [設計アクティビティ タイプ キャプチャ].[__ItemId] が NULL の場合は 0。 その他の場合は 1。
AUTOMATIC	AUTOMATIC

ジョブ レコード

ジョブ レコードは、次のレコードの組み合わせです。

- Job1- ソース テーブル = JOB、ソース データベース = TotalAgility
- Job2 - ソース テーブル = FINISHED_JOB 、ソース データベース = TotalAgilityFinished

● Job1とJob2 のレコードは一時的なユーティリティ テーブルであり、コンテンツは1時間ごとのデータ ロードによって完全に更新されるため、カスタム レコード/メトリックのデータソースとして使用しないでください。

ジョブ レコードには、ジョブの最新の対応するビジネス プロセス バージョンがARCHIVE_TO_PI = 真であるジョブが入力されます。

Job1 のレコードには、次のフィールドが格納されます。

Job1 レコード	ソース列												
COST_OVERRUN	COST_OVERRUN												
CREATION_TIME	CREATION_TIME												
DURATION_OVERRUN	DURATION_OVERRUN												
EXPECTED_COST	EXPECTED_COST												
EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS	EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS												
FINISH_TIME	FINISH_TIME												
JOB_STATUS	JOB_STATUS												
JOB_PERCENT	Job1 の場合、値は 0 です。Job2 の場合、値は JOB_PERCENT から取得されます。												
PRIORITY	PRIORITY												
SLA_STATUS	<table border="1"> <tr> <td>4</td><td>現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合</td></tr> <tr> <td>3</td><td>現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] 未満で [SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合</td></tr> <tr> <td>2</td><td>現在の日時が [SLA_STATUS4_DATE] 未満で [SLA_STATUS3_DATE] と等しい場合</td></tr> <tr> <td>1</td><td>現在の日時が [SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合</td></tr> <tr> <td>0</td><td>現在の日時が [SLA_STATUS2_DATE] 未満である場合</td></tr> <tr> <td>-1</td><td>その他の場合。</td></tr> </table>	4	現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合	3	現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] 未満で [SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合	2	現在の日時が [SLA_STATUS4_DATE] 未満で [SLA_STATUS3_DATE] と等しい場合	1	現在の日時が [SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合	0	現在の日時が [SLA_STATUS2_DATE] 未満である場合	-1	その他の場合。
4	現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合												
3	現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] 未満で [SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合												
2	現在の日時が [SLA_STATUS4_DATE] 未満で [SLA_STATUS3_DATE] と等しい場合												
1	現在の日時が [SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合												
0	現在の日時が [SLA_STATUS2_DATE] 未満である場合												
-1	その他の場合。												
START_TIME	START_TIME												
LAST_MODIFIED_DATE	LAST_MODIFIED_DATE												
TYPE	TYPE												
VERSION	VERSION												
EXPECTED_FINISH_TIME	EXPECTED_FINISH_TIME												
STATE	STATE												
WORKING_DURATION_DAYS	<ul style="list-style-type: none"> Job1 の場合、これは -1 です。 Job2 の場合、WORKING_DURATION_DAYS から取得されます。 												
PROCESS_ID	文字列としての PROCESS_NAME + PROCESS_ID												
CATEGORY_ID	CATEGORY_ID												

Job1 レコード	ソース列
JOB_ID	JOB_ID
SOURCE	JOB_SOURCE
Creator	CREATOR
Owner	JOB_OWNER_ID
PROCESS_ID_2	PROCESS_ID
PROCESS_NAME	PROCESS_NAME
ServerId	ORIGIN_SERVER_ID
WorkType	WORK_QUEUE_DEFINITION_ID
AssociatedCaseId	ASSOCIATED_CASE_ID
EXCEPTION_RAISED_BY	RAISED_BY
• 0 - なし、通常ジョブ	
• 1 - ServerException	
• 2 - ProcessException	
• 3 - トリガー	
• 4 - アラート	
• 5 - DocumentSet	

Job2 レコードは、同様の情報を取得します。

ジョブ レコードには、次のフィールドが格納されます。

ジョブ レコード	Job1 テーブルのソース列
COST_OVERRUN	COST_OVERRUN
CREATION_TIME	CREATION_TIME
DURATION_OVERRUN	DURATION_OVERRUN
EXPECTED_COST	EXPECTED_COST
EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS	EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS
FINISH_TIME	FINISH_TIME
JOB_STATUS	JOB_STATUS
JOB_PERCENT	• Job1 の場合、値は 0 です。 • Job2 の場合、値は JOB_PERCENT から取得されます。
PRIORITY	PRIORITY
SLA_STATUS	• [SLA_STATUS] > [MaxSLA].[SLA] の場合は [MaxSLA].[SLA]。 • その他の場合は [SLA_STATUS]。
START_TIME	START_TIME
LAST_MODIFIED_DATE	LAST_MODIFIED_DATE

ジョブ レコード	Job1 テーブルのソース列
TYPE	TYPE
VERSION	VERSION
EXPECTED_FINISH_TIME	EXPECTED_FINISH_TIME
STATE	STATE
WORKING_DURATION_DAYS	WORKING_DURATION_DAYS
PROCESS_ID	PROCESS_ID
CATEGORY_ID	CATEGORY_ID
JOB_ID	JOB_ID
SOURCE	SOURCE
Creator	Creator
Owner	Owner
PROCESS_ID_2	PROCESS_ID_2
PROCESS_NAME	PROCESS_NAME
ServerId	ServerId
WorkType	WorkType
AssociatedCaseId	AssociatedCaseId
EXCEPTION_RAISED_BY	EXCEPTION_RAISED_BY
IsCapture	[BusinessProcess].[IsCapture]
BatchId	これはバッチ ID です
IsValidValue	false

ドキュメント レコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- doc_dim
- doc_accum_fact
- doc_sess_snaphost_fact
- datch_sess_snaphost_fact
- etl_job
- path_dim
- tfs_class_dim

DocumentBase レコードには、次のフィールドが格納されます。

DocumentBase レコード	ソース列
doc_key	Doc_dim.doc_key

DocumentBase レコード	ソース列
doc_class	Doc_dim.doc_class_key
initial_doc_class	Doc_dim.initial_doc_class_key
Changed	<ul style="list-style-type: none"> 0: Doc_dim.doc_class_key = Doc_dim.initial_doc_class_key の場合。 1: その他の場合。
review_datetime	1/1/1900 - Doc_dim.dt_last_review_datetime が 1900 未満の場合、およびその他の場合は Doc_dim.dt_last_review_datetime。
Reviewed	<ul style="list-style-type: none"> 1: Doc_dim.dt_last_review_datetime が Doc_dim.dt_last_class_datetime より大きい場合。 0: その他の場合。
Validated	<ul style="list-style-type: none"> 1: [doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&2 = 2 の場合。 0: その他の場合。
Classified	[doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&4 = 4 の場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。
Extracted	[doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&1 = 1 の場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。
PROCESSED	Doc_dim.is_exported
Id	<ul style="list-style-type: none"> [使用不可]: [doc_accum_fact].[page_num] < 0 OR ([Doc_dim].[initial_doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[initial_tsf_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[group_value_key] < 0 AND [Doc_dim].[tsf_class_key] < 0) の場合。 その他の場合は、[Doc_dim].[in_sub_folder_position]、[Doc_dim].[display_name]、および [doc_accum_fact].[page_num] によって計算されます。
display_name	[Doc_dim].[display_name]
is_sys_classified	[Doc_dim].[is_sys_classified]
doc_id	[Doc_dim].[doc_id]
in_root_fold_pos_sys_clsf	[Doc_dim].[in_root_fold_pos_sys_clsf]
in_sub_folder_position	[Doc_dim].[in_sub_folder_position]
in_root_folder_position	[Doc_dim].[in_root_folder_position]

DocumentBase レコード	ソース列
is_attended_session	1: [batch_sess_snapshot_fact].[is_attended_sess] = 1 の場合 0 - その他の場合
id_no_page_num	<ul style="list-style-type: none"> (使用不可) [doc_accum_fact].[page_num] < 0 OR ([Doc_dim].[initial_doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[initial_tsf_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[group_value_key] < 0 AND [Doc_dim].[tsf_class_key] < 0) の場合。 その他の場合は、[Doc_dim].[in_root_fold_pos_sys_clsf]、および [Doc_dim].[display_name] によって計算されます。
Batch_key	Doc_accum_fact.Batch_key
Confident	Doc_accum_fact.is_confly_classified
time_spent_in_classification	[doc_accum_fact].[ms_in_class]
Classified_datetime	Doc_dim.dt_last_class_datetime
page_num	[doc_accum_fact].[page_num]
key_strok_num	[doc_accum_fact].[key_strok_num]
field_num	[doc_accum_fact].[field_num]
class_confidence_perc	[doc_accum_fact].[class_confidence_perc]
doc_sess_duration_ms	<ul style="list-style-type: none"> [doc_sess_snapshot_fact].[doc_sess_duration_ms] もし も、[batch_sess_snapshot_fact].[is_attended_sess] = 1 の場合。 0: その他の場合。
all_doc_sess_duration_ms	[doc_sess_snapshot_fact].[doc_sess_duration_ms]
dt_last_proc_datetime	[etl_job].[etl_end_time]
ta_document_group_name	[tsf_class_dim].[ta_document_group_name]
ta_document_type_id	[tsf_class_dim].[ta_document_type_id]
path_closest_subfolder	[path_dim].[path_closest_subfolder]
full_path_wo_closest	[path_dim].[full_path_wo_closest]

ドキュメント レコードには、次のフィールドが格納されます。

ドキュメント レコード	DocumentBase テーブルのソース列
doc_key	doc_key
doc_class	doc_class
initial_doc_class	initial_doc_class
Changed	Changed
review_datetime	review_datetime
Batch_key	Batch_key
Confident	Confident

ドキュメント レコード	DocumentBase テーブルのソース列
time_spent_in_classification	time_spent_in_classification
confidence_percentage	class_confidence_perc / 100
Reviewed	Reviewed
Validated	Validated
Classified	Classified
extracted	extracted
PROCESSED	PROCESSED
dt_last_proc_datetime	dt_last_proc_datetime
ta_document_group_name	ta_document_group_name
Id	Id
path_closest_subfolder	path_closest_subfolder
display_name	display_name
full_path_wo_closest	full_path_wo_closest
page_num	page_num
doc_sess_duration_ms	doc_sess_duration_ms
is_sys_classified	<ul style="list-style-type: none"> 0: [Document Classified Last].[doc_key] が NULL の場合 1: その他の場合。
doc_id	doc_id
in_root_fold_pos_sys_clsf	in_root_fold_pos_sys_clsf
in_sub_folder_position	in_sub_folder_position
in_root_folder_position	in_root_folder_position
key_strok_num	key_strok_num
is_attended_session	is_attended_session
field_num	field_num
all_doc_sess_duration_ms	all_doc_sess_duration_ms
id_no_page_num	id_no_page_num
field_value	[Field Fact].[field_value]
classified_datetime	[Document Classified Last].[full_date_time]
classification_group_name	<ul style="list-style-type: none"> [Document Classified Last].[classification_group_name = NULL の場合は「設定されていません」] その他の場合は [Document Classified Last].[classification_group_name]。
CATEGORY_ID	[Document Classified Last].[CATEGORY_ID]
is_confly_classified	[Document Classified Last].[is_confly_classified]

ドキュメント レコード	DocumentBase テーブルのソース列
Initial Class	[Document Classified Last].[curr_tsf_class]
Class	[DocumentClass].[Class]
BatchId	これはバッチ ID です
IsValidValue	false

Field Fact レコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- field_accum_fact
- field_dim
- field_column_dim
- Etl_job はありません

Field Fact レコードには、次のフィールドが格納されます。

Field Fact レコード	ソース列
Confidence	<ul style="list-style-type: none"> • NULL: [field_accum_fact].[field_column_key] <> -1 の場合。 • その他の場合は Field_accum_fact.field_confidence_perc / 100。
doc_key	Field_accum_fact.doc_key
field_name	<ul style="list-style-type: none"> • [field_accum_fact].[field_column_key] <> -1 の場合は -1 * [field_accum_fact].[field_column_key] • その他の場合は [field_accum_fact].[field_key]
field_value	Field_accum_fact.field_value
original_value	Field_accum_fact.original_value
recognized_length	Field_accum_fact.chars_recognized_num
field_tbl_index	[field_accum_fact].[field_tbl_index]
Table Name	<ul style="list-style-type: none"> • [field_accum_fact].[field_column_key] <> -1 の場合は [field_accum_fact].[field_key] • その他の場合は 0。
extr_batch_sess_key	[field_accum_fact].[extr_batch_sess_key]
extr_manual_sess_key	[field_accum_fact].[extr_manual_sess_key]
field_recog_status_key	[field_accum_fact].[field_recog_status_key]
etl_end_time	[etl_job].[etl_end_time] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時) で計算

リソース グループ レコード

このレコードは、TotalAgility データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- AW_RESOURCE
- GROUP_MEMBERS

リソース グループ レコードには、次のフィールドが格納されます。

リソース グループ レコード	ソース列
Group_01	<ul style="list-style-type: none"> • AW_RESOURCE.RESOURCE_TYPE==3 の場合 AW_RESOURCE.RESOURCE_ID • その他の場合は GROUP_MEMBERS.GROUP_RESOURCE_ID。
Resource	AW_RESOURCE.RESOURCE_ID
ServerId	AW_RESOURCE.SERVER_ID

キュー レコード

このレコードは、TotalAgility データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- LIVE_ACTIVITY
- LIVE_ACTIVITY_RESOURCE
- ジョブ
- CASE_INSTANCE
- SERVER_DATA

キュー レコードには、次のフィールドが格納されます。

キュー レコード	ソース列
JOB_ID	LIVE_ACTIVITY_RESOURCE.JOB_ID
PROCESS	JOB.PROCESS_ID
Category_01	JOB.CATEGORY_ID
Job Priority	JOB.[PRIORITY]
WorkType	JOB.WORK_QUEUE_DEFINITION_ID
Creation_Time	JOB.[CREATION_TIME]
Complete Date	終了日から計算

キュー レコード	ソース列
VERSION	JOB.[VERSION]
JOB_SLA_STATUS	<ul style="list-style-type: none"> 4: 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合。 3: 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS5_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合。 2: 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS4_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS3_DATE] より大きい場合。 1: 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS3_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS2_DATE] より大きい場合。 0: 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS2_DATE] 以下である場合。 -1: その他の場合。
CASE_REFERENCE	次の SQL 関数で計算: COALESCE(CASE_INSTANCE.[CASE_REFERENCE], CASE_INSTANCE.[CASE_REFERENCE]) JOB.JOB_OWNER_ID
STATE	JOB.[STATE]
Creator	JOB.Creator
EMBEDDED_PROCESS_COUNT 1	JOB.[EMBEDDED_PROCESS_COUNT]
JOB_STATUS	JOB.[JOB_STATUS]
JOB_SOURCE	JOB.[JOB_SOURCE]
PROCESS_ID_2	JOB.PROCESS_ID
PRIORITY	JOB.[PRIORITY]
NODE_ID	LIVE_ACTIVITY_RESOURCE.NODE_ID
EMBEDDED_PROCESS_COUNT	LIVE_ACTIVITY.EMBEDDED_PROCESS_COUNT
ACTIVITY_SLA_STATUS	<ul style="list-style-type: none"> 4: 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合。 3: 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS5_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合。 2: 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS4_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] より大きい場合。 1: 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS2_DATE] より大きい場合。 0: GETDATE() が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS2_DATE] 以下である場合 -1: その他の場合は LIVE_ACTIVITY.[AUTOMATIC] <> 0 である場合
ACTIVITY_STATUS	LIVE_ACTIVITY.ACTIVITY_STATUS
PENDING_TIME	LIVE_ACTIVITY.PENDING_TIME
NODE_NAME	LIVE_ACTIVITY.NODE_NAME
DesignTimeType	LIVE_ACTIVITY.[DESIGN_TIME_TYPE]

キュー レコード	ソース列
AUTOMATIC	LIVE_ACTIVITY.[AUTOMATIC]
DUE_DATE	<ul style="list-style-type: none"> LIVE_ACTIVITY.[DUE_DATE] が NULL の場合 JOB.[LAST_MODIFIED_DATE]。 その他の場合は LIVE_ACTIVITY.[DUE_DATE]。
PENDING_TIME_IN_SECONDS	LIVE_ACTIVITY.[PENDING_TIME]
DOCUMENT_COUNT	LIVE_ACTIVITY.[DOCUMENT_COUNT]
PAGE_COUNT	LIVE_ACTIVITY.[PAGE_COUNT]
ACTIVITY_PRIORITY	LIVE_ACTIVITY.[PRIORITY]
USE_ADV_WORKFLOW_RULES	LIVE_ACTIVITY.[USE_ADV_WORKFLOW_RULES]
RESOURCE	JOB.PERFORMING_RESOURCE_ID
SLA_STATUS	<ul style="list-style-type: none"> 2: 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] よりも大きい場合。 -1: その他の場合。
ServerId	SERVER_DATA.SERVER_ID

セッション レコード

このレコードは、レポートデータベースの次のテーブルから情報を取得します。

- batch_sess_snapshot_fact
- etl_job
- station.dim

セッション レコードには、次のフィールドが格納されます。

セッション レコード	ソース列
!batch_key	batch_sess_snapshot_fact.batch_key
!conf_classes_changed_num	batch_sess_snapshot_fact.conf_classes_changed_num
!corr_split_points_num	batch_sess_snapshot_fact.corr_split_points_num
!docs_compl_num	batch_sess_snapshot_fact.docs_compl_num
!docs_created_num	batch_sess_snapshot_fact.docs_created_num
!docs_deleted_num	batch_sess_snapshot_fact.docs_deleted_num
!docs_num	batch_sess_snapshot_fact.docs_num
!docs_unclassified_num	batch_sess_snapshot_fact.docs_unclassified_num
!dt_end_datetime	[batch_sess_snapshot_fact].[dt_end_datetime] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時)
!folders_created_num	batch_sess_snapshot_fact.folders_created_num

セッション レコード	ソース列
!folders_deleted_num	batch_sess_snapshot_fact.folders_deleted_num
!folders_merged_num	batch_sess_snapshot_fact.folders_merged_num
!folders_split_num	batch_sess_snapshot_fact.folders_split_num
!is_attended_sess	batch_sess_snapshot_fact.is_attended_sess = 1
!key_strok_num	batch_sess_snapshot_fact.key_strok_num
!missed_split_points_num	batch_sess_snapshot_fact.missed_split_points_num
!pages_deleted_num	batch_sess_snapshot_fact.pages_deleted_num
!pages_num	batch_sess_snapshot_fact.pages_num
!pages_replaced_num	batch_sess_snapshot_fact.pages_replaced_num
!pages_scanned_num	batch_sess_snapshot_fact.pages_scanned_num
!sess_duration_sec	batch_sess_snapshot_fact.sess_duration_sec
!session_type	batch_sess_snapshot_fact.session_type
!sugg_classes_accepted_num	batch_sess_snapshot_fact.sugg_classes_accepted_num
!sugg_classes_changed_num	batch_sess_snapshot_fact.sugg_classes_changed_num
!ta_embedded_process_count	batch_sess_snapshot_fact.ta_embedded_process_count
!ta_job_id	batch_sess_snapshot_fact.ta_job_id
!ta_node_id	batch_sess_snapshot_fact.ta_node_id
!user_key	batch_sess_snapshot_fact.user_key
!wrong_split_points_num	batch_sess_snapshot_fact.wrong_split_points_num
!station name	station_dim.station_name
!Etl_end_time	[etl_job].[etl_end_time] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時)
!batch_sess_snapshot_key	[batch_sess_snapshot_fact].[batch_sess_snapshot_key]
mod_key	[batch_sess_snapshot_fact].[mod_key]

第5章

ダッシュボード ビューの設定

この章では、Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボード ビューに表示できるデータを作成するための手順を段階的に説明します。

前提条件:

1. [Kofax TotalAgility のインストール](#)
2. [キャプチャ スタート パックのインポート](#)
3. [テキスト用エクスポート コネクタのインストール](#)
4. [ドキュメントのスキャン](#)

Kofax TotalAgility のインストール

[Kofax フルフィルメント サイト](#) から Kofax TotalAgility の zip をダウンロードします。

TotalAgility をインストールする場合は、[TotalAgility のドキュメント](#) ページにある『Kofax TotalAgility インストール ガイド』に記載された手順に従ってください。TotalAgility Designer でのキャプチャ スタート パックのインポートに関する手順や Workspace で説明されているその他の手順では、Kofax TotalAgility 7.11.0 がインストールされ、使用されています。

キャプチャ スタート パックのインポート

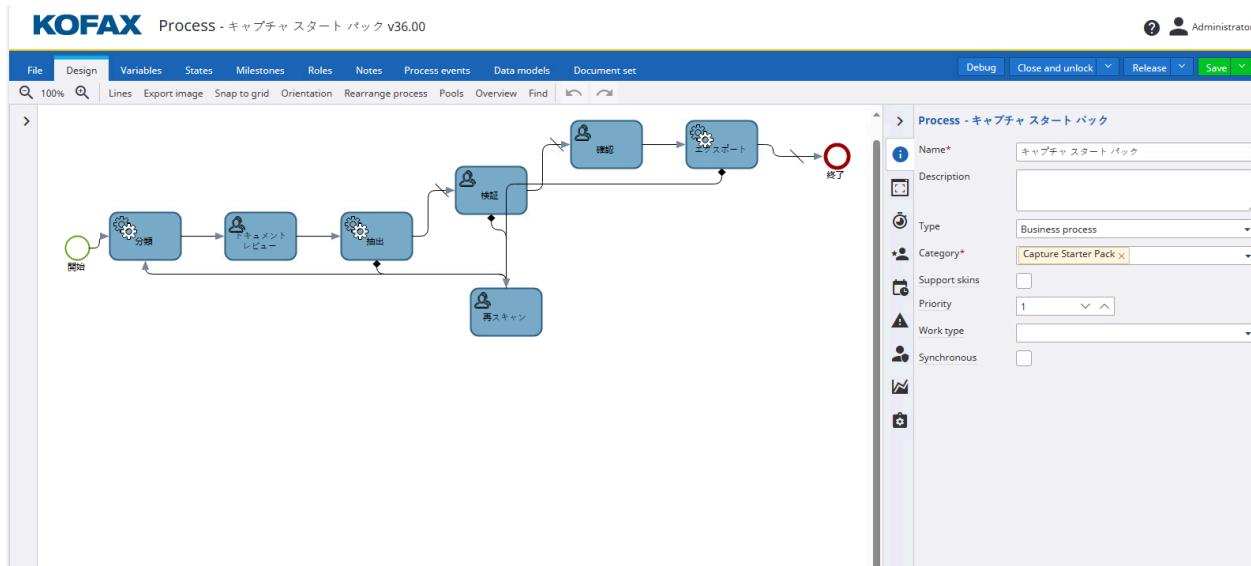
キャプチャ スタート パックは、TotalAgility でジョブを作成および処理するために使用できる、事前定義済みのコンポーネントを含んだサンプル パッケージです。キャプチャ スタート パックは、TotalAgility インストール ファイルの次の場所で入手できます: \\TotalAgilityInstall\Sample Processes \Capture Starter Pack。

キャプチャ スタート パック パッケージを TotalAgility Designer にインポートします。キャプチャ スタート パックのインポートと構成については、「[キャプチャ スタート パックのチュートリアル](#)」を参照してください。

キャプチャ スタート パック プロセスには、次のようなアクティビティがあります。

- 分類
- ドキュメント レビュー

- 抽出
- 再スキャン
- 検証
- 確認
- エクスポート



キャプチャ スタート パック パッケージには、TotalAgility Designer の [フォーム] ページに次のようなフォームが用意されています。

- CaptureStarterPack_DocumentReview (ドキュメント レビュー)
- CaptureStarterPack_Rescan (スキャン アクティビティ)
- CaptureStarterPack_Scan (スキャン新規ジョブ作成)
- CaptureStarterPack_Validation (検証)
- CaptureStarterPack_Verification (確認)
- ManualLogon (ログオン)

これらのフォームには、URL を使用してアクセスすることができます。例えば、CaptureStarterPack_Scan フォームにアクセスするには、マシン名または IP アドレスを指定してから次の URL を入力します。

http://<マシン名またはIPアドレス>/TotalAgility/forms/CaptureStarterPack_Scan.form

テキスト用エクスポート コネクタのインストール

キャプチャ スタート パック プロセスでドキュメント タイプにエクスポート コネクタを設定します。

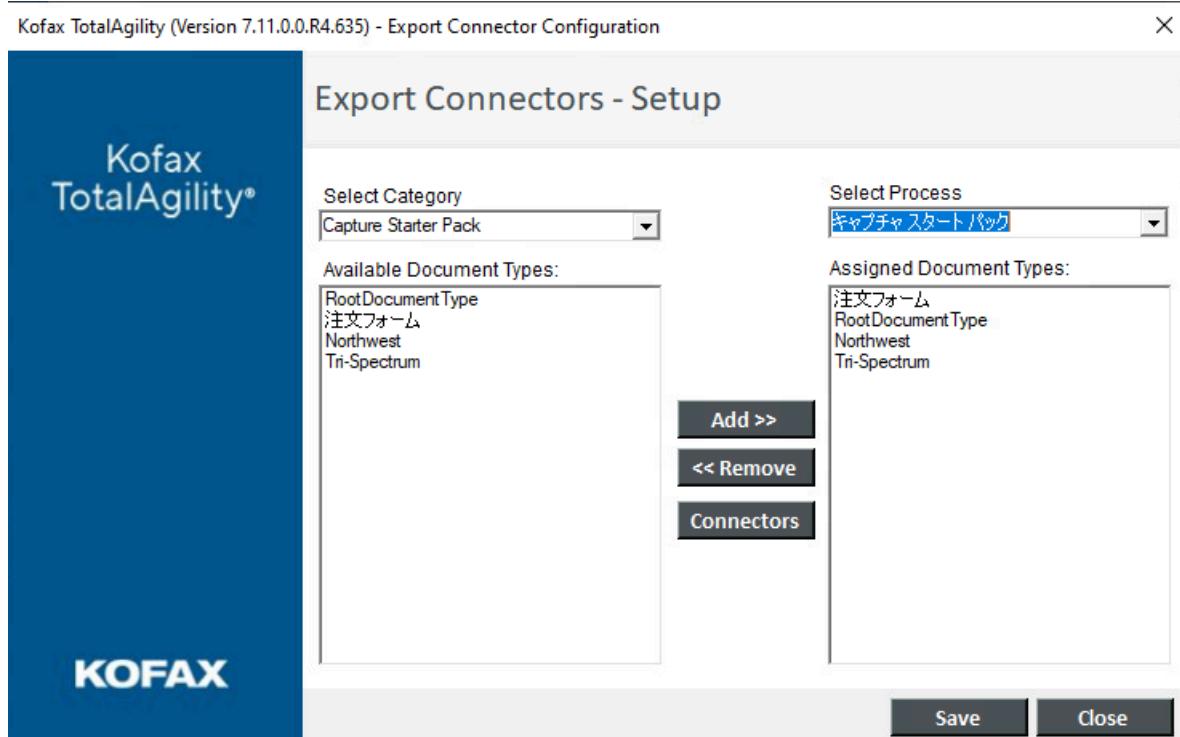
インポートされたキャプチャ スタート パック パッケージのキャプチャ スタート パック プロセスには、エクスポート アクティビティが用意されています。このプロセスを使用してジョブを作成する場合は、ジョブを完了できるように Kofax テキスト用エクスポート コネクタをインストールする必要があります。ほとんどのビューでは完了したドキュメントが必要であるため、ドキュメントに関する情報が Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボード ビューに表示されます。

[フルフィルメント サイト](#)からテキスト用エクスポート コネクタ 1.1 をダウンロードしてインストールし、ドキュメント タイプにエクスポート コネクタを設定します。『[Kofax エクスポート コネクタの構成](#)』を参照してください。

Kofax エクスポート コネクタ設定の構成

エクスポート コネクタの設定を構成する前に、エクスポート済みのドキュメントを保存するために、ローカル ドライブに **NorthWest** と **TriSpectrum** という 2 つのフォルダを作成します。例: `C:\Export\NorthWest` および `C:\Export\TriSpectrum`。

1. スタート メニューで、[すべてのプログラム] > [TotalAgility] > [Kofax エクスポート コネクタ] を選択します。
[エクスポート コネクタの構成] ウィンドウが表示されます。
2. [設定] をクリックします。
[エクスポート コネクタ - セットアップ] ウィンドウが表示されます。
3. [カテゴリの選択] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。



4. [プロセスを選択] リストで、[キャプチャ スタート パック] を選択します。
選択したプロセスのドキュメントタイプのリストが [利用可能なドキュメントタイプ] ボックスに表示されます。
5. [利用可能なドキュメントタイプ] ボックスから、[Tri-Spectrum] と [NorthWest] を選択し、[追加] をクリックします。
選択したドキュメントタイプが [割り当て済みのドキュメントタイプ] ボックスに表示されます。
6. [割り当て済みのドキュメントタイプ] ボックスから、コネクタを割り当てるドキュメントタイプを選択し、[コネクタ] をクリックします。
[エクスポート コネクタ - <ドキュメントタイプ名>] ウィンドウが表示されます。
7. [利用可能なエクスポート コネクタ] ボックスから、ドキュメントタイプに割り当てるコネクタを選択し、[追加] をクリックします。
[<コネクタ名> 用 Kofax エクスポート コネクタのセットアップ] ウィンドウが、定義済みのユーザーインターフェイスとともに表示されます。選択したエクスポート コネクタがドキュメントタイプに割り当てられ、[割り当て済みエクスポート コネクタ] ボックスに追加されます。
8. エクスポート コネクタの [名前] を入力します。
9. 必要に応じて、その他の設定を構成します。
10. [適用] をクリックしてから、[OK] をクリックします。
エクスポート コネクタが [割り当て済みエクスポート コネクタ] の下に表示されます。割り当てられたエクスポート コネクタと、コネクタ名、セットアップ バージョン、リリース バージョンなどの詳細が [割り当て済みエクスポート コネクタ] ボックスに表示されます。

11. [割り当て済みエクスポート コネクタ] ボックスのコネクタの順序を変更するには、↑ と ↓ を使用します。
エクスポート コネクタは、指定した順序で実行されます。
12. エクスポート コネクタの設定プロパティを編集するには、[割り当て済みエクスポート コネクタ] リストでエクスポート コネクタを選択し、[更新] をクリックします。
[<コネクタ名> 用 Kofax エクスポート コネクタのセットアップ] ウィンドウが、定義済みのユーザーインターフェイスとともに表示されます。
13. ドキュメント インデックス フィールドをドキュメント フィールドにマッピングし、Kofax Capture の値をドキュメントのシステム フィールドにマッピングします。
14. 必要に応じて、その他の詳細を構成します。
プロセスでエクスポート アクティビティを使用している場合は、実行時にドキュメントがイメージに変換され、指定された形式でフォルダにエクスポートされます。
15. [保存] をクリックします。
[エクスポート コネクタ - セットアップ] ウィンドウが表示されます。
16. [保存] をクリックします。
コネクタ マッピングが正常に保存されたことを示すメッセージが表示されます。

ドキュメントのスキャン

ドキュメントは、次の 2 つの方法でスキャンできます。

- CaptureStarterPack_Scan フォームの使用
- MFP エミュレータの使用

CaptureStarterPack_Scan フォームの使用

CaptureStarterPack_Scan フォームにアクセスするには、マシン名または IP アドレスを指定してから次の URL を入力します:

`http://<マシン名または IP アドレス>/TotalAgility/forms/CaptureStarterPack_Scan.form`

MFP エミュレータの使用

MFP エミュレータを使用してドキュメントをスキャンするには、この取り込みソースをスキャン用に構成する必要があります。MFP エミュレータのスキャン機能を使用するには、TotalAgility Designer でデバイス スキャン フォームを作成する必要があります。

MFP エミュレータのダウンロードと TotalAgility マシンへの接続

1. TotalAgility のメイン メニューで、[システム] > [システム設定] に移動し、[キャプチャ] カードで [デバイス] をクリックします。
[デバイス ページ] が表示されます。

2. [MFP エミュレータ] を選択してダウンロードします。
3. MFP エミュレータを抽出し、管理者として実行します。
4. MFP エミュレータを TotalAgility マシンに接続します。
5. ユーザー アカウントでログオンします。

詳細については、『[TotalAgility Designer のヘルプ](#)』を参照してください。

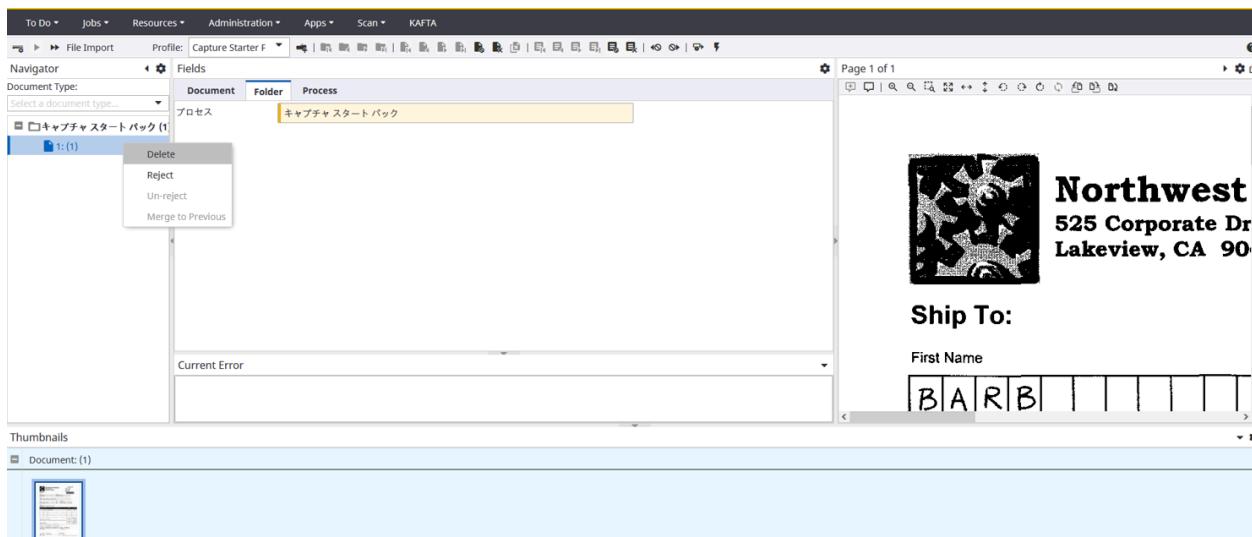
デバイス スキャン フォームの作成

MFP エミュレータのスキャン機能を使用するには、TotalAgility Designer で次の操作を実行します。

1. キャプチャ スタート パック プロセス、Capture Starter Pack_DeviceScan フォーム、およびキャプチャ スタート パック カテゴリを使用して、デバイス新規ジョブ作成 フォームを作成するデバイスを生成します。
2. デバイス プロファイルへのこのフォームの関連付け ([システム] > [追加設定] > [キャプチャ] > [デバイス] > [デバイス プロファイル])
3. 変更を保存します。

削除済みのドキュメントとページ

ドキュメントとページを削除するには、TotalAgility Workspace に移動してドキュメントを削除します。



Kofax Analytics for TotalAgility で、[ドキュメント] > [削除済みのドキュメントとページ] に移動すると、システムから削除されたすべてのドキュメントとページが表示され、TotalAgility のリソースによって削除されたドキュメントとページが表示されます。削除済みのドキュメントとページの詳細を表示することもできます。

Deleted Documents and Pages

時間	プロセス	アクティビティ名	リソース	親フォルダ	ドキュメント	ページ数
2024/04/16 2:36:20.000	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	4: Northwest (1)	1
2024/04/16 2:36:14.000	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	4: Tri-Spectrum (0)	0

Deleted Documents

時間	プロセス	アクティビティ名	リソース	親フォルダ	ドキュメント	ページ数
2024/04/16 2:36:07.000	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	4: Tri-Spectrum (0)	1

Deleted Pages

時間	プロセス	アクティビティ名	リソース	親フォルダ	ドキュメント	ページ数
2024/04/16 2:36:07.000	Capture Starter Pack	Document Review	Administrator	Capture Starter Pack	4: Tri-Spectrum (0)	1

ジョブを作成および監視するための TotalAgility Workspace へのアクセス

キャプチャスタートパックプロセスでジョブを作成するには、次の手順を実行します。

1. TotalAgility Workspace にログオンします。
2. [ジョブ] メニューの [作成] をクリックします。
3. [カテゴリ] および [プロセス] に対して [キャプチャスタートパック] を選択し、[作成] をクリックします。

Job Creation

ジョブの作成

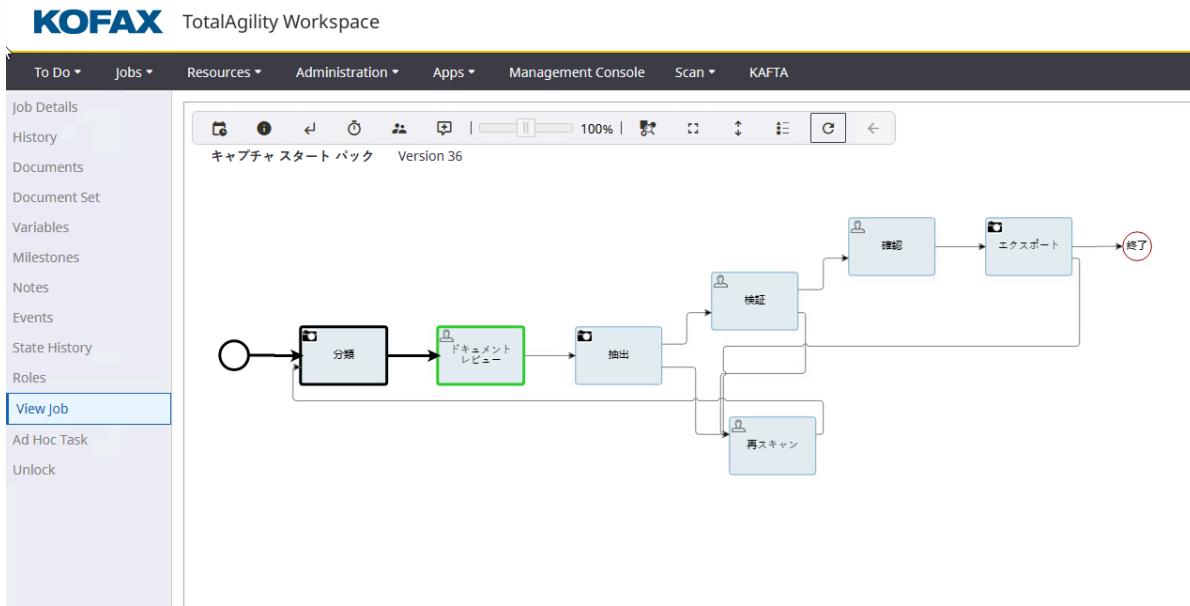
カテゴリ: Default Category
プロセス: CaptureMapOneBP
□ ジョブを定期的に作成

初期化データ
FolderID: <?xml version="1.0" encoding="utf-16"?><FolderVariableValue xmlns=">

Delete Document:

送信

ジョブには、次のような操作を実行します。[スキャン] > [分類] > [ドキュメントレビュー] > [抽出] > [検証] > [確認] > [エクスポート]。



TotalAgility Workspace でジョブが作成されると、対応するデータを Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボード ビューで表示できるようになります。

ダッシュボード ビューでのデータの取得

ダッシュボード ビューにデータを入力するには、次の手順を実行します。

1. TotalAgility Workspace にログインします。
2. キャプチャスタートパック プロセスでジョブを作成し、スキャンアクティビティからエクスポートアクティビティまでのジョブの処理を行います。ジョブを作成すると、ジョブビューアの [ドキュメントレビュー] ノードでジョブを使用できるようになります。
3. Insight Admin Console にログインし、時間単位の実行プランを正常に実行して、TotalAgility データベースから Kofax Analytics for TotalAgility データベースにデータを同期します。時間単位プランの実行については、『Kofax Analytics for TotalAgility 管理者ガイド』を参照してください。

i ジョブの完了時に、レポートデータのプロセスが完了して時間単位プランを実行できるようになるまでに数分かかる場合があります。

Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードに表示されるデータは、TotalAgility Workspace フォームに対応しています。例えば、[GeneralWorkqueue (AllActivities)] TotalAgility Workspace フォームに表示されるアクティビティの一覧は、Kofax Analytics for TotalAgility の [オペレーター] ダッシュボードの [概要] ビューにも表示されます。

[システムの概要] や [ドキュメント] などの他のダッシュボード ビューにデータを入力するには、キャプチャスタートパックのすべてのアクティビティを処理してジョブを正常に完了する必要があります。

す。TotalAgility Workspace でジョブを完了し、Insight Admin Console で時間単位の実行プランを実行したときにビューにデータがどのように表示されるかを確認するには、次の [ジョブ] ビューと [削除済みのドキュメントとページ] ビューを参照してください。

- **[Findjobs (完了したジョブ)]** TotalAgility Workspace フォームを使用すると、完了したジョブの一覧を表示できます。Kofax Analytics for TotalAgility の [オペレータ] > [ジョブ] ビューにも同じ情報が表示されます。
- TotalAgility Workspace で、Northwest Order Forms などのドキュメントを削除します。削除されたドキュメントとページの同じリストは、Kofax Analytics for TotalAgility の [ドキュメント] > [処理] > [削除済みのドキュメントとページ] ビューに表示されます。

グラフに表示するデータは、「ソース」と「マスクされたフィールド値」で構成することができます。

概要

TotalAgility では、**[GeneralWorkqueue (AllActivities)]** TotalAgility Workspace フォームで作業キューを表示できます。

Work Queue							
		All Activities (デフォルト) リフレッシュ クエリの編集					
		Activity Name	Process	Priority	Due Date	Assigned To	SLA (Actions)
マイ クエリ		Document Review	Capture Starter Pack	3	2024/03/11 2:11:45	Everyone	0
Alerts		Verification	Capture Starter Pack	1	2024/03/11 2:13:51	Everyone	0
All Activities (デフォルト)		Scan	CaptureMapOneBP	1	2024/04/12 0:10:19	Everyone	0
All Work Due This Week		Validation	Capture Starter Pack	3	2024/04/12 0:22:04	Everyone	0
All Work Due Today		ドキュメント レビュー	キャプチャスタートパック	1	2024/04/17 1:18:59	Everyone	0
Capture Starter Pack							
Me and My Groups (excluding Everyone)							
Me and My Groups Work							
Me and My Subordinates Work							
My Activities							
My Work							
My Work Due This Week							
My Work Due Today							

Kofax Analytics for TotalAgility では、[オペレータ] > [概要] > [アクティビティ キュー] で、キャプチャスタートパック プロセスの保留中のアクティビティをすべて表示できます。アクティビティ キューは、保留中および進行中のライブ アクティビティの数、保留中のドキュメントとページの数、および最も長く保留されているアクティビティの時間など、各アクティビティ タイプの情報を表示するテキストチャートです。

The screenshot shows the Kofax Analytics for TotalAgility interface. At the top, there is a navigation bar with links for Operators, System Overview, Document, RPA, Process Discovery, and Management. The current view is on the 'Queue' tab. The main area is divided into two sections: 'Queue' and 'Job SLA'.

Queue Section:

- Summary:** Displays counts for Active, Document, and Page across 6 categories.
- Queue Table:**

アクティビティ タイプ	保留中	進行中	ドキュメント	ページ	最大保留時間
スキャン	1	0	1	1	0.19:09:04.000
ドキュメント レビュー	2	0	2	2	0.19:08:22.000
検証	2	0	2	2	0.18:41:58.000
確認	1	0	1	1	0.18:42:02.000
合計	6	0	6	6	
- Job SLA Section:**
 - アクティビティ SLA:** Shows a large red circle with the number '6'.
 - ジョブ SLA:** Shows a large red circle with the number '6'.

アクティビティ名	説明	保留中のアクティビティの数
ドキュメント レビュー	分類後にドキュメントをレビューします。	2
エクスポート	確認後にドキュメントをエクスポートします。	2
スキャン	ドキュメントをスキャンします。	6
検証	抽出後にフィールド値を検証します。	1
確認	検証後にドキュメントを確認します。	1
		合計: 12

ジョブ

TotalAgility の完了したジョブを [Findjobs (完了したジョブ)] TotalAgility Workspace フォームに表示します。

KOFAX TotalAgility Workspace

To Do ▾ Jobs ▾ Resources ▾ Administration ▾ Apps ▾ Management Console Scan ▾ KAFTA

Jobs

Finished Jobs

Process	期限	Creator	Priority	Status	Pro
Capture Starter Pack	2024/03/11 1:57:41	Administrator	1	完了済み	14
Capture Starter Pack	2024/03/11 1:57:55	Administrator	1	完了済み	14
Capture Starter Pack	2024/03/11 2:03:02	Administrator	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/03/11 1:58:06	Administrator	1	完了済み	14
Capture Starter Pack	2024/03/11 2:07:56	Administrator	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/03/11 2:25:54	Nhung	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/03/11 2:29:22	Nhung	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/04/11 20:57:00	Administrator	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/04/11 23:57:31	Administrator	1	完了済み	16
Capture Starter Pack	2024/04/11 23:57:19	Administrator	1	完了済み	16
CaptureMapOneBP	2024/04/12 1:09:06	Administrator	2	完了済み	11
Capture Starter Pack	2024/04/12 0:12:24	Administrator	1	完了済み	16

Kofax Analytics for TotalAgility の完了したすべてのジョブを [システムの概要] > [ジョブ] ビューで表示します。

KOFAX Analytics for TotalAgility

オペレーター システムの概要 ドキュメント RPA Process Discovery 管理

ジョブ アクティビティ リソース

カテゴリ フィルタなし プロセス フィルタなし 作業タイプ フィルタなし ユーザー フィルタなし

ジョブ

すべて 完了済み ジョブ

プロセス名	カテゴリ名	作成者	開始時刻	目標終了時刻	終了時刻
キャプチャ スタート パック	Capture Starter Pack	Administrator	2024/04/16 21:31:28.460	2024/04/16 21:31:28.460	2024/04/16 21:35:42.667
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Administrator	2024/04/16 3:22:29.093	2024/04/16 3:22:29.093	2024/04/16 3:26:29.683
CaptureMapOneBP	Default Category	Daisy	2024/04/16 3:00:35.293	2024/04/16 4:00:35.293	2024/04/16 3:02:27.283
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Daisy	2024/04/16 2:59:54.267	2024/04/16 2:59:54.267	2024/04/16 3:02:20.127
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Daisy	2024/04/16 2:59:28.160	2024/04/16 2:59:28.160	2024/04/16 3:01:18.290
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Daisy	2024/04/16 2:49:58.093	2024/04/16 2:49:58.093	2024/04/16 3:18:28.423
CaptureMapOneBP	Default Category	Daisy	2024/04/16 2:48:50.640	2024/04/16 3:48:50.640	2024/04/16 2:51:17.560
CaptureMapOneBP	Default Category	Daisy	2024/04/16 2:48:40.040	2024/04/16 3:48:40.040	2024/04/16 2:50:47.187
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Nhung	2024/04/16 2:45:36.870	2024/04/16 2:45:36.870	2024/04/16 2:47:14.823
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Administrator	2024/04/16 2:34:26.943	2024/04/16 2:34:26.943	2024/04/16 2:38:13.577
Capture Starter Pack	Capture Starter Pack	Administrator	2024/04/16 2:34:15.457	2024/04/16 2:34:15.457	2024/04/16 2:45:14.597

完了済み ジョブ 概要

Capture Starter Pack

CaptureMapOneBP

キャプチャ スタート パック

ジョブの数

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 11

ダッシュボード ビューへのソース別のデータの表示

このセクションでは、ブレークダウンダッシュボードのデータをソース ディメンション別のグラフィカル チャートに入力する方法について説明します。このビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスというジョブの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。

Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードのデータをソース別に表示するには、TotalAgility Designer のキャプチャ スタート パック ビジネス プロセスに .Net アクティビティを追加します。

1. キャプチャ スタート パック ビジネス プロセスを開きます。
2. 新しい変数 **[JOBID]** を作成し、[タイプ] を [システム] に設定して、[値] を **[AWF_JOBID]** に設定します。
3. .Net アクティビティ **[Update JobSource]** を [分類] アクティビティと [ドキュメント レビュー] アクティビティの間に追加します。
4. .Net アクティビティを次のように構成します。
 - a. [アセンブリ ファイルのパス] ボックスの一覧での [TotalAgility.Sdk.dll] の選択
 - b. [クラス] リストで、[TotalAgility.Sdk.JobService] を選択します。
 - c. [方法] リストで、[UpdateJobSource] を選択します。
 - d. 次のプロセス変数とサーバー変数を使用して、パラメータを値にマッピングします。

sessionId	SPP_SYSTEM_SESSION_ID (サーバー変数)
jobId	JOBID (以前に作成されたプロセス変数)
JobSource	Folder.Name (または Asia などの任意の名前)

- e. 構成を保存します。
5. プロセス マップをリリースします。
6. TotalAgility Workspace で、新しいジョブを作成します。
7. Insight Admin Console で、時間単位の実行プランを正常に実行し、[ブレークダウン](#) ビューなどの Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボード ビューにデータを表示します。

ブレークダウン

[オペレータ] ダッシュボードの [ブレークダウン] ビューは、さまざまな条件に基づいて [概要] のライブ データの詳細な分析を実行するために使用されます。ライブ データに基づいて、ジョブ、ドキュメント、およびページのブレークダウンを表示できます。ライブ ジョブのブレークダウンをソース別に表示する例を考えてみましょう。

TotalAgility で、**[Findjobs (ライブ ジョブ)]** TotalAgility Workspace フォームでアクティブなライブ ジョブを表示します。

KOFAX TotalAgility Workspace

To Do ▾ Jobs ▾ Resources ▾ Administration ▾ Apps ▾ Management Console Scan ▾ KAFKA

Jobs

Live Jobs (デフォルト) | リフレッシュ クエリの編集 | アクション | 検索: ジョブ ▾ ジョブ ID を入力してください | 検索

マイ クエリ
+ キャプチャ エリ
Active Cases
Active jobs
Active jobs created this week
Active jobs created today
Finished jobs
Finished jobs completed this week
Finished jobs completed today
Live jobs (デフォルト)
Live Jobs Created Today
SLA - Amber
SLA - Green
SLA - Red
Suspended Jobs
Suspended Jobs

Process	SLA (J... 期限	Creator	Priority	Status	Pro
Capture Starter Pack	2024/03/11 1:57:30	Administrator	1	アクティブ	14
Capture Starter Pack	2024/03/11 2:06:39	Administrator	1	アクティブ	16
Capture Starter Pack	2024/04/12 0:13:28	Administrator	1	アクティブ	16
CaptureMapOneBP	2024/04/12 1:09:18	Administrator	2	アクティブ	11
キャプチャ スタート パック	2024/04/17 1:18:33	Nhung	1	アクティブ	36

Kofax Analytics for TotalAgility で、キャプチャスタートパックプロセスのすべてのライブジョブを [オペレータ] > [ブレークダウン] ダッシュボードに表示します。

KOFAX Analytics for TotalAgility

Administrator

オペレータ システムの概要 ドキュメント RPA Process Discovery 管理

概要 ブレークダウン 保留時間

カテゴリ フィルタなし プロセス フィルタなし 作業タイプ フィルタなし キャプチャのみ いいえ

ブレークダウン

ソース別の作成ジョブ数

Capture Starter Pack CaptureMapOneBP キャプチャスタートパック

ソース	ジョブ数
Capture Starter Pack	3
CaptureMapOneBP	1
キャプチャスタートパック	2
未指定	0

ステータス別

アクティブ

ステータス	数
アクティブ	6

優先度別

Capture Starter Pack CaptureMapOneBP キャプチャスタートパック

優先度	ジョブ数
Capture Starter Pack	5
CaptureMapOneBP	1
キャプチャスタートパック	2

プロセス別

Capture Starter Pack CaptureMapOneBP キャプチャスタートパック

プロセス	ジョブ数
Capture Starter Pack	3
CaptureMapOneBP	1
キャプチャスタートパック	2

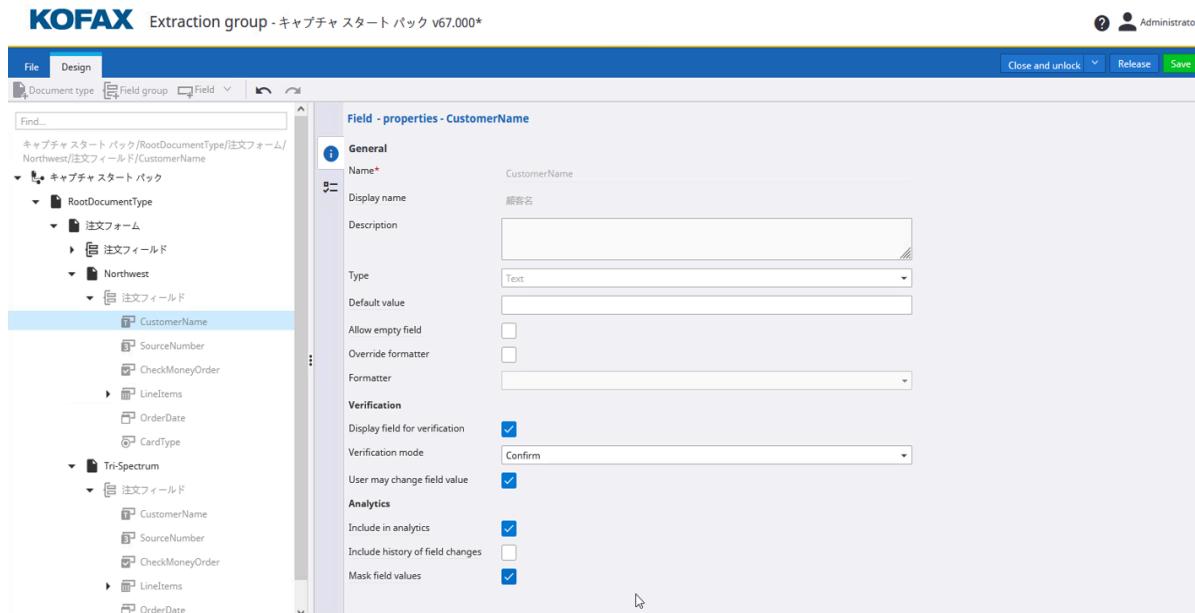
マスクされたフィールド値によるダッシュボード ビューへのデータの表示

このセクションでは、ドキュメントフィールド値をマスクして [ドキュメントの検索] ビューにデータを取り込む方法について説明します。

TotalAgility でマスクされたフィールド値は、Kofax Analytics for TotalAgility の [ドキュメント] ビューでは非表示になります。

マスクされたフィールド値を持つ次の[ドキュメントの検索]ビューを参照してください。

1. TotalAgility Designer で、[キャプチャスタートパック]抽出グループを開きます。
2. マスクするドキュメントフィールドの[フィールド値のマスク]チェックボックスを選択します。例えば、[Northwest]ドキュメントタイプでは、次の図に示すように「CustomerName」フィールドをマスクします。



3. [ドキュメントの傾向]ビューにフィールド名リストを表示するには、キャプチャスタートパックビジネスプロセスに変数を追加し、TotalAgility Designer の抽出グループにフィールド名を構成します。変数の名前は、次の図に示すように、ドキュメントフィールド名と同じ名前にする必要があります。



4. Kofax Analytics for TotalAgility でマスクされたフィールド値を表示するには、[管理]ビューで次の手順を実行します。
 - a. [保持ポリシー]ビューで、フィールドに保持ポリシーを設定し、[保存]をクリックします。

- b. [フィルタ フィールド] ビューの [フィールドの選択] ボックスの一覧で、CustomerNameなどのドキュメントフィールドを選択します。[フィールドの選択] リストには、TotalAgility Designer の抽出グループに設定されているドキュメントフィールドが表示されます。
- c. [フィールドの保存] をクリックします。
- これによって「ドキュメントフィールドのフィルタ セットアップ」プランが実行されて可能な値が入力されますが、実行に時間がかかることがあります。プランを実行すると、キャプチャビューのフィルタは、ブラウザを更新した場合にのみ更新されます。「Hourly plan (毎時プラン)」がドキュメントをロードしたときに設定されたフィールドでのみドキュメントをフィルタリングできます。保存済みのマスクされたフィルタフィールド名は、すべてのキャプチャビューに表示されます。
- d. フィールド値をマスクした各フィールドを保存します。
5. Insight Admin Console から、時間単位の実行プランを実行します。
6. TotalAgility Workspace で、ジョブを作成し、ジョブを完了します。
7. Kofax Analytics for TotalAgility で、[ドキュメント] > [処理] > [ドキュメントの検索] ビューでデータを表示します。

マスクされたフィールドの値は、ドキュメントダッシュボードのすべてのビューで「***」と表示されます。[Northwest] ドキュメントタイプでは、次の図に示すように、TotalAgility Designer でマスクされた [CustomerName] フィールドが [ドキュメントの検索] ダッシュボードビューに「***」と表示されます。

